

高野山大学・大学院
講義概要・授業計画

平成24年度



2012
KOYASAN UNIVERSITY
OVERVIEW LECTURE-LESSON PLANS

講義概要・授業計画

平成 24 年度 (2012)

高野山大学

総目次

■ 本誌の利用に際して

■ 講義概要・授業計画

文学部／別科

文1～文52

大学院

院1～院17

■ 教員別索引（50音順）

索引1～索引3

文 学 部
别 科

目 次

文学部 1・2・3回生 i ~ v

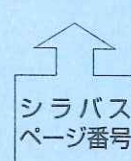
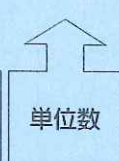
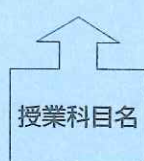
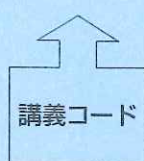
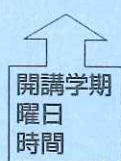
文学部 4回生 vi ~ xii

別 科 xiii

◆目次について

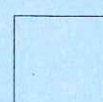
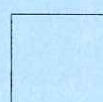
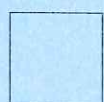
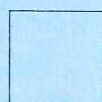
この『平成24年度講義概要・授業計画』では、まず上の目次で自分の学年のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	4	54401	総合科目〔スピリチュアルケアI〕	室 寺 義 仁	2	1年次	-		21



◆講義コードについて

講義コードは5ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。



(5ケタ)

課程
 4 = 4回生用
 5 = 1・2・3回生用
 8 = 別科生用
 9 = 大学院生用

曜日
 1 = 月曜日
 2 = 火曜日
 3 = 水曜日
 4 = 木曜日
 5 = 金曜日
 6 = 土曜日
 7 = 集中講義
 8 = 実習
 9 = 論文

時限
 1 = 1講時
 2 = 2講時
 3 = 3講時
 4 = 4講時
 5 = 5講時

通し番号
 01 ~ 49 = 前期授業
 および 通年授業
 51 ~ 99 = 後期授業

◆受講登録について

- 1 受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、4月5日（木）から4月16日（月）午後5時までに教務課へ提出してください。
- 2 履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。
 - ① 学籍番号（※身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。
 - ② 履修登録欄には、今年度を受講するすべての授業科目を、『平成24年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。
- 3 履修登録票を教務課へ提出した学生は、4月20日（金）から4月25日（水）午後5時までに、教務課で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。
この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務課へ提出してください。
- 4 最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。
- 5 後期（9月24日開講）授業科目の追加及び登録変更は、9月24日（月）から9月28日（金）午後5時までの後期履修登録変更期間に、教務課へ申し出てください。ただし、通年科目の追加・変更・取消はできません。

◆出席票について

- 「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。
- それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

- 報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加し、午後（第3講時、第4講時）は通常どおり授業を実施しますので、留意してください。

文学部目次

<文学部1回生・2回生・3回生(平成22年度～24年度入学生)用>

文学部

1. 必修科目

[密教学科 1年次履修科目]

1) 「建学の精神」科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	藤田光寛	2	1年次	-		1

2) 語学科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	金	3	55301	英語ⅠA	高倉正行	2	1年次	教免基礎	クラス分け有り	1
通年	金	3	55302	英語ⅠB	静春樹	2	1年次	教免基礎	クラス分け有り	1
通年	月	4	51401	英語ⅠC〔再履修〕	高倉正行	2	2年次～	教免基礎	※2回生以上	2

3) 導入科目(4)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	月	4	51402	日本語A	藤吉圭二	4	1年次	-	クラス分け有り	3
通年	月	4	51403	日本語B	南昌宏	4	1年次	-	クラス分け有り	3
通年	月	4	51404	日本語C	山脇雅夫	4	1年次	-	クラス分け有り	3
通年	火	1	52101	日本語D〔再履修〕	藤吉圭二	4	2年次～	-	※2回生以上	3

4) 基礎講義(2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	3	51301	現代思想	山脇雅夫	2	1年次	教免(宗教)		3
前期	木	5	54501	人間と宗教	室寺義仁	2	1年次	教免(宗教)		3
後期	水	1	53151	釈尊伝	前谷彰	2	1年次	-		6
後期	火	3	52351	弘法大師伝	武内孝善	2	1年次	-		6

5) 古典語(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	木	1	54101	漢文Ⅰ	南昌宏	2	1年次	教免(国語)		7
後期	木	1	54151	漢文Ⅱ	南昌宏	2	1年次	教免(国語)		7

[密教学科 2年次履修科目]

1) 語学科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	金	4	55401	英語ⅡA	高倉正行	2	2年次	教免基礎		2
通年	金	4	55402	英語ⅡB	静春樹	2	2年次	教免基礎		2
通年	水	2	53201	英語ⅡC〔再履修〕	高倉正行	2	3年次以上	教免基礎		2

2) 講義 I (2+2+2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	2	51201	密教学概論 I	乾 仁志	2	2年次	教免(宗教)		8
後期	月	2	51251	密教学概論 II	乾 仁志	2	2年次	教免(宗教)		8
前期	木	1	54102	仏教学概論 I	室寺義仁	2	2年次	教免(宗教)		9
後期	木	1	54152	仏教学概論 II	室寺義仁	2	2年次	教免(宗教)		9
前期	金	1	55101	密教史概説 I	奥山直司	2	2年次	教免(宗教)		8
後期	金	1	55151	密教史概説 II	佐藤隆彦	2	2年次	教免(宗教)		8
前期	木	4	54401	仏教史概説 I	前谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		9
後期	木	4	54451	仏教史概説 II	前谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		9

3) 2回生講読(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	火	2	52201	祖典講読 I	加納和雄	2	2年次	教免(宗教)		13
後期	火	2	52251	祖典講読 II	加納和雄	2	2年次	教免(宗教)		13

[密教学科3年次履修科目]

1) 3回生講読(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	2	51302	祖典講読 III	松長恵史	2	3年次	-		14
後期	月	2	51351	祖典講読 IV	松長恵史	2	3年次	-		14

2) 講読演習(2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	1	51402	密教学講読演習	松長恵史	2	3年次	教免(宗教)		15
前期	火	4	52401	仏教学講読演習 A	緒方啓介	2	3年次	教免(宗教)		15
後期	火	4	52451	仏教学講読演習 B	緒方啓介	2	3年次	教免(宗教)		15
前期	木	4	54402	仏教学講読演習 C	藤田光寛	2	3年次	教免(宗教)		16
後期	木	1	54153	真言密教講読演習	加納和雄	2	3年次	教免(宗教)		15

3) 講義 II (2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	4	51406	密教学特殊講義 A	静 慈圓	2	3年次	教免(宗教)		40
後期	月	4	51451	密教学特殊講義 B	静 慈圓	2	3年次	教免(宗教)		40
前期	火	3	52301	密教学特殊講義 C	中村本然	2	3年次	教免(宗教)		11
後期	金	2	55251	密教学特殊講義 D	奥山直司	2	3年次	教免(宗教)		12
前期	火	2	52202	仏教学特殊講義 A	井上ウイマラ	2	3年次	教免(宗教)		28
前期	火	3	52302	仏教学特殊講義 B	緒方啓介	2	3年次	教免(宗教)		12
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義 C	緒方啓介	2	3年次	教免(宗教)		12
前期	水	1	53102	仏教学特殊講義 D	室寺義仁	2	3年次	教免(宗教)		28
後期	木	3	54351	仏教学特殊講義 E	前谷 彰	2	3年次	教免(宗教)		30
後期	金	1	55152	仏教学特殊講義 F	森崎雅好	2	3年次	教免(宗教)		30
後期	月	1	51452	真言密教特殊講義 A	松長恵史	2	3年次	教免(宗教)		18
前期	金	3	55303	真言密教特殊講義 B	齋藤天譽	2	3年次	教免(宗教)		11
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 C	齋藤天譽	2	3年次	教免(宗教)		11

4) 演習 I (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	2	51202	密教学演習 A	中 村 本 然	4	3 年次	-		20
通年	火	3	52303	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	3 年次	-		20
通年	火	3	52304	密教学演習 C	前 谷 彰	4	3 年次	-		21
通年	火	3	52305	密教学演習 D	室 寺 義 仁	4	3 年次	-		21
通年	水	1	53103	密教学演習 E	南 昌 宏	4	3 年次	-		22
通年	水	2	53202	密教学演習 F	乾 仁 志	4	3 年次	-		22
通年	水	2	53203	密教学演習 G	加 納 和 雄	4	3 年次	-		24
通年	水	2	53204	密教学演習 H	佐 藤 隆 彦	4	3 年次	-		23
通年	木	1	54103	密教学演習 I	下 西 忠	4	3 年次	-		24
通年	木	2	54201	密教学演習 J	武 内 孝 善	4	3 年次	-		23

※注：残りの必修科目は、次年度以降に開講する。

2. 選択科目

1) 総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	3	52308	総合科目(デジタルアーカイブ)	藤 吉 圭 二	2	1 年次～	-		32
後期	火	4	52452	総合科目(スピリチュアルケア)	井上ウイマラ	2	1 年次～	-		26

2) 企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	4	53401	企画科目〔芸能〕	桜 野 清 里	2	1 年次～	-		40
通年	金	4	55403	企画科目〔茶道〕	岡 本 文 音	2	1 年次～	-		40
通年	火	4	52402	企画科目〔華道〕	五 味 和 樹	2	1 年次～	-		41
通年	木	4	54403	企画科目〔詠歌〕	上 山・辻・村上	2	1 年次～	-		41
通年	月	4	51405	企画科目〔舞踊〕	細 川・高 祖・辻	2	1 年次～	-		41
前期	水	2	53205	企画科目(ヴィパッサナー瞑想Ⅰ)	井上ウイマラ	1	1 年次～	-		26
後期	水	2	53254	企画科目(ヴィパッサナー瞑想Ⅱ)	井上ウイマラ	1	1 年次～	-		26
前期	火	2	52203	企画科目〔仏教芸術〕	緒 方 啓 介	2	1 年次～	-		41
前期	木	2	54202	企画科目(阿息観)	佐 藤 隆 彦	2	1 年次～	-		43
後期	木	2	54251	企画科目(月輪観と阿字観)	佐 藤 隆 彦	2	1 年次～	-		43
通年	水	3	53304	企画科目(法式上級)	澗 田 雲 溪	2	1 年次～	-		44

3) 語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52204	サンスクリット語Ⅰ	前 谷 彰	2	1 年次～	-		34
通年	木	3	54301	サンスクリット語Ⅱ	加 納 和 雄	2	2 年次～	-		35
通年	木	2	54203	チベット語	加 納 和 雄	2	1 年次～	-		35
通年	火	1	52102	中国語(初級)	土 生 川 正 賢	2	1 年次～	-		34
通年	火	2	52205	中国語(上級)	土 生 川 正 賢	2	1 年次～	-		34

4) 健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	木	3	54302	体育実技〔スポーツ〕	中 村 哲 二	2	1 年次～	教免基礎		35

5) 普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	2	53206	宗教思想史Ⅰ	山脇雅夫	2	1年次～	教免(宗教)		36
後期	水	2	53251	宗教思想史Ⅱ	山脇雅夫	2	1年次～	教免(宗教)		36
前期	金	2	55201	心理学Ⅰ	戸來知子	2	1年次～	社会福祉主事		27
後期	金	2	55252	心理学Ⅱ	戸來知子	2	1年次～	社会福祉主事		27
前期	月	1	51101	社会学Ⅰ	藤吉圭二	2	1年次～	社会福祉主事		38
後期	月	1	51151	社会学Ⅱ	藤吉圭二	2	1年次～	社会福祉主事		38
前期	水	1	53104	国文法Ⅰ	下西忠	2	2年次～	教免(国語)		37
後期	水	1	53152	国文法Ⅱ	下西忠	2	2年次～	教免(国語)		37
前期	金	4	55404	国語学Ⅰ	上田恭寿	2	2年次～	教免(国語)		51
後期	金	4	55451	国語学Ⅱ	上田恭寿	2	2年次～	教免(国語)		51
後期	水	4	53451	現代の人権	竹村和也	2	1年次～	-		39
後期	水	3	53351	日本国憲法	竹村和也	2	1年次～	教免基礎		39
通年	火	4	52403	情報処理Ⅰ	藤吉圭二	2	1年次～	教職基礎		39
通年	金	2	55202	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次～	-		7

6) 教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	1	51102	法式	中西雄泰	2	1年次～	僧階申請		42
通年	金	1	55102	声明	辻秀道	2	1年次～	僧階申請		42
通年	火	4	52404	布教	橋本真人	2	1年次～	僧階申請		42
通年	水	4	53402	常用經典	宮田永明	2	1年次～	僧階申請		42

7) 教育職員免許状関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	2	54204	宗教学Ⅰ	川崎一洋	2	2年次～	教免(宗教)		36
後期	木	2	54252	宗教学Ⅱ	川崎一洋	2	2年次～	教免(宗教)		36
前期	木	1	54104	宗教史Ⅰ	川崎一洋	2	2年次～	教免(宗教)		37
後期	木	1	54154	宗教史Ⅱ	川崎一洋	2	2年次～	教免(宗教)		37
後期	月	3	51352	哲学方法論	山脇雅夫	2	3年次～	教免(宗教)		17
後期	水	1	53153	宗教学方法論	藤田光寛	2	3年次～	教免(宗教)		17
前期	火	3	52306	日本文学史概説Ⅰ	下西忠	2	2年次～	教免(国語)		10
後期	火	3	52353	日本文学史概説Ⅱ	下西忠	2	2年次～	教免(国語)		10
前期	木	3	54303	漢文学概論Ⅰ	南昌宏	2	2年次～	教免(国語)		10
後期	木	3	54352	漢文学概論Ⅱ	南昌宏	2	2年次～	教免(国語)		10
前期	金	3	55304	国語学講義Ⅰ	上田恭寿	2	2年次～	教免(国語)		38
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上田恭寿	2	2年次～	教免(国語)		38
後期	水	2	53252	日本文化特殊講義	下西忠	2	3年次～	教免(国語)		12
後期	月	3	51353	中国文化特殊講義A	南昌宏	2	3年次～	教免(国語)		13
前期	金	4	55405	中国文化特殊講義B	野田悟	2	3年次～	-		13
前期	水	2	53207	日本文化講読演習	下西忠	2	3年次～	教免(国語)		16
前期	月	3	51304	中国文化講読演習	南昌宏	2	3年次～	教免(国語)		16

8) 書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	水	2	53208	漢字Ⅰ	野田 悟	2	1年次～	書道師範/教免(国語)		5
通年	火	4	52405	漢字Ⅱ	木本 滋久	2	2年次～	書道師範/教免(国語)		17
通年	木	2	54205	かなⅠ	山本 圭子	2	1年次～	書道師範/教免(国語)		6
通年	木	3	54304	かなⅡ	山本 圭子	2	2年次～	書道師範/教免(国語)		17
前期	木	4	54404	篆刻	野田 悟	2	3年次～	書道師範		19
通年	火	3	52307	条幅制作A	木本 滋久	2	3年次～	書道師範		25
通年	木	4	54405	条幅制作B	山本 圭子	2	3年次～	書道師範		25
通年	金	1	55103	書道史〔中国〕	野田 悟	4	2年次～	書道師範		18

9) 社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	水	2	53209	社会福祉概論Ⅰ	山口 幸照	2	2年次～	社会福祉主事		29
後期	水	2	53253	社会福祉概論Ⅱ	山口 幸照	2	2年次～	社会福祉主事		29
集中	-	-	57001	社会福祉各論〔児童福祉〕	齋藤 尚子	2	2年次～	社会福祉主事		27
後期	水	3	53352	社会福祉各論〔高齢者福祉〕	山口 幸照	2	2年次～	社会福祉主事		27
前期	水	3	53301	社会福祉各論〔障害者福祉〕	山口 幸照	2	2年次～	社会福祉主事		26
前期	水	1	53105	社会福祉各論Ⅰ〔地域福祉〕	山口 幸照	2	2年次～	社会福祉主事		30
後期	水	1	53154	社会福祉各論Ⅱ〔地域福祉〕	山口 幸照	2	2年次～	社会福祉主事		30
前期	火	5	52501	社会保障総論Ⅰ	山口 幸照	2	1年次～	社会福祉主事		45
後期	火	5	52551	社会保障総論Ⅱ	山口 幸照	2	1年次～	社会福祉主事		45

3. 自由科目（卒業要件には参入されません）

1) 教職科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	金	2	55203	教職入門	伊藤 一雄	2	1年次～	教免必修		46
前期	木	4	54406	教育原論	山脇 雅夫	2	1年次～	教免必修		46
集中	-	-	57002	教育心理学	末田 啓二	2	2年次～	教免必修		45
前期	月	3	51354	教育社会学	藤吉 圭二	2	1年次～	教免必修		46
後期	金	2	55253	教育課程論	伊藤 一雄	2	1年次～	教免必修		46
前期	月	1	51103	宗教科教育法Ⅰ	乾 仁志	2	2年次～	教免(宗教)		47
後期	月	1	51152	宗教科教育法Ⅱ	乾 仁志	2	2年次～	教免(宗教)		47
後期	木	3	54353	宗教科教育法Ⅲ	室寺 義仁	2	3年次～	教免(宗教)		47
前期	火	4	52406	国語科教育法Ⅰ	下西 忠	2	2年次～	教免(国語)		48
後期	火	4	52453	国語科教育法Ⅱ	下西 忠	2	2年次～	教免(国語)		48
前期	火	5	52502	国語科教育法Ⅲ	下西 忠	2	3年次～	教免(国語)		48
後期	火	5	52552	国語科教育法Ⅳ	下西 忠	2	3年次～	教免(国語)		48
前期	水	2	53210	教育方法論	山本 芳孝	2	2年次～	教免必修		49
集中	-	-	57003	情報技術論	本多 千明	2	2年次～	教免必修		49
集中	-	-	57004	道徳教育の研究	田中 潤一	2	2年次～	教免必修		49
前期	水	3	53302	特別教育活動	山本 芳孝	2	2年次～	教免必修		52
前期	金	3	55305	生徒指導・進路指導	伊藤 一雄	2	2年次～	教免必修		49
後期	金	3	55353	教育相談	戸來 知子	2	3年次～	教免必修		50
実習	-	-	58001	教育実習Ⅰ	山脇 雅夫	2	3年次～	教免必修		-
前期	木	1	54105	教育実習の研究	山脇 雅夫	1	3年次～	教免必修		50

2) 就職支援プログラム展開科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	水	3	53303	就職スキル講座	田村 美幸	2	3年次～			51
後期	木	4	54452	キャリアカウンセリングⅠ(寄附講座)	山脇 雅夫	2	1年次～			51
前期	木	1	54106	キャリアカウンセリングⅡ	森崎 雅好	2	2年次～			28

文学部目次

<文学部4回生(21年度入学生、平成23年度編入生)用>

文学部

1. 必修科目

[学部共通科目] (20)

1) 「建学の精神」科目 (2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	水	1	43101	空海の思想入門	藤田光寛	2	1~2学期		-		1

2) 語学科目 (2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	月	4	41401	英語ⅠC-1〔再履修〕	高倉正行	1	1~4学期		教免基礎		2
後期	月	4	41451	英語ⅠC-2〔再履修〕	高倉正行	1	1~4学期		教免基礎		2
前期	水	2	43201	英語ⅡC-1〔再履修〕	高倉正行	1	3~4学期		教免基礎		2
後期	水	2	43251	英語ⅡC-2〔再履修〕	高倉正行	1	3~4学期		教免基礎		2
前期	金	4	45401	英語ⅡA-1〔TOEIC〕	高倉正行	1	1~4学期		教免基礎		2
前期	金	4	45402	英語ⅡB-1〔TOEIC〕	静 春樹	1	1~4学期		教免基礎		2
後期	金	4	45451	英語ⅡA-2〔TOEIC〕	高倉正行	1	1~4学期		教免基礎		2
後期	金	4	45452	英語ⅡB-2〔TOEIC〕	静 春樹	1	1~4学期		教免基礎		2

3) 健康科目 (2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
-	-	-	-	医学一般Ⅰ	-	2	1~2学期		-	不開講 ※老人福祉論Ⅱを履修	27

4) 学部基礎科目 (12)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	火	1	42101	日本語ⅠD (再履修)	藤吉圭二	2	3~4学期		-		3
後期	火	1	42151	日本語ⅡD (再履修)	藤吉圭二	2	3~4学期		-		3
前期	月	3	41301	現代思想	山脇雅夫	2	1~2学期		教免(宗教)		3
前期	木	5	44501	人間と宗教	室寺義仁	2	1~2学期		教免(宗教)		3
前期	火	3	42301	ブツダの思想入門	加納和雄	2	1~2学期		-		4
前期	木	3	44301	スピリチュアルケア入門	室寺義仁	2	1~2学期		-		4

[学部別科目: 密教学科] (50)

1) 密教学科基礎科目 (12)

a) 基礎ゼミ (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	火	2	42201	十卷章素読Ⅰ	中村本然	2	1~2学期	真言 密仏 文歴	-		5
後期	火	2	42251	十卷章素読Ⅱ	中村本然	2	1~2学期	真言 密仏 文歴	-		5
前期	水	2	43202	漢字Ⅰ-1	野田 悟	1	1~2学期		文歴	書道師範 教免(国語)	5
後期	水	2	43252	漢字Ⅰ-2	野田 悟	1	1~2学期		文歴	書道師範 教免(国語)	5
前期	木	2	44201	かなⅠ-1	山本圭子	1	1~2学期		文歴	書道師範	6
後期	木	2	44251	かなⅠ-2	山本圭子	1	1~2学期		文歴	書道師範	6

b) 基礎講義 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
後期	水	1	43151	釈尊伝	前谷 彰	2	1～2学期	真言 密仏 文歴	-		6
後期	火	3	42351	弘法大師伝	武内孝善	2	1～2学期	真言 密仏 文歴	-		6

c) 古典 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	金	2	45201	梵字悉曇Ⅰ	齋藤天譽	2	1～2学期	※同一科目 ⅠとⅡを 4単位選 択必修	-		7
後期	金	2	45251	梵字悉曇Ⅱ	齋藤天譽	2	1～2学期		-		7
前期	木	1	44101	漢文Ⅰ	南 昌宏	2	1～2学期		教免(国語)		7
後期	木	1	44151	漢文Ⅱ	南 昌宏	2	1～2学期		教免(国語)		7

2) 密教学科展開科目 (22)

a) 講義Ⅰ (2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	月	2	41201	密教学概論Ⅰ	乾 仁志	2	3～4学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		8
後期	月	2	41251	密教学概論Ⅱ	乾 仁志	2	3～4学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		8
前期	金	1	45101	密教史概説Ⅰ	奥山直司	2	3～4学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		8
後期	金	1	45151	密教史概説Ⅱ	佐藤隆彦	2	3～4学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		8
前期	木	1	44102	仏教学概論Ⅰ	室寺義仁	2	3～4学期	密仏 文歴	教免(宗教)		9
後期	木	1	44152	仏教学概論Ⅱ	室寺義仁	2	3～4学期	密仏 文歴	教免(宗教)		9
前期	木	4	44401	仏教史概説Ⅰ	前谷 彰	2	3～4学期	密仏 文歴	教免(宗教)		9
後期	木	4	44451	仏教史概説Ⅱ	前谷 彰	2	3～4学期	密仏 文歴	教免(宗教)		9
前期	火	3	42302	日本文学史概説Ⅰ	下西 忠	2	3～6学期	文歴	教免(国語)		10
後期	火	3	42352	日本文学史概説Ⅱ	下西 忠	2	3～6学期	文歴	教免(国語)		10
前期	木	3	44302	漢文学概論Ⅰ	南 昌宏	2	3～6学期	文歴	教免(国語)		10
後期	木	3	44351	漢文学概論Ⅱ	南 昌宏	2	3～6学期	文歴	教免(国語)		10

b) 講義Ⅱ (2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	金	3	45301	真言密教特殊講義A	齋藤天譽	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		11
後期	金	3	45351	真言密教特殊講義B	齋藤天譽	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		11
前期	火	3	42303	密教学特殊講義	中村本然	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		11
後期	金	2	45252	インド・チベット文化特殊講義	奥山直司	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		12
前期	火	3	42304	仏教美術特殊講義A	緒方啓介	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	-		12
後期	火	3	42353	仏教美術特殊講義B	緒方啓介	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	-		12
後期	水	2	43253	日本文化特殊講義	下西 忠	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(国語)		12
後期	月	3	41351	中国文化特殊講義A	南 昌宏	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(国語)		13
前期	金	4	45403	中国文化特殊講義B	野田 悟	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	-		13

c) 基礎講義 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	火	2	42202	祖典講読Ⅰ	加納和雄	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		13
後期	火	2	42252	祖典講読Ⅱ	加納和雄	2	3～6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		13

d) 講読演習 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
後期	木	1	44153	真言密教講読演習	加納和雄	2	3~6学期	真言		教免(宗教)	15
前期	月	1	41402	密教学講読演習	松長恵史	2	3~6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		15
前期	火	4	42401	仏教美術講読演習A	緒方啓介	2	3~6学期	真言 密仏 文歴	学芸員資格		15
後期	火	4	42451	仏教美術講読演習B	緒方啓介	2	3~6学期	真言 密仏 文歴	学芸員資格		15
前期	水	2	43203	日本文化講読演習	下西 忠	2	3~6学期		文歴	教免(国語)	16
前期	月	3	41302	中国文化講読演習	南昌宏	2	3~6学期		文歴	教免(国語)	16
前期	火	4	42402	漢字Ⅱ-1	木本滋久	1	3~6学期		文歴	書道師範 教免(国語)	17
後期	火	4	42452	漢字Ⅱ-2	木本滋久	1	3~6学期		文歴	書道師範 教免(国語)	17
前期	木	3	44303	かなⅡ-1	山本圭子	1	3~6学期		文歴	書道師範 教免(国語)	17
後期	木	3	44352	かなⅡ-2	山本圭子	1	3~6学期		文歴	書道師範 教免(国語)	17

3) 密教学科方法論基礎科目 (4)

a) 講義Ⅱ (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
後期	月	3	41352	哲学方法論	山脇雅夫	2	3~6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		17
後期	水	1	43152	宗教学方法論	藤田光寛	2	3~6学期	真言 密仏 文歴	教免(宗教)		17
前期	金	1	45102	書道史ⅠA〔中国〕	野田 悟	2	3~6学期		文歴	書道師範	18
後期	金	1	45152	書道史ⅠB〔中国〕	野田 悟	2	3~6学期		文歴	書道師範	18

4) 密教学科方法論展開科目 (8)

a) 講義Ⅱ (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	月	3	41303	真言密教方法論講義Ⅰ	静 慈圓	2	5~8学期	真言		-	18
後期	月	1	44452	真言密教方法論講義Ⅱ	松長恵史	2	5~8学期	真言		-	18
前期	金	2	45202	密教文化方法論講義	奥山直司	2	5~8学期	密仏		-	19
前期	木	4	44402	篆刻A	野田 悟	2	5~8学期		文歴	書道師範	19
後期	木	4	44452	篆刻B	野田 悟	2	5~8学期		文歴	書道師範	19

b) 演習 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁	
前期	月	2	41202	密教学方法論演習ⅠA	中村本然	2	7~8学期	密仏			20	
後期	月	2	41252	密教学方法論演習ⅡA	中村本然	2	7~8学期	密仏			20	
前期	火	3	42305	密教学方法論演習ⅠB	奥山直司	2	7~8学期	密仏			20	
後期	火	3	42354	密教学方法論演習ⅡB	奥山直司	2	7~8学期	密仏			20	
前期	水	1	43102	密教学方法論演習ⅠC	南昌宏	2	7~8学期	密仏			22	
後期	水	1	43153	密教学方法論演習ⅡC	南昌宏	2	7~8学期	密仏			22	
前期	水	2	43204	密教学方法論演習ⅠD	乾 仁志	2	7~8学期	密仏			22	
後期	水	2	43254	密教学方法論演習ⅡD	乾 仁志	2	7~8学期	密仏			22	
前期	水	2	43205	密教学方法論演習ⅠE	佐藤隆彦	2	7~8学期	密仏			23	
後期	水	2	43255	密教学方法論演習ⅡE	佐藤隆彦	2	7~8学期	密仏			23	
前期	木	2	44202	密教学方法論演習ⅠF	武内孝善	2	7~8学期	密仏			23	
後期	木	2	44252	密教学方法論演習ⅡF	武内孝善	2	7~8学期	密仏			23	
前期	水	2	43206	仏教学方法論演習Ⅰ	加納和雄	2	7~8学期	密仏			24	
後期	水	2	43256	仏教学方法論演習Ⅱ	加納和雄	2	7~8学期	密仏			24	
前期	木	1	44103	日本文化方法論演習Ⅰ	下西 忠	2	7~8学期		文歴		24	
後期	木	1	44154	日本文化方法論演習Ⅱ	下西 忠	2	7~8学期		文歴		24	
前期	火	3	42306	条幅制作ⅠA〔漢字〕	木本滋久	1	5~8学期		文歴	書道師範	※Ⅰ・Ⅱを履修すること	25
後期	火	3	42355	条幅制作ⅡA〔漢字〕	木本滋久	1	5~8学期		文歴	書道師範	※Ⅰ・Ⅱを履修すること	25
前期	木	4	44403	条幅制作ⅠB〔かな〕	山本圭子	1	5~8学期		文歴	書道師範	※Ⅰ・Ⅱを履修すること	25
後期	木	4	44453	条幅制作ⅡB〔かな〕	山本圭子	1	5~8学期		文歴	書道師範	※Ⅰ・Ⅱを履修すること	25

c) 卒業論文 (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修指定期 学	コース	資格関係	備 考	頁
通年	-	-	49001	密教学科卒業論文	学科主任	4	7～8学期	真言 密仏 文歴	-		-
前期	-	-	49003	密教学科卒業論文(前期)	学科主任	4	7～8学期	真言 密仏 文歴	-	7月提出許可者に限る	-

[学部別科目：スピリチュアルケア学科] (50)

1) 1年次履修科目 (前期)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修指定期 学	コース	資格関係	備 考	頁
後期	火	4	42453	スピリチュアルケア理論	井上ウイマラ	2	1～2学期	SC PW	-		26
前期	水	2	43207	スピリチュアルケア援助論Ⅰ	井上ウイマラ	2	1～2学期	SC PW	-		26
後期	水	2	43257	スピリチュアルケア援助論Ⅱ	井上ウイマラ	2	1～2学期	SC	-		26
前期	金	2	45203	心理学Ⅰ	戸來知子	2	1～2学期	SC PW	認定心理士		27
後期	金	2	45253	心理学Ⅱ	戸來知子	2	1～2学期	SC PW	社会福祉主事		27

2) 2年次履修科目 (16)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修指定期 学	コース	資格関係	備 考	頁
後期	水	3	43351	老人福祉論Ⅱ	山口幸照	2	3～4学期	SC PW	社会福祉主事		27
集中	-	-	47001	児童福祉論Ⅰ	齋藤尚子	2	3～4学期	SC PW	社会福祉主事		27
前期	水	3	43301	障害者福祉論	山口幸照	2	3～4学期	SC PW	社会福祉主事		26
前期	水	1	43103	仏教心論	室寺義仁	2	3～4学期	SC	-		28
前期	木	1	44104	スピリチュアルケア援助論Ⅲ	森崎雅好	2	3～4学期	SC	-		28
後期	木	1	44155	スピリチュアルケア援助論Ⅳ	森崎雅好	2	3～4学期	SC	-		28
前期	火	2	42203	スピリチュアルケア講読演習Ⅰ	井上ウイマラ	2	3～4学期	SC PW	-		28

3) 3年次履修科目 (14)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修指定期 学	コース	資格関係	備 考	頁
前期	金	2	45204	臨床心理学心理テスト実習Ⅰ	森崎雅好	2	5～6学期	PW	認定心理士		29
後期	金	2	45254	臨床心理学心理テスト実習Ⅱ	森崎雅好	2	5～6学期	PW	認定心理士		29
前期	水	2	43208	社会福祉原論Ⅰ	山口幸照	2	5～6学期	SC PW	社会福祉主事		29
後期	水	2	43258	社会福祉原論Ⅱ	山口幸照	2	5～6学期	SC PW	社会福祉主事		29
前期	水	1	43104	地域福祉論Ⅰ	山口幸照	2	5～6学期	PW	社会福祉主事		30
後期	水	1	43154	地域福祉論Ⅱ	山口幸照	2	5～6学期	PW	社会福祉主事		30

4) 4年次履修科目 (6)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修指定期 学	コース	資格関係	備 考	頁
後期	木	3	44353	スピリチュアルケア援助論Ⅶ	前谷 彰	2	7～8学期	SC	-		30
後期	金	1	45153	スピリチュアルケア援助論Ⅷ	森崎雅好	2	7～8学期	SC	-		30
前期	水	2	43209	スピリチュアルケア演習Ⅱ-1	室寺義仁	1	7～8学期	SC	-		31
後期	水	2	43259	スピリチュアルケア演習Ⅱ-2	室寺義仁	1	7～8学期	SC	-		31
前期	火	1	42102	スピリチュアルケア演習Ⅱ-3	井上ウイマラ	1	7～8学期	SC	-		31
後期	火	1	42152	スピリチュアルケア演習Ⅱ-4	井上ウイマラ	1	7～8学期	SC	-		31
前期	水	1	43105	臨床心理学演習Ⅱ-1	森崎雅好	1	7～8学期	PW	認定心理士		32
後期	水	1	43155	臨床心理学演習Ⅱ-2	森崎雅好	1	7～8学期	PW	認定心理士		32

5) 卒業論文 (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単 位	履修指定期 学	コース	資格関係	備 考	頁
通年	-	-	49002	スピリチュアルケア学科卒業論文	学科主任	4	7～8学期	SC PW	-		-
前期	-	-	49004	スピリチュアルケア学科卒業論文(前期)	学科主任	4	7～8学期	SC PW	-	7月提出許可者に限る	-

2. 選択科目

1) 総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	火	3	42307	総合科目〔デジタルアーカイブ〕	藤吉圭二	2	1～8学期		-		32
前期	火	2	42206	企画科目〔仏教芸術〕	緒方啓介	2	1～8学期		-		41

2) 語学選択科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	月	3	41304	英語Ⅲ-1〔留学用〕	高倉正行	1	5～8学期		-		33
後期	月	3	41353	英語Ⅲ-2〔留学用〕	高倉正行	1	5～8学期		-		33
前期	水	3	43302	英語Ⅳ-1〔大学院特進〕	T.ドライライン	1	5～8学期		-		33
後期	水	3	43352	英語Ⅳ-2〔大学院特進〕	T.ドライライン	1	5～8学期		-		33
前期	火	1	42103	中国語Ⅰ(初級)	土生川正賢	1	1～8学期		-		34
後期	火	1	42153	中国語Ⅱ(初級)	土生川正賢	1	1～8学期		-		34
前期	火	2	42204	中国語Ⅰ(上級)	土生川正賢	1	1～8学期		-		34
後期	火	2	42253	中国語Ⅱ(上級)	土生川正賢	1	1～8学期		-		34
前期	火	2	42205	サンスクリット語初級Ⅰ	前谷 彰	1	1～8学期		-		34
後期	火	2	42254	サンスクリット語初級Ⅱ	前谷 彰	1	1～8学期		-		34
前期	木	3	44304	サンスクリット語上級Ⅰ	加納和雄	1	1～8学期		-		35
後期	木	3	44354	サンスクリット語上級Ⅱ	加納和雄	1	1～8学期		-		35
前期	木	2	44203	チベット語Ⅰ	加納和雄	1	1～8学期		-		35
後期	木	2	44253	チベット語Ⅱ	加納和雄	1	1～8学期		-		35

3) 健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	木	3	44305	体育実技Ⅰ-1〔スポーツ〕	中村哲二	1	1～8学期		教免基礎		35
後期	木	3	44355	体育実技Ⅰ-2〔スポーツ〕	中村哲二	1	1～8学期		教免基礎		35

4) 普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁
前期	水	2	43210	宗教思想史Ⅰ	山脇雅夫	2	1～8学期		教免(宗教)		36
後期	水	2	43260	宗教思想史Ⅱ	山脇雅夫	2	1～8学期		教免(宗教)		36
前期	木	2	44204	宗教学Ⅰ	川崎一洋	2	3～8学期		教免(宗教)		36
後期	木	2	44254	宗教学Ⅱ	川崎一洋	2	3～8学期		教免(宗教)		36
前期	木	1	44105	宗教史Ⅰ	川崎一洋	2	3～8学期		教免(宗教)		37
後期	木	1	44156	宗教史Ⅱ	川崎一洋	2	3～8学期		教免(宗教)		37
前期	金	4	45404	国語学Ⅰ	上田恭寿	2	3～8学期		教免(国語)		51
後期	金	4	45453	国語学Ⅱ	上田恭寿	2	3～8学期		教免(国語)		51
前期	水	1	43106	国文法Ⅰ	下西 忠	2	3～8学期		教免(国語)		37
後期	水	1	43156	国文法Ⅱ	下西 忠	2	3～8学期		教免(国語)		37
前期	金	3	45302	国語学講義Ⅰ	上田恭寿	2	3～8学期		教免(国語)		38
後期	金	3	45352	国語学講義Ⅱ	上田恭寿	2	3～8学期		教免(国語)		38
前期	月	1	41101	社会学Ⅰ	藤吉圭二	2	1～8学期		社会福祉主事		38
後期	月	1	41151	社会学Ⅱ	藤吉圭二	2	1～8学期		社会福祉主事		38
後期	水	4	43451	現代の人権	竹村和也	2	1～8学期		-		39
後期	水	3	43353	法学Ⅰ〔日本国憲法〕	竹村和也	2	1～8学期		教免基礎		39
前期	火	4	42403	情報処理Ⅰ-1	藤吉圭二	1	1～8学期		教免基礎		39
後期	火	4	42454	情報処理Ⅰ-2	藤吉圭二	1	1～8学期		教免基礎		39
前期	月	4	41403	仏教芸術Ⅱ-1〔仏画〕	静 慈 圓	1	1～8学期		-		40
後期	月	4	41453	仏教芸術Ⅱ-2〔仏画〕	静 慈 圓	1	1～8学期		-		40
前期	水	4	43401	伝統文化Ⅰ-1〔芸能〕	桜野清里	1	1～8学期		-		40
後期	水	4	43452	伝統文化Ⅰ-2〔芸能〕	桜野清里	1	1～8学期		-		40
前期	金	4	45405	伝統文化Ⅱ-1〔茶道〕	岡本文音	1	1～8学期		-		40
後期	金	4	45454	伝統文化Ⅱ-2〔茶道〕	岡本文音	1	1～8学期		-		40
前期	火	4	42404	伝統文化Ⅲ-1〔華道〕	五味和樹	1	1～8学期		-		41
後期	火	4	42455	伝統文化Ⅲ-2〔華道〕	五味和樹	1	1～8学期		-		41
前期	木	4	44404	宗教芸能Ⅰ-1〔詠歌〕	上山・辻・村上	1	1～8学期		-		41
後期	木	4	44454	宗教芸能Ⅰ-2〔詠歌〕	上山・辻・村上	1	1～8学期		-		41
前期	月	4	41404	宗教芸能Ⅱ-1〔舞踊〕	細川・高祖・辻	1	1～8学期		-		41
後期	月	4	41454	宗教芸能Ⅱ-2〔舞踊〕	細川・高祖・辻	1	1～8学期		-		41

5) 僧侶関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期 学期	コース	資格関係	備考	頁
前期	月	1	41102	法式Ⅰ	中西雄泰	1	1～8学期	教育実習科目	僧階申請		42
後期	月	1	41152	法式Ⅱ	中西雄泰	1	1～8学期		僧階申請		42
前期	金	1	45103	声明Ⅰ	辻秀道	1	1～8学期		僧階申請		42
後期	金	1	45154	声明Ⅱ	辻秀道	1	1～8学期		僧階申請		42
前期	火	4	42405	布教Ⅰ	橋本真人	1	1～8学期		僧階申請		42
後期	火	4	42456	布教Ⅱ	橋本真人	1	1～8学期		僧階申請		42
前期	水	4	43402	常用経典Ⅰ	宮田永明	1	1～8学期		僧階申請		42
後期	水	4	43453	常用経典Ⅱ	宮田永明	1	1～8学期		僧階申請		42
前期	木	2	44205	観法Ⅰ	佐藤隆彦	1	1～8学期			-	43
後期	木	2	44255	観法Ⅱ	佐藤隆彦	1	1～8学期			-	43
集中	-	-	47007	加行Ⅰ	淵田雲溪	2	3～8学期		-	43	
集中	-	-	47051	加行Ⅱ	淵田雲溪	2	3～8学期		-	43	
前期	水	3	43303	法式上級Ⅰ	淵田雲溪	1	3～8学期			44	
後期	水	3	43354	法式上級Ⅱ	淵田雲溪	1	3～8学期			44	

6) 認定心理士科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期 学期	コース	資格関係	備考	頁
集中	-	-	47002	発達心理学	坂田真穂	2	3～8学期		認定心理士		44
集中	-	-	47003	社会心理学	坂田真穂	2	3～8学期		認定心理士		44
前期	木	2	44206	学校臨床心理学	森崎雅好	2	3～8学期		認定心理士		44
集中	-	-	47004	教育心理学	末田啓二	2	3～8学期		認定心理士		45

7) 社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期 学期	コース	資格関係	備考	頁
前期	火	5	42501	社会保障論Ⅰ	山口幸照	2	1～2学期		社会福祉主事		45
後期	火	5	42551	社会保障論Ⅱ	山口幸照	2	1～2学期		社会福祉主事		45

8) 他学科科目

a) 密教学科

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期 学期	コース	資格関係	備考	頁
後期	火	4	42453	スピリチュアルケア理論	井上ウイマラ	2	1～2学期		-		26
前期	金	2	45203	心理学Ⅰ	戸來知子	2	1～2学期		認定心理士 社会福祉主事		27
前期	水	1	43103	仏教心論	室寺義仁	2	3～4学期		-		28
前期	火	2	42203	スピリチュアルケア講読演習Ⅰ	井上ウイマラ	2	3～4学期		-		28
前期	水	2	43208	社会福祉原論Ⅰ	山口幸照	2	5～6学期		社会福祉主事		29
後期	水	2	43258	社会福祉原論Ⅱ	山口幸照	2	5～6学期		社会福祉主事		29
前期	水	1	43104	地域福祉論Ⅰ	山口幸照	2	5～6学期		社会福祉主事		30
後期	水	1	43154	地域福祉論Ⅱ	山口幸照	2	5～6学期		社会福祉主事		30
後期	水	3	43351	老人福祉論Ⅱ	山口幸照	2	3～4学期		社会福祉主事		27
集中	-	-	47001	児童福祉論Ⅰ	齋藤尚子	2	3～4学期		社会福祉主事		27
前期	水	3	43301	障害者福祉論	山口幸照	2	3～4学期		社会福祉主事		26
前期	金	2	45204	臨床心理学心理テスト実習Ⅰ	森崎雅好	2	5～6学期		認定心理士		29

b) スピリチュアルケア学科

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期 学期	コース	資格関係	備考	頁
後期	水	1	43151	釈尊伝	前谷 彰	2	1～2学期		-		6
後期	火	3	42351	弘法大師伝	武内孝善	2	1～2学期		-		6
前期	金	2	45201	梵字悉曇Ⅰ	齋藤天譽	2	1～2学期		-		7
後期	金	2	45251	梵字悉曇Ⅱ	齋藤天譽	2	1～2学期		-		7
前期	木	1	44101	漢文Ⅰ	南 昌宏	2	1～2学期		教免(国語)		7
後期	木	1	44151	漢文Ⅱ	南 昌宏	2	1～2学期		教免(国語)		7
前期	月	2	41201	密教学概論Ⅰ	乾 仁志	2	3～4学期		教免(宗教)		8
後期	月	2	41251	密教学概論Ⅱ	乾 仁志	2	3～4学期		教免(宗教)		8
前期	金	1	45101	密教史概説Ⅰ	奥山直司	2	3～4学期		教免(宗教)		8
後期	金	1	45151	密教史概説Ⅱ	佐藤隆彦	2	3～4学期		教免(宗教)		8

前期	木	1	44102	仏教学概論Ⅰ	室寺義仁	2	3～4学期			教免(宗教)		9
後期	木	1	44152	仏教学概論Ⅱ	室寺義仁	2	3～4学期			教免(宗教)		9
前期	木	4	44401	仏教史概説Ⅰ	前谷彰	2	3～4学期			教免(宗教)		9
後期	木	4	44451	仏教史概説Ⅱ	前谷彰	2	3～4学期			教免(宗教)		9
前期	火	3	42302	日本文学史概説Ⅰ	下西忠	2	3～6学期			教免(国語)		10
後期	火	3	42352	日本文学史概説Ⅱ	下西忠	2	3～6学期			教免(国語)		10
前期	木	3	44302	漢文学概論Ⅰ	南昌宏	2	3～6学期			教免(国語)		10
後期	木	3	44351	漢文学概論Ⅱ	南昌宏	2	3～6学期			教免(国語)		10
前期	金	3	45301	真言密教特殊講義A	齋藤天譽	2	3～6学期			教免(宗教)		11
後期	金	3	45351	真言密教特殊講義B	齋藤天譽	2	3～6学期			教免(宗教)		11
前期	火	3	42303	密教学特殊講義	中村本然	2	3～6学期			教免(宗教)		11
後期	金	2	45252	インド・チベット文化特殊講義	奥山直司	2	3～6学期			教免(国語)		12
前期	火	3	42304	仏教美術特殊講義A	緒方啓介	2	3～6学期					12
後期	火	3	42353	仏教美術特殊講義B	緒方啓介	2	3～6学期					12
後期	水	2	43253	日本文化特殊講義	下西忠	2	3～6学期			教免(国語)		12
後期	月	3	41351	中国文化特殊講義A	南昌宏	2	3～6学期			教免(国語)		13
前期	金	4	45403	中国文化特殊講義B	野田悟	2	3～6学期					13

3. 自由科目 (卒業要件には参入されません)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁	
前期	金	2	45205	教職入門	伊藤一雄	2	1～4学期			教職		46
前期	木	4	44405	教育原論	山脇雅夫	2	1～6学期			教職		46
集中	-	-	44404	教育心理学	末田啓二	2	3～8学期			教職		45
後期	月	3	41354	教育社会学	藤吉圭二	2	1～8学期			教職		46
後期	金	2	45255	教育課程論	伊藤一雄	2	1～8学期			教職		46
前期	月	1	41103	宗教科教育法Ⅰ	乾仁志	2	3～6学期			教職		47
後期	月	1	41153	宗教科教育法Ⅱ	乾仁志	2	3～6学期			教職		47
後期	木	3	44356	宗教科教育法Ⅲ	室寺義仁	2	5～8学期			教職		47
前期	火	4	42406	国語科教育法Ⅰ	下西忠	2	3～6学期			教職		48
後期	火	4	42457	国語科教育法Ⅱ	下西忠	2	3～6学期			教職		48
前期	火	5	42502	国語科教育法Ⅲ	下西忠	3	5～8学期			教職		48
後期	火	5	42552	国語科教育法Ⅳ	下西忠	3	5～8学期			教職		48
前期	水	2	43211	教育方法論	山本芳孝	2	3～8学期			教職		49
集中	-	-	47005	情報技術論	本多千明	2	3～8学期			教職		49
集中	-	-	47006	道德教育の研究	田中潤一	2	3～8学期			教職		49
前期	水	3	43304	特別教育活動	山本芳孝	2	3～8学期			教職		52
前期	金	3	45303	生徒指導・進路指導	伊藤一雄	2	3～8学期			教職		49
後期	金	3	45353	教育相談	戸來知子	2	5～8学期			教職		50
後期	金	3	45354	教職演習/総合演習	伊藤一雄	2	5～8学期			教職		50
実習	-	-	48001	教育実習Ⅰ	山脇雅夫	2	5～8学期			教職		
実習	-	-	48002	教育実習Ⅱ	伊藤一雄	2	7～8学期			教職		
前期	木	1	44106	教育実習の研究	山脇雅夫	1	5～8学期			教職		50

4. その他科目 (卒業要件には参入されません)

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修指定期	コース	資格関係	備考	頁	
前期	水	3	43305	就職スキル講座	田村美幸	2	5～8学期					51
後期	木	4	44455	キャリアカウンセリングⅠ(寄附講座)	山脇雅夫	2	1～8学期					51

別 科 目 次

別科

1. 必修科目 (48)

1) 基礎科目 (16)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	備 考	頁
通年	月	2	81201	真言宗の教え (別)	密教学概論 1 密教学概論 2	乾 仁志	4	1年次		8
後期	水	1	83151	釈尊の生涯 (別)	釈尊伝	前谷 彰	2	1年次		6
後期	火	3	82351	弘法大師空海の生涯 (別)	弘法大師伝	武内孝善	2	1年次		6
通年	火	2	82201	真言宗典講読 1 (別)	祖典講読 I 祖典講読 II	加納和雄	4	1~2年次		13
前期	月	1	81401	真言宗典講読 2-1 (別)	密教学講読演習	松長恵史	2	1~2年次	2-1、2-2を必ず履修すること	15
後期	木	1	84151	真言宗典講読 2-2 (別)	真言密教講読演習	加納和雄	2	1~2年次		15

2) 実習科目 (14)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	備 考	頁
通年	木	2	84201	観法の理論と実習 (別)	観法 I 観法 II	佐藤隆彦	4	2年次		43
前期	金	2	85201	梵字悉曇 A (別)	梵字悉曇 A	齋藤天譽	2	1年次		7
後期	金	2	85251	梵字悉曇 B (別)	梵字悉曇 B	齋藤天譽	2	1年次		7
通年	金	1	85101	声明 (別)	声明 I 声明 II	辻 秀道	2	1年次		42
通年	水	4	83101	常用経典 (別)	常用経典 I 常用経典 II	宮田永明	2	1年次		42
通年	月	1	81101	法式 (別)	法式 I 法式 II	中西雄泰	2	1年次		42
通年	火	4	82401	布教 (別)	布教 I 布教 II	橋本真人	2	1年次		42

2. 選択科目 (18)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単 位	履修年次	備 考	頁
後期	水	4	83451	人権と福祉 (別)	現代の人権	竹村和也	2	1~2年次		39
通年	木	2	84202	世界の宗教 (別)	宗教学 I 宗教学 II	川崎一洋	4	1~2年次		36
通年	木	1	84102	宗教の歴史 (別)	宗教史 I 宗教史 II	川崎一洋	4	1~2年次		37
通年	金	2	85202	心の科学 (別)	心理学 I 心理学 II	戸來知子	4	1~2年次		27
通年	月	4	81402	仏教芸術 (別)	仏教芸術 II -1 [仏画] 仏教芸術 II -2 [仏画]	静 慈圓	2	1~2年次		40
通年	月	3	81301	哲学 (別)	現代思想 哲学方法論	山脇雅夫	4	1~2年次		3 17
通年	火	5	82501	社会保障論 (別)	社会保障論 I 社会保障論 II	山口幸照	4	1~2年次		45
通年	水	1	83101	地域福祉 (別)	地域福祉論 I 地域福祉論 II	山口幸照	4	1~2年次		30
通年	火	2	82202	サンスクリット語 (別)	サンスクリット語初級 I サンスクリット語初級 II	前谷 彰	2	1~2年次		34
通年	木	2	84203	チベット語 (別)	チベット語 I チベット語 II	加納和雄	2	1~2年次		35
通年	水	3	83301	法式上級 (別)	法式上級 I 法式上級 II	淵田雲溪	2	1~2年次		44
通年	金	3	85301	密教儀礼の理論と実習 (別)	真言密教特殊講義 A 真言密教特殊講義 B	齋藤天譽	4	2年次		11
通年	木	4	84401	事相研究(聖教の伝授と実習)(別)	事相研究 II -1 事相研究 II -2	佐藤隆彦	4	2年次		52

講 義 概 要

授 業 計 画

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の密教思想を学ぶための基礎的な知識を身につける テーマ：弘法大師空海とその密教思想
空海 の 思想 入門	授業の概要 本講義は文学部共通の「建学の精神」科目で、全学生必須である。本学でどのような分野を専攻するにしても、最初に弘法大師空海とその密教思想の概要を学んでおくことは、弘法大師の教育理念に基づく高野山大学で学ぶことの意義を確認でき、より実り多い勉学生生活を過ごすことが可能であるからである。大師の著作のいくつかを具体的に取りあげて概観し、大師の密教思想を学ぶ。
学期	授業計画 1. はじめに (オリエンテーション) 2. 密教の種々相 (日本密教とチベット密教) 3. 高野山の開創とその意義 4. 弘法大師の生涯 (略説) 5. 〃 6. 大師の教育観 (『綜芸種智院式』) 7. 三教の比較思想論 (『譬譬指帰』『三教指帰』) 8. 真言密教の相承者の系譜と伝記 (『広付法伝』『略付法伝』) 9. 顕教と密教 (『弁顕密二教論』) 10. 密教の成仏論 (『即身成仏義』) 11. 十段階の心のあり方 (『十住心論』『秘蔵宝鑰』) 12. 密教経典としての般若心経 (『般若心経秘鍵』) 13. 大師の戒律思想 (『三昧耶戒序』『梵網経解題』) 14. 〃 15. おわりに (まとめ)
前期	テキスト 授業中に適宜指示する。
単位数	参考書・参考資料等 ① 松長有慶『密教』(岩波新書) ② 『弘法大師空海全集』(筑摩書房) など 授業中に適宜指示する。
2	学生に対する評価 期末のレポート試験 (60%)、平常点 (20%)、小テスト (20%) によって評価する。
担当者	その他 毎回休まずに出席することを望みます。少なくとも、授業実数の三分の一以上欠席すれば失格です。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp です。質問などに遠慮無く利用して下さい。
藤田 光寛	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
学期	テキスト
	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：基礎的な読解能力を養う
英語 I A 〔TOEIC〕	授業の概要 基本的な英文法を再確認するとともに、易しい英文を読み読解力を養う。
学期	授業計画 【前期】 1. 予習、復習、授業の進め方について説明する。 2. Freeters and NEETs 3. 同上 4. Low Birth Rate 5. 同上 6. Working Poor 7. 同上 8. Net Café Refugee 9. 同上 10. Loser Dog 11. 同上 12. False Accusation 13. 同上 14. Hikikomori 15. 同上 【後期】 1. Cults 2. 同上 3. Baby Boomers Retire 4. 同上 5. Immigration 6. 同上 7. Telecommuting 8. 同上 9. Buying Organs 10. 同上 11. Surrogate Mothers 12. 同上 13. Baby Hatch 14. 同上 15. Eating Disorder
通年	テキスト Keywords for Japan (センゲージラーニング、Paul Stapleton) ISBN 978-4-86312-043-3
2	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価 出席状況と授業態度、前期後期試験を加味して行う。
高倉 正行	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：1年間の授業で、それまでコマ付きの自転車に乗っていた子供が、コマを外してしばらく練習した後で、「今コマ無しで走っているよ」と実感できるような、その程度にまでもっていく。 テーマ：【前期】高校までに習った英語を活性化させる。 【後期】英文法の初歩習得
英語 I B	授業の概要 受講生は誰もが最低限6年間の英語学習を経ているはずである。本授業では受講生に関わった中学・高校英語教師の努力に報いるために尽力する。つまり勉強した事柄の想起・活性化・定着である。
通年	授業計画 テキストに沿って行う。
2	テキスト 南雲堂 What a Story! (文法・単語で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング)。 テキストを持たない学生の受講は認めません。
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて指示
静 春 樹	学生に対する評価 前期テスト (50%)、後期テスト (50%)。出席日数が足りている学生のみ受験可能 その他

科目名 英語 I C I (再履修) / 英語 I C 2 (再履修)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：英文の基本的構文の習得
	授業の概要 基礎英文法を学ぶ。
	授業計画 【前期】 1. 授業の進め方、評価の仕方、予習・復習の仕方等について説明。 2. 動詞と文型 3. 同上 4. 文の種類 5. 同上 6. 動詞と時制 7. 同上 8. 完了形 9. 同上 10. 態 11. 同上 12. 不定詞 13. 同上 14. 動名詞 15. 同上 【後期】 1. 分詞 2. 同上 3. 分詞構文 4. 同上 5. 比較 6. 同上 7. 関係詞 (1) 8. 同上 9. 関係詞 (2) 10. 同上 11. 仮定法 12. 同上 13. 時制の一致と話法 14. 同上 15. 総括
	学期 前期 通年 後期
	単位数 1 2 1
担当者	参考書・参考資料等
高倉正行	学生に対する評価 出席状況と授業態度、前期試験・後期試験を加味して行う。
	その他

科目名 英語 II A (再履修) / 英語 II A 2 (再履修)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：長文を読みこなす。
	授業の概要 世界のトップ企業の説明を読んだ後、理解度を深める練習問題をやっています。
	授業計画 【前期】 1. 予習、復習、授業の進め方について説明する。 2. Sony 3. 同上 4. Sam Walton 5. 同上 6. IKEA 7. 同上 8. Andrew Carnegie 9. 同上 10. Anita Roddic 11. 同上 12. Google Power 13. 同上 14. Amazon 15. 同上 【後期】 1. Azim Premji 2. 同上 3. Skype 4. 同上 5. EBay 6. 同上 7. Starbucks 8. 同上 9. Lenova 10. 同上 11. MTN 12. 同上 13. Apple's Ipod 14. 同上 15. BHP Billiton
	学期 前期 通年 後期
	単位数 1 2 1
担当者	参考書・参考資料等
高倉正行	学生に対する評価 出席状況と授業態度、前期後期試験を加味して行う。
	その他

科目名 英語 II B (再履修) / 英語 II B 2 (再履修)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 【前期】「文法」つまり基本的な「文のしくみ」に焦点を合わせる。 【後期】英語に限らずすべての言語は「音声」「文法」「語彙(単語力)」の三つのアプリケーションから成ると言っても過言ではない。授業では「文のしくみ」に焦点を合わせる。 テーマ： 【前期】高校までに習った英語を活性化する。 【後期】英文法の初歩習得。
	授業の概要 授業計画が成立するのは受講生の習得水準が一定の幅に揃っている場合である。本授業の場合、プレイズメントテストがなく、およそ「不揃いな受講生」を相手にしなければならない。従って、授業はあくまで各受講生の力に合わせた個別的な指導となる。 勉学の基礎は自学自習である。教師は各受講生の力量・つまずきの箇所・壁を判断し個別に指導する。
	授業計画 テキストをユニット0から各自が徹底的に勉強し、教師に理解したと判断された場合に次のユニットへ進む。
	学期 前期 通年 後期
	単位数 1 2 1
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて指示
静春樹	学生に対する評価 出席点 (50%)、期末テスト (50%)
	その他 「文の仕組み」は人体に喩えると、骨格に相当します。習得言語の場合 (母語でないこと)、これをインストールしないと自力で歩くことが出来ません。

科目名 英語 II C 1 (再履修) / 英語 II C 2 (再履修)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：英文の基本的構文の習得
	授業の概要 英文の基本構造を学びつつ、沢山の練習問題を行います。
	授業計画 【前期】 1. 不定詞 (1) 2. 不定詞 (2) 3. 分詞 4. 動名詞 5. 動名詞と不定詞 6. 時制 7. 未来時を表す表現 8. 進行形 9. 完了形 10. 態 11. 仮定法 (1) 12. 仮定法 (2) 13. 比較構文 14. 否定 15. 名詞 【後期】 1. 代名詞 (1) 2. 代名詞 (2) 3. 形容詞 4. 冠詞 5. 数量詞 6. 副詞 7. 動詞 8. 法助動詞 (1) 9. 法助動詞 (2) 10. 前置詞 (1) 11. 前置詞 (2) 12. 前置詞 (3) 13. 接続詞 14. 関係詞 (1) 15. 関係詞 (2)
	学期 前期 通年 後期
	単位数 1 1 1
担当者	参考書・参考資料等
高倉正行	学生に対する評価 出席状況と授業態度、前期試験・後期試験を加味して行う。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	他人の言いたいことを的確に把握できるようにすること、自分の言いたいことを的確に展開できるようにすること。
日本語A・B・C	授業の概要
	大学では、多くの専門的な本を読み、それをもとにレポートを書き、最終的には卒業論文に取り組みます。そのためには専門的知識を身につけると共に論理的に構成された文章を、正確に把握できるようにすることが不可欠です。この講義では新入生を対象として、そのためのトレーニングを実施します。
学期	授業計画
	<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 「自分史」を書く 「自分史」を読む・聞く 文章読解の練習(1) -漢字の役割 文章読解の練習(2) -辞書の使い方 文章読解の練習(3) -文のつながり方その1 文章読解の練習(4) -文のつながり方その2 文章読解の練習(5) -文のつながり方その3 文章読解の練習(6) -文のつながり方その4 レポートの作り方(1) レポートの作り方(2) レポートの作り方(3) レポートの作り方(4) レポートの作り方(5) 他人のレポートを読んで意見を述べる <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 自分の意見を書く(1) -必要な材料の収集 自分の意見を書く(2) -言いたいことの整理 自分の意見を書く(3) -予想される反論 自分の意見を書く(4) -インパクトのある構成 自分の意見を書く(5) -実際に書いてみる 引用のポイント(1) -複数の他人の意見を紹介する 引用のポイント(2) -フェアな紹介とは 引用のポイント(3) -フェアな批判とは 引用のポイント(3) -引用と自説の展開 レポートの作り方(1) レポートの作り方(2) レポートの作り方(3) レポートの作り方(4) レポートの相互批評 <p>※プログラムは改訂される場合があります。</p>
単位数	2+2
担当者	参考書・参考資料等 国語辞典・漢和辞典を持参してください(電子辞書も可)。
CBA 山脇雅夫	学生に対する評価
	平常点40%、課題提出40%、課題のできばえ20%で評価します。
	その他
	・トレーニングは大変かもしれませんが、その成果は必ずみなさんの財産になります。へこたれず、楽しくやっていきましょう。 ・この授業で練習することは、これからの勉強だけでなく、卒業前の就職準備、社会人になってからの色々な場面で応用できることです。自分から積極的に活用してってください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	他人の言いたいことを的確に把握できるようにすること、自分の言いたいことを的確に展開できるようにすること。
日本語A・B・C	授業の概要
	大学では、多くの専門的な本を読み、それをもとにレポートを書き、最終的には卒業論文に取り組みます。そのためには専門的知識を身につけると共に論理的に構成された文章を、正確に把握できるようにすることが不可欠です。この講義では新入生を対象として、そのためのトレーニングを実施します。
学期	授業計画
	<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 「自分史」を書く 「自分史」を読む・聞く 文章読解の練習(1) -漢字の役割 文章読解の練習(2) -辞書の使い方 文章読解の練習(3) -文のつながり方その1 文章読解の練習(4) -文のつながり方その2 文章読解の練習(5) -文のつながり方その3 文章読解の練習(6) -文のつながり方その4 レポートの作り方(1) レポートの作り方(2) レポートの作り方(3) レポートの作り方(4) レポートの作り方(5) 他人のレポートを読んで意見を述べる <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 自分の意見を書く(1) -必要な材料の収集 自分の意見を書く(2) -言いたいことの整理 自分の意見を書く(3) -予想される反論 自分の意見を書く(4) -インパクトのある構成 自分の意見を書く(5) -実際に書いてみる 引用のポイント(1) -複数の他人の意見を紹介する 引用のポイント(2) -フェアな紹介とは 引用のポイント(3) -フェアな批判とは 引用のポイント(3) -引用と自説の展開 レポートの作り方(1) レポートの作り方(2) レポートの作り方(3) レポートの作り方(4) レポートの相互批評 <p>※プログラムは改訂される場合があります。</p>
単位数	2+2
担当者	参考書・参考資料等 国語辞典・漢和辞典を持参してください(電子辞書も可)。
藤吉圭二	学生に対する評価
	平常点40%、課題提出40%、課題のできばえ20%で評価します。
	その他
	・トレーニングは大変かもしれませんが、その成果は必ずみなさんの財産になります。へこたれず、楽しくやっていきましょう。 ・この授業で練習することは、これからの勉強だけでなく、卒業前の就職準備、社会人になってからの色々な場面で応用できることです。自分から積極的に活用してってください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標: テーマ: 人間の哲学
現代思想 (別)	授業の概要
	「人間」と書いて「人間」と読むことは、私たち人間にとって他人とのかわりが本質的であることをよく示していると思われます。この授業では、人間関係に関する哲学的問題を中心に、現代に生きていくために必要な思想は何かを考えます。
学期	授業計画
	<ol style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの人間認識 対人関係と言葉 自他の境界 いじめ 「自分」の定義 「愛」の諸相 聴くことの意味 理解と誤解 自己犠牲は可能か? 待つことの意味 人間関係と時間 死者との共存 切れ字の存在論 実存 住まうこと
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 授業中に指示。
山脇雅夫	学生に対する評価
	期末テスト65点、小テスト20点、平常点15点
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標: 「スピリチュアルケア」の前世紀末(1990年代)からの流れを学び、今後の展望について宗教とのかわりから捉えることに見据えて、受講生自らの考えを見出すこと テーマ: 人のいのちと意識を巡る諸問題
人間と宗教	授業の概要
	個人に係わるスピリチュアリティ/「霊性」と、社会的合意形成の許で組織される集団の実効性を伴って機能するケア/援助、この個人と社会との関係性の問題を基本的な視点に据え「スピリチュアルケア」について概説するとともに、人のいのちと意識の有り様について、一方で仏教・密教の教えの観点から、他方で現代医療の観点から考えてみたい。
学期	授業計画
	<ol style="list-style-type: none"> 導入(「共感」する/できる/し合う、ということについて) 「スピリチュアルケア」という考え方の流れについて ケアについての概説(「介助」・「介在」の「介」と「being with」についてなど) 「ケア」の安全網から抜け落ちる人々について(「無縁死」・「孤族」という造語について) スピリチュアリティについての概説(「仮想スピリチュアリティ」という考え方についてなど) 「霊性」と、人のいのちと意識の有り様について[仏教の観点から] (同上)[現代医療の観点から] 和歌山県立医科大学からの特別講師による授業 (同上。ただし、日程については学内掲示に注意すること。) 上記特別講義の復習と展開 グリーフ・ケア(悲嘆へのケア)について (同上) 仏教的観点から見た、何を畏れることなく生きて行けば良いのかという観点について まとめ 学期末試験
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 特に指定しない。参考資料を、適宜、コピー配布する。
室寺義仁	学生に対する評価
	学期末の論述試験(60%)と、平常点(40%: 個々の授業内容に対する短い感想文の提出を適宜求める)をもって評価する。
	その他

科目名 ブツダの思想入門	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教思想の基礎を習得することを目標とする。 テーマ：最古の仏典から釈尊の教えを学ぶ。
	授業の概要 釈尊が創始した仏教の原形は、二千年以上もの長い歴史を経て多様に変容してきた。授業では今一度、釈尊の教えにさかのぼり、原典に耳を傾け、その意図を正確に理解し、現代的な意義を見つめ直す。特に最古の仏典といわれる『スッタニパータ』の「彼岸に至る道の章」について、パーリ語原典と現代語訳を付き合わせながら精読し、仏教最古の教えを再発見する。
	授業計画 1. 導入 2. 原始仏典概説 (1) 3. 原始仏典概説 (2) 4. 釈尊の教え (1) 5. 釈尊の教え (2) 6. 釈尊の教え (3) 7. 釈尊の教え (4) 8. 『スッタニパータ』を読む (1) 9. 『スッタニパータ』を読む (2) 10. 『スッタニパータ』を読む (3) 11. 『スッタニパータ』を読む (4) 12. 『スッタニパータ』を読む (5) 13. 『スッタニパータ』を読む (6) 13. 『スッタニパータ』を読む (7) 14. 『スッタニパータ』を読む (8) 15. 総括
	テキスト 授業において指示します。
	参考書・参考資料等 中村元、『ブツダのことば』、岩波文庫。 並川孝儀、『書物誕生、あたらしい古典入門・スッタニパータ』 岩波書店。
	学生に対する評価 授業中の発表など 30%、出席 40%、テスト 40%
	その他
	学期
	前期
	単位数 2
担当者	
加納和雄	

科目名 スピリチュアルケア入門	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：「スピリチュアルケア」の前世紀末 (1990 年代) からの流れを学び、今後の展望について宗教とのかかわりから捉えることに見据えて、受講生自らの考えを見出すこと テーマ：人のいのちと意識を巡る諸問題
	授業の概要 個人に係わるスピリチュアリティ / 「霊性」と、社会的合意形成の許で組織される集団の実効性を伴って機能するケア / 援助、この個人と社会との関係性の問題を基本的な視点に据え「スピリチュアルケア」について概説するとともに、人のいのちと意識の有り様について、一方で仏教・密教の教えの観点から、他方で現代医療の観点から考えてみたい。
	授業計画 1. 導入 (「共感」する / できる / し合う、ということについて) 2. 「スピリチュアルケア」という考え方の流れについて 3. ケアについての概説 (「介助」・「介在」の「介」と “being with” についてなど) 4. 「ケア」の安全網から抜け落ちる人々について (「無縁死」・「孤族」という造語について) 5. スピリチュアリティについての概説 (「仮想スピリチュアリティ」という考え方についてなど) 6. 「霊性」と、人のいのちと意識の有り様について [仏教の観点から] 7. (同上) [現代医療の観点から] 8. 和歌山県立医科大学からの特別講師による授業 9. (同上。ただし、日程については学内掲示に注意すること。) 10. 上記特別講義の復習と展開 11. グリーフ・ケア (悲嘆へのケア) について 12. (同上) 13. 仏教的観点から見た、何を畏れることなく生きて行けば良いのかという観点について 14. まとめ 15. 学期末試験
	テキスト 特に指定しない。参考資料を、適宜、コピー配布する。
	参考書・参考資料等 授業の中で適宜紹介する。
	学生に対する評価 学期末の論述試験 (60%) と、平常点 (40% ; 個々の授業内容に対する短い感想文の提出を適宜求める) をもって評価する。
	その他
	学期
	前期
	単位数 2
担当者	
室寺義仁	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
	学期
	単位数
	テキスト
	参考書・参考資料等
	担当者
	学生に対する評価
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
	学期
	単位数
	テキスト
	参考書・参考資料等
	担当者
	学生に対する評価
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：新・旧の漢字に関する区別や理解ができ、漢文を読めるようになることや高野山の伝統的な読み方に熟達することを目的とする。 テーマ：「声字実相義」の素読
十卷章素読Ⅰ	
学期	前期
単位数	2
担当者	中村善教著『漢和対照十卷章』高野山出版社
中村本然	学生に対する評価 平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。 その他
授業の概要	素読とは、古典の原文を幾度となく繰り返して読み、それを書物を用いなくて誤りなく言うことができる学習法の一つ、と辞書などに紹介されている。真言宗で古来から行われてきた方法によって、弘法大師の思想に直接触れることにする。
授業計画	1. 講義内容の説明 2. 「声字実相義」の素読① 3. 「声字実相義」の素読② 4. 「声字実相義」の素読③ 5. 「声字実相義」の素読④ 6. 「声字実相義」の素読⑤ 7. 「声字実相義」の素読⑥ 8. 「声字実相義」の素読⑦ 9. 「声字実相義」の素読⑧ 10. 「声字実相義」の素読⑨ 11. 「声字実相義」の素読⑩ 12. 「声字実相義」の素読⑪ 13. 「声字実相義」の素読⑫ 14. 「声字実相義」の素読⑬ 15. 講義の総括
テキスト	『十卷章』高野山大学出版部
参考書・参考資料等	中川善教著『漢和対照十卷章』高野山出版社

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：新・旧の漢字に関する区別や理解ができ、漢文を読めるようになることや高野山の伝統的な読み方に熟達することを目的とする。 テーマ：「菩提心論」の素読
十卷章素読Ⅱ	
学期	後期
単位数	2
担当者	中川善教著『漢和対照十卷章』高野山出版社
中村本然	学生に対する評価 平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。 その他
授業の概要	前期の「十卷章素読」と同様、真言宗で古来から行われてきた方法によって、弘法大師の思想に直接触れることにする。
授業計画	1. 講義内容の説明 2. 「菩提心論」の素読① 3. 「菩提心論」の素読② 4. 「菩提心論」の素読③ 5. 「菩提心論」の素読④ 6. 「菩提心論」の素読⑤ 7. 「菩提心論」の素読⑥ 8. 「菩提心論」の素読⑦ 9. 「菩提心論」の素読⑧ 10. 「菩提心論」の素読⑨ 11. 「菩提心論」の素読⑩ 12. 「菩提心論」の素読⑪ 13. 「菩提心論」の素読⑫ 14. 「菩提心論」の素読⑬ 15. 講義の総括
テキスト	『十卷章』高野山大学出版部
参考書・参考資料等	中川善教著『漢和対照十卷章』高野山出版社

科目名	漢字Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 1. 楷書体のそれぞれの法帖を自分の目で比較分析し、その後自分で選んだ書風にて写経用紙に般若心経を創作表現する。 2. 正字、俗字の違いを理解する。 テーマ： 一回生……唐代楷書：顔真卿『多寶塔碑』、褚遂良『雁塔聖教序』。 二回生以上……北魏系楷書『張猛龍碑』、『張玄墓誌』。
漢字Ⅰ		
学期	前期	
単位数	1	
担当者	野田悟	
授業の概要	本講座は基本的に古典臨書を根拠とし、形臨、背臨を経て、学生同士が切磋琢磨し作品制作を行う。方法としては、国内の他大学にはない日本と中国の書字をミックスした指導を行う。	
授業計画	1. オリエンテーション 2～4. 顔真卿『多寶塔碑』（二回生以上は『張猛龍碑』）の反復臨書。 5～7. 褚遂良『雁塔聖教序』（二回生以上は『張玄墓誌』） *前半半紙臨書作品の提出。 8～10. 半紙4文字3行にて『多寶塔碑』・『雁塔聖教序』を交互に書き比べる（二回生以上は『張猛龍碑』・『張玄墓誌』）。 11. 書風をひとつに絞り中楷、小楷の反復練習。 12～15. 自分の決めた書風にて、写経用紙に般若心経を書く。最後は互評会と後半の作品提出。	
テキスト	・二女社法書選（二女社）： 顔真卿『多寶塔碑』、34褚遂良『雁塔聖教序』（一回生） 23『張猛龍碑』、26『墓誌銘集・下』（二回生以上） ・写経用紙セットLA26-59を大学生協にて購入の事。 ・その他、必要に応じてプリントを配布する。	
参考書・参考資料等	字書：『字源』、伏見冲敬編『書道字典』（角川書店）等	
学生に対する評価	・基本的に提出物（毎回の課題も含む）をそのまま評価する。 ・前期の授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は欠席の3分の1として計算する。	
その他	・筆（太筆・細筆2本）、墨（原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮は個々に準備のこと。また創作用の半紙用毛氈の講座として、毎回の課題が課される。 ・授業以外での個々の練習量は、評価に大きく左右されることを心得て望むこと。	

科目名	漢字Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 1. 楷書体以前の古代文字を学ぶ必要性を理解し、比較した法帖を自分の目で分析し、最後は自分で選んだ書風にて創作表現する。 テーマ： 一回生（篆書）……秦代『嶧山刻石』、清代鄧石如『白氏草堂記』、清代吳熙載『崔子座右銘』。 二回生以上（隸書）……『禮器碑』（必須）、『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』（三点の中から二点選ぶ）。
漢字Ⅱ		
学期	後期	
単位数	1	
担当者	野田悟	
授業の概要	1. 前期の楷書の授業で学習した方法を応用し、更に時代を遡った書体を学ぶ。 2. それぞれの時代に合った用筆鋒の修練並びに精神的鍛錬を兼ねる。 3. 学生間の切磋琢磨による鑑賞眼及び技術の向上をはかる。	
授業計画	1～4. 秦代『嶧山刻石』（二回生以上は『禮器碑』）の反復臨書。 5～7. 清代鄧石如『白氏草堂記』（二回生以上は『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』の中から一点選択）の反復臨書。 8～10. 清代吳熙載『崔子座右銘』（二回生以上は『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』の中から別のものを一点選択）の反復練習。 *前半半紙臨書作品の提出。 11. 半紙を3枚準備し、半紙それぞれ『嶧山刻石』、『白氏草堂記』、『崔子座右銘』（二回生以上は『禮器碑』〔必須〕と『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』の中から二点選択）を書き比べる。 12. 半切の画仙紙（半紙をついても構わない）を準備し、3行各12文字書きに折り、今度は3つのそれぞれの篆書体（二回生以上は隸書体）をランダムに臨書する。その後互評会を行い、鑑賞者が法帖を見ずにそれぞれの文字がどの書風を書いているのかを言い当てる。（個々で創作者の書風の分析力と技術が分かり、且つ批評者の鑑賞眼の高低が分かる。） *ここで自分で法帖を1つに絞り臨書する。 13～15. まだ臨書研究が足りないものは再度臨書に戻り（よくなったら創作への指導をする）、臨書能力の高いものは指定した内容の創作に移る。最後は互評会と後半の作品提出。	
テキスト	・二女社法書選（二女社）：56『鄧石如集』、58『吳熙載集』（一回生）3『石門頌』、5『禮器碑』、8『曹全碑』、9『張遷碑』（二回生以上） ・そのほか必要に応じて、プリントを配布する。	
参考書・参考資料等	字書：『字源』、伏見冲敬編『書道字典』（角川書店）、北川博邦編『清人篆隸字典』（雄山閣）等	
学生に対する評価	・基本的に提出物（毎回の課題も含む）をそのまま評価する。 ・後期の授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は欠席の3分の1として計算する。	
その他	・受講は前期を履修したものに限る。 ・創作用の半切画仙紙の使用については授業中に指示をする。 ・書道実技の講座として、毎回の課題が課される。 ・授業以外での個々の練習量は、評価に大きく左右されることを心得て望むこと。	

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】「かな」成立の歴史を知り、実習を通して行書きのかな創作ができることを目標とする。 【後期】前期で身につけた技術をより高め「ちらし書き」の創作、及び古筆の臨書技術を身につけることを目標とする。 テーマ：【前期】細筆の使い方を身につけ、かなの美を知る。 【後期】「ちらし書き」による白と黒の美の世界を表現する。古筆にそれを見る。</p>
かな I 1 /かな I 2	
学期	<p>授業の概要 【前期】日本独自の文字「かな」の成立の歴史を知り、その字母を覚える。かなの技術を身につける。 【後期】かな独自の構成法を知り、それを身につけ、その美が「余白」「流麗」「簡素」であることを知るために粘り強く実習する。</p>
前期 + 後期	
単位数	<p>授業計画 【前期】 1. 講義目標・概要の解説・書歴のアンケート 2. かな成立の歴史を解説・かなの基本線の練習 3. 「いろは歌」による単体練習・6～10. 字母説明 4. 連綿の解説・実習 5. 変体がな解説・実習 6. 和歌一首（行書きの実習） 7～11. 手本No.1～No.4実習・添削指導 12～15. 行書き創作の解説・実習・添削指導</p>
1 + 1	
担当者	<p>テキスト プリント 参考書・参考資料等 古筆全般・かな字典 後期は古筆（三色紙・高野切第2種）</p>
山本圭子	<p>学生に対する評価 出席重視 適宜小テストを行なう。 1/3以上欠席者は評価しません。 その他 ・実習科目は出席が大事です。出席して、数多く書かなければ上達しません。地道な努力と粘り強い意志をもって参加してください。 ・後期を履修できるのは、前期を履修した者に限ります。 ・後期は前期よりかなり難しくなりますが、挑戦する気持ちを強くもって出席してください。書道は一朝一夕に上達するものではないので「継続は力なり」を信じて粘り強く実習に取り組んでください。</p>

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：</p>
学期	<p>授業の概要</p>
単位数	<p>授業計画</p>
担当者	<p>テキスト 参考書・参考資料等</p>
	<p>学生に対する評価</p>
	<p>その他</p>

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：釈尊の思想とその生涯についての基礎知識の養成 テーマ：釈尊の思想とその生涯を概観することによって、初期仏教の思想と歴史についての知識を深める。</p>
釈尊の生涯(別)	
学期	<p>授業の概要 仏教の開祖であるゴータマブツダ（釈尊）の生涯を基本的伝伝資料によって概観し、その後は釈尊のことがばが集成された最古層に属する経典とされる『スッタニパータ』から、幾つかの偈頌を抽出することによって、釈尊のこころの世界を通してその実像へ迫って行く。</p>
後期	
単位数	<p>授業計画 1. オリエンテーション 2. 伝伝資料による釈尊の生涯概観。 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 『スッタニパータ』「蛇の章・慈しみ」を読み、同じ作業を行う。 8. 『スッタニパータ』「小なる章・宝」を読み、同じ作業を行う。 9. 『スッタニパータ』「小なる章・ダンミカ」を読み、同じ作業を行う。 10. 『スッタニパータ』「大なる章・つとめはげむこと」を読み、同じ作業を行う。 11. 『スッタニパータ』「大なる章・矢」を読み、同じ作業を行う。 12. 『スッタニパータ』「大なる章・二種の観察」を読み、同じ作業を行う。 13. いくつかの伝伝記事を紹介・解説することによって、釈尊神格化のプロセスについて解説する。 14. 同上 15. 学習した内容に対する質問や意見を聞き、総まとめをする。</p>
2	
担当者	<p>テキスト 毎時間必要なコピーを配布する。</p>
前谷彰	<p>参考書・参考資料等 必要に応じて紹介する。 学生に対する評価 出席率（1回欠席で3点減点）と学期末試験とで総合的に評価する。 その他</p>

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言宗の開祖・空海の62年にわたる生涯のアウトラインを理解する。 テーマ：空海の生涯とその時代</p>
弘法大師空海の生涯(別)	
学期	<p>授業の概要 9世紀のはじめ唐にわたり、最新の仏教=密教を持ちかえって体系化し、真言宗の開祖となった空海。その62年にわたる生涯には、まだ解明されていない点が多くあります。一方、解決済みとみなされてきた事跡にも疑わしい点があります。そこで、講義では空海が活躍した時代がどのような時代であったかを概観しつつ、従来の説を徹底的に検証し、先入観を排した新しい空海像をご一緒に考えていきましょう。</p>
後期	
単位数	<p>授業計画 1. はじめにー空海伝研究の現状と課題ー 2. 基本的な参考文献 3. 誕生地と誕生年次 4. 空海の家系ー佐伯直氏と阿刀氏ー 5. 若き日の修行 6. 出家と入唐 7. 惠果和尚からの受法 8. 最澄との交友 9. 最澄との決別 10. 高野山の開創 11. 都における活躍 12. 綜芸種智院の開創 13. 最晩年の空海 14. 空海の最期 15. 大師号の下賜と入定信仰</p>
2	
担当者	<p>テキスト 毎時間、プリントを配布する。 参考書・参考資料等 高木神元『空海ーその生涯と周辺ー』吉川弘文館 竹内信夫『空海ー弘仁のモダニストー』ちくま新書 武内孝善共著『あなただけの弘法大師空海』小学館 武内孝善・川辺秀美著『空海と密教美術』洋泉社 武内孝善『弘法大師 伝承と史実ー絵伝を読み解くー』朱鷺書房</p>
武内孝善	<p>学生に対する評価 授業への参加度（出席した上で積極的に質問等する）50%。学期末のレポート50%。 その他 ①空海伝にはまだ定説はありません。新しい空海発見の旅に、あなたも参加してください。 ②積極的に講義に参加してほしい。疑問をもったらその場で解決しよう。質問を待っています。 ③空海の伝記を最低3冊は読もう。</p>

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 【前期】梵字悉曇の基礎知識の修得 【後期】梵字悉曇（応用編）・真言、陀羅尼の書法実践 テーマ： 【前期】梵字悉曇の基礎知識 【後期】梵字悉曇の応用
梵字悉曇 AⅠ / 梵字悉曇 BⅡ	授業の概要 【前期】摩多・体文・切継など、書法を实践しながら基礎知識を修得する。 【後期】前期で修得した文字を基本に、常用經典にある真言・陀羅尼を学び、その書法を实践する。
学期	授業計画 【前期】 1. 年間授業計画の説明 2. 梵字悉曇の歴史と筆記用具 (1) 3. 梵字悉曇の歴史と筆記用具 (2) 4. 5. 6. 7. 8. 文字の修得 9. 字母五十一字 (摩多・体文) 10. 悉曇十八章 (切継について) 11. 12. 13. 14. 15.
前期 通年 後期	【後期】 1. 年間授業計画の説明 2. 3. 4. 5. 6. 常用經典所載の真言・陀羅尼 7. 塔婆の書様 8. 葬儀に用いる梵字 9. 文字の修得 10. 以上の書法を实践する。 11. 12. 13. 14. 15.
単位数	テキスト 児玉義隆著『梵字必携』朱鷺書房 中川善教編『真言宗常用諸経要聚』
2 + 2	参考書・参考資料等 静慈圓著『梵字悉曇』朱鷺書房
担当者	学生に対する評価 出席 80% 作品提出 20%
齋藤天譽	その他 筆と半紙を準備 (授業の最初に説明します)。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：返り点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付けることを到達目標とする。 テーマ：漢文訓読の基礎 (入門)
漢文Ⅰ	授業の概要 旧漢字を正しく書く練習、漢文を返り点のとおりに書き下し文にする練習、書き下し文のとおりに返り点を打つ練習を繰り返す行う。予習が必ず必要である。 受講生は、板書によって予習の成果を発表しなければならない。
学期	授業計画 1. 返り点にしたがって読む練習 (1) 2. 返り点にしたがって読む練習 (2) 3. 返り点にしたがって読む練習 (3) 4. 返り点を付ける練習 (1) 5. 返り点を付ける練習 (2) 6. 返り点を付ける練習 (3) 7. 旧漢字の練習 (1) 8. 旧漢字の練習 (2) 9. 旧漢字の練習 (3) 10. 用言の活用の練習 (1) 11. 用言の活用の練習 (2) 12. 用言の活用の練習 (3) 13. 短文を読む練習 (1) 14. 短文を読む練習 (2) 15. 短文を読む練習 (3)
前期	テキスト プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 特になし。
2	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする (『学生手帳』参照)。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。出席は点数化しない。 期末テストで100%評価する。
担当者	その他
南昌宏	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：訓点を使って漢文を訓読する能力を養い、漢文法の基礎を身に付けることを到達目標とする。 テーマ：漢文訓読の基礎 (初級)
漢文Ⅱ	授業の概要 市販の漢文テキストを使用する。1回に数ページをこなすことで、1冊すべてをやり遂げる。 予習が必ず必要である。 受講生は、板書によって予習の成果を発表しなければならない。
学期	授業計画 1. 送りかな・返り点の練習をする。 2. 返り点・助字の練習をする。 3. 漢文の構造の練習をする。 4. 書き下し文・返読文字の練習をする。 5. 再読文字の練習をする。 6. 再読文字の練習をする。 7. 簡単な否定と禁止の練習をする。 8. 部分否定と特殊な否定の練習をする。 9. 二重否定の練習をする。 10. 使役・受身の練習をする。 11. 疑問の練習をする。 12. 反語の練習をする。 13. 比較・選択・仮定の練習をする。 14. 漢詩の基礎 15. 応用問題
後期	テキスト 林欣生編『書き込み式20日間完成 漢文〔高校初級用〕』(日栄社)生協で購入。
単位数	参考書・参考資料等 特になし。
2	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする (『学生手帳』参照)。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。出席は点数化しない。 期末テストで100%評価する。
担当者	その他
南昌宏	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
学期	授業計画
	テキスト
単位数	参考書・参考資料等
	学生に対する評価
	その他

科目名 真言宗の教論Ⅰ (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教に関する基本的な理解を培うことを目的とする。 テーマ：密教の基礎知識の養成
	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる(真言)密教の特徴を概観する。
	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 密教・真言宗の意味 3. 密教の分類 4. 密教の源流 5. 仏教のなかでの密教の発展過程 6. 密教経典の分類 7. 密教経典の特色 8. 密教経典の訳出 9. 中国密教の成立 10. 奈良時代の密教 11. 密教思想の組織化 12. 真言密教の教判 13. 顕密二教の教判① 14. 顕密二教の教判② 15. 講義の総括
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	乾
	仁志

科目名 密教の教論Ⅱ (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教に関する基本的な理解を培うことを目的とする。 テーマ：密教の基礎知識の養成
	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる(真言)密教の特徴を概観する。
	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 十住心の思想の構成 3. 十住心思想の特徴 4. 真言密教の仏陀観① 5. 真言密教の仏陀観② 6. 曼荼羅の成立と意味 7. 四種曼荼羅 8. 真言密教の人間観 9. 心性本淨思想の源流 10. 菩提心を保つ 11. 淨菩提心を観する観法 12. 四重禁戒 13. 即身成仏思想 14. 密教の特性 15. 講義の総括
	学期
	後期
	単位数
	2
	担当者
	乾
	仁志

科目名 密教史概説Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベットの密教の歴史に関する基礎的な知識を身につける。 テーマ：インド・チベット密教史
	授業の概要 インド密教がどのように形成され、発展したか。そしてそれがどのような過程を経てチベットに伝えられ、チベット密教として展開したか。チベット密教の特色は何か。これらの点について映像などをまじえながら立体的に講義する。
	授業計画 1. イントロダクション 2. インド・チベット仏教における密教経典分類法 3. インド初期密教 萌芽から形成へ 4. インド中期密教 組織化の時代1 5. インド中期密教 組織化の時代2 6. インド後期密教 新たな展開1 7. インド後期密教 新たな展開2 8. 古代チベット王国と仏教の伝来 9. 仏教国教化への道のり 10. 古代チベット王国の崩壊と仏教の復興 11. 諸宗派の形成1 12. 諸宗派の形成2 13. プトゥンとツォンカバ 14. ゲルク派の覇権 15. ダライ・ラマ法王とは何か
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	奥山直司
	学生に対する評価 平常点30%(遅刻3回で1欠席とみなす)、授業参加状況30%、期末試験40%

科目名 密教史概説Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本密教の歴史を知る テーマ：日本密教(真言密教、天台密教)の歴史を知る
	授業の概要 真言宗の歴史をテキストにもとづきながら概説する。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 密教の受容基盤 3. 密教の受容基盤 4. 真言宗の成立 5. 真言宗の成立 6. 真言宗の分化 7. 天台の密教 8. 天台の密教 9. 覚鑿の改革 10. 鎌倉時代の密教 11. 鎌倉時代の密教 12. 室町時代の密教 13. 室町時代の密教 14. 江戸期の密教 15. まとめ
	学期
	後期
	単位数
	2
	担当者
	佐藤隆彦
	学生に対する評価 期末レポート70パーセント、平常点30パーセント

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教用語の基礎知識を身につけ、仏教の伝播と受容についての歴史的展開を理解すること。 テーマ：仏教文献（『三蔵』）の原典資料を用いた仏教思想の概説
仏教学概論Ⅰ	
授業の概要	参考とする教科書の記述に沿って、インドにおける仏教の興起と展開、そして、アジア諸国への伝播、特に漢字文化圏における中国的な仏教受容と日本的な展開を概説する。 前期セメスターでは、「三蔵」を始めとして、仏教用語の基礎知識を身につけることを目的として、授業を展開する。
授業計画	1. (導入)「仏教学」(Buddhist Studies)という学問分野について 2. (導入) 古典インド学領域の知識・言語習得の必要性について 3. パラモン文化と沙門の思想 4. 釈尊仏陀とその教え：「四諦」・「五蘊」・「縁起」・「有為」 5. 初期の仏教：「声聞」たちの思索 6. 部派の仏教：経から論へ 7. 「アビダルマ」の教義 8. 大乘運動と『般若経』 9. 「空」の思想 10. 「唯心」の思想 11. 「唯識」の思想 12. 「金剛乗」の思想 13. インド諸思想の仏教思想との対峙 14. まとめ 15. 前期試験
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	参考書・参考資料等 平川 彰『インド 中国 日本 仏教通史』春秋社 奈良・下田編集『新アジア仏教史 03 インドⅢ 仏典からみた仏教世界』佼成出版社
室寺義仁	学生に対する評価 平常点 (40%) と学期末試験 (60%) で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教用語の基礎知識を身につけ、仏教の伝播と受容についての歴史的展開を理解すること。 テーマ：仏教文献（『三蔵』）の原典資料を用いた仏教思想の概説
仏教学概論Ⅱ	
授業の概要	参考とする教科書の記述に沿って、インドにおける仏教の興起と展開、そして、アジア諸国への伝播、特に漢字文化圏における中国的な仏教受容と日本的な展開を概説する。 後期セメスターでは、漢字文化圏における仏教の受容と展開についての基礎知識を身につけることを目的として、授業を展開する。
授業計画	1. (導入) 教えの伝道について：仏教の伝播と受容の有り様 2. チベットへの伝播 3. 中国への伝播 4. 羅什三蔵の翻訳と「三論宗」 5. 眞諦三蔵の翻訳と「撰論宗」 6. 南朝梁から北魏、隋代の「格義」仏教：「法身」思想の展開 7. 玄奘三蔵の翻訳と「俱舍宗」・「法相宗」 8. 唐代から宋代における教義展開 9. 聖徳太子の伝える仏教の教え 10. 南都の仏教 11. 平安京の仏教 12. 空海の伝える「密蔵」の教え「密教」 13. 浄土の教え・禪の教え 14. まとめ 15. 学年末試験
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	参考書・参考資料等 平川 彰『インド 中国 日本 仏教通史』春秋社 奈良・下田編集『新アジア仏教史 03 インドⅢ 仏典からみた仏教世界』佼成出版社
室寺義仁	学生に対する評価 平常点 (40%) と学期末試験 (60%) で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教がインドのどのような思想を背景に誕生し、どのような歴史的変容を被ったかを理解する。 テーマ：インドにおける仏教誕生とその後の変容形態について
仏教史概説Ⅰ	
授業の概要	仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史的変容を被りながら展開して行ったかについて考察して行く。
授業計画	1. 導入として、仏教が興起する以前のインド史をインダス文明の崩壊期から概説。 2. ヴェーダの宗教と思想的特徴について解説。 3. 幾つかの古ウパニシャッド文献によって、ウパニシャッドの思想的特徴について理解を深める。 4. 反ヴェーダ的思想家たち（六師外道）の思想を紹介。 5. 第4回までの内容について、その習熟度を知るための小テストを行う。 6. 小テストを返却し、回答の解説と全体的な復習を行う。 7. 釈尊の誕生から成道までの歴史について解説する。 8. 釈尊の成道から入滅までの歴史について解説する。 9. 釈尊がいったい何にめざめ、どのような説法を行ったかについて解説する。 10. 仏教思想の要である「縁起」について、詳しく説明する。 11. 「縁起」を中心にして、初期仏教思想の要について解説する。 12. 大乘諸派がいかなる歴史的背景のもとに誕生して行ったかについて解説する。 13. 大乘と初期仏教の思想的相違点について考察する。 14. 大乘アビダルマの思想的特徴について解説する。 15. 総まとめと意見交換。
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて、授業時に紹介する。
前谷彰	学生に対する評価 出席率（1回の欠席で3点減点）と1回の小テストと期末試験で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教が中国を経て日本に伝わり、その後どのような歴史的変容を被ったかについて理解する。 テーマ：中国・日本における仏教の展開について
仏教史概説Ⅱ	
授業の概要	中国において仏教がどのような思想的特徴を持ち、日本に伝来された後にどのような歴史的変容を被りながら展開して行ったかについて考察して行く。
授業計画	1. 中国仏教の特徴について、教相判釈を中心に解説する。 2. 同上 3. 日本への仏教伝来と、その様相について解説する。 4. 聖徳太子の仏教観とその政治的役割について解説する。 5. 第4回までの内容について、その習熟度を知るための小テストを行う。 6. 小テストを返却し、回答の解説と全体的な復習を行う。 7. 平安仏教の幕開けについて、最澄の業績を中心に解説する。 8. 同上 9. 平安仏教の特徴を、弘法大師（空海）の業績を中心に解説する。 10. 同上 11. 鎌倉仏教の特徴を、源信・法然・親鸞を中心に解説する。 12. 鎌倉仏教の特徴を、源信・法然・親鸞を中心に解説する。 13. 同上 14. 鎌倉仏教の特徴を、道元・栄西・日蓮を中心に解説する。 15. 総まとめと意見交換を行う。
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて、授業時に紹介する。
前谷彰	学生に対する評価 平常点 (20%)、2回の小テスト (20%)、期末試験 (60%) で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の文学のなかで、古代から中世までの文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特徴を理解する。 テーマ：日本文学史概観
日本文学史概説Ⅰ	
授業の概要	奈良時代から室町時代までの日本文学の歴史を概観する。
授業計画	1. ガイダンス 日本文学における時代区分について 2. 『古事記』『万葉集』 3. 漢詩文の隆盛 4. 勅撰和歌集と私家集 5. 物語文学の発生 6. 随筆と日記文学 7. 歴史物語と説話物語（今昔物語集） 8. 『新古今集』とその時代 9. 連歌と歌謡 10. 軍記物語 平家物語を中心に 11. 世俗説話集と仏教説話集 12. 紀行文学 13. 史論と法語 14. 謡曲と狂言 15. まとめ
学期	
前期	
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点 50%、レポート (50%)
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の文学のなかで、近世から現代までの文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特徴を理解する。 テーマ：日本文学史概観
日本文学史概説Ⅱ	
授業の概要	江戸時代から現代までの日本文学の歴史を概観する。
授業計画	1. 俳諧と芭蕉 2. 和歌 3. 狂歌と川柳 4. 仮名草子、浮世草子、読本など 5. 洒落本、滑稽本、人情本 6. 随筆 7. 浄瑠璃の世界 8. 明治初期の文学 9. 明治二十年代の文学（あたらしい時代の文学の旅立ち） 10. 明治三十年代の文学（近代文学の展開） 11. 明治四十年代の文学（近代文学の成熟） 12. 大正時代の文学 13. 昭和時代（～二十年まで） 14. 戦後の文学 15. まとめ
学期	
後期	
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点 50%、レポート (50%)
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文で書かれた散文作品を読み、国語教師としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：漢文による散文作品の読解・鑑賞
漢文学概説Ⅰ	
授業の概要	志怪・伝奇小説の流れを汲む『聊齋志異』を読む。 和訳に基づいて漢文を訓読する訓練をする。 受講生には発表を求めないので、毎回予習が必要である。
授業計画	1. 「九山王」を講読する。(1) 2. 「九山王」を講読する。(2) 3. 「九山王」を講読する。(3) 4. 「九山王」を講読する。(4) 5. 「九山王」を講読する。(5) 6. 「九山王」を講読する。(6) 7. 「九山王」を講読する。(7) 8. 「九山王」を講読する。(8) 9. 「遵化署狐」を講読する。(1) 10. 「遵化署狐」を講読する。(2) 11. 「遵化署狐」を講読する。(3) 12. 「遵化署狐」を講読する。(4) 13. 「遵化署狐」を講読する。(5) 14. 「遵化署狐」を講読する。(6) 15. 「遵化署狐」を講読する。(7)
学期	
前期	
単位数	2
担当者	南昌宏
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。
その他	受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する可能性がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢詩を読み、国語教師としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：漢詩作品の読解・鑑賞
漢文学概説Ⅱ	
授業の概要	『唐詩選』の注釈を読むことにより、訓読・読解の訓練をする。 受講生には発表を求めないので、毎回予習が必要である。
授業計画	1. 漢詩の基本解説 2. 「行経華陰」を講読する。(1) 3. 「行経華陰」を講読する。(2) 4. 「行経華陰」を講読する。(3) 5. 「行経華陰」を講読する。(4) 6. 「登金陵鳳皇台」を講読する。(1) 7. 「登金陵鳳皇台」を講読する。(2) 8. 「登金陵鳳皇台」を講読する。(3) 9. 「登金陵鳳皇台」を講読する。(4) 10. 「登金陵鳳皇台」を講読する。(5) 11. 「早朝大明宮呈兩省僚友」を講読する。(1) 12. 「早朝大明宮呈兩省僚友」を講読する。(2) 13. 「早朝大明宮呈兩省僚友」を講読する。(3) 14. 「早朝大明宮呈兩省僚友」を講読する。(4) 15. 「早朝大明宮呈兩省僚友」を講読する。(5)
学期	
後期	
単位数	2
担当者	南昌宏
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。
その他	受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する可能性がある。

科目名 真言密教特殊講義A 密教儀礼の理論と実習(別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. } 4. } 5. } 6. 『引導畧作法(二巻疏)』の解説 7. 導師と職衆の心得 8. 高野山の寺家の葬儀 9. 戒名について 10. 葬儀に用いる梵字と書き様(塔婆等) 11. 葬儀に関する質疑応答 12. } 13. } 14. } 15. }
	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集(上・下)』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 齋藤天譽
	学生に対する評価 授業態度重視
	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。(詳細は開講時に説明します)

科目名 真言密教特殊講義B 密教儀礼の理論と実習(別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
	授業の概要 『引導畧作法(二巻疏)』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。
	授業計画 1. } 2. } 3. } 4. } 5. } 6. } 7. } 8. 『引導畧作法(二巻疏)』の伝授と解説 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 15. }
	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集(上・下)』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 齋藤天譽
	学生に対する評価 授業態度重視
	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。(詳細は開講時に)

科目名 密教特殊講義C 密教特殊講義C	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『釈摩訶衍論』に関する理解を深めることを目的とする。 テーマ：『釈摩訶衍論』の研究
	授業の概要 『大乘起信論』は大乗の仏教思想を体系づけた論とされ、大乘仏教を学ぶ仏教者にとって入門書的な役割をしている。『釈摩訶衍論』は『大乘起信論』の注釈書のひとつであるが、弘法大師はこの論に展開する教説に注目し、真言密教の教学を構築することになる。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『大乘起信論』 梗概 3. 『大乘起信論』 梗概 4. 『釈摩訶衍論』 梗概 5. 『釈摩訶衍論』 6. 『釈摩訶衍論』 7. 『釈摩訶衍論』 8. 『釈摩訶衍論』 9. 『釈摩訶衍論』 10. 『釈摩訶衍論』 11. 『釈摩訶衍論』 12. 『釈摩訶衍論』 13. 『釈摩訶衍論』 14. 『釈摩訶衍論』 15. 総括
	テキスト 『大乘起信論』大正大蔵経第32巻 『釈摩訶衍論』大正大蔵経第32巻
	参考書・参考資料等 宇井伯寿著・高崎直道訳註『大乘起信論』岩波文庫 平川彰著『大乘起信論』大蔵出版 那須政隆著『釈摩訶衍論』成田山仏教研究所 森田龍櫻著『釈摩訶衍論』藤井佐兵衛
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 中村本然
	学生に対する評価 平常点40%・レポート60%とし、総合的に評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
	テキスト
	参考書・参考資料等
	学期
	単位数
	担当者
	学生に対する評価
	その他

科目名 インド・チベット文化特殊講義D 密教美術特殊講義D	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： ①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。 ②チベットの仏像（彫刻・絵画等）を見たときに、その名称がすぐに言えるようになる。 ③インド・チベット仏教史の流れを理解する。 テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究
	授業の概要 チベット探検で知られる河口慧海がチベット・ネパールから持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式を学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解説と解説の練習を行う。あわせて、インド・チベット仏教史の流れについて説明し、基礎的な知識の整理を行う。
	授業計画 1. イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか 2. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式1 3. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式2 4. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式3 5. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式4 6. 河口慧海コレクション1 7. 河口慧海コレクション2 8. 河口慧海コレクション3 9. 『三百尊図像集』1 10. 『三百尊図像集』2 11. 『三百尊図像集』3 12. 『三百尊図像集』4 13. 『三百尊図像集』5 14. 『三百尊図像集』6 15. まとめ
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 奥山直司
テキスト 『河口慧海請来チベット資料図録』 校成出版社	
参考書・参考資料等 頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典 インドと日本の仏たち』 人文書院	
学生に対する評価 平常点20%（遅刻3回で1欠席と見なす）、小レポートを含む授業参加状況40%、期末レポート40%	
その他	

科目名 仏教美術特殊講義B 密教美術特殊講義A	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏像の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像の造形—その姿と意味
	授業の概要 仏像は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。講義では各尊の姿や手印・持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。
	授業計画 1. 釈迦如来 2. 薬師如来 3. 阿彌陀如来 4. 毘盧遮那仏と大日如来 5. 弥勒仏と弥勒菩薩 6. 観音菩薩 7. 変化観音～十一面観音・千手観音 8. 変化観音～不空羂索観音・馬頭観音など 9. 文殊・普賢菩薩 10. 地藏・虚空蔵菩薩 11. 不動明王 12. 愛染明王 13. 天部の守護神～四天王 14. 天部の守護神～吉祥天など 15. 天部の守護神～閻魔など
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 緒方啓介
テキスト 参考資料を配布する。	
参考書・参考資料等 講義中に指示する。	
学生に対する評価 授業態度を重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。	
その他 仏教美術特殊講義B（後期）を履修・聴講することが望ましい。	

科目名 仏教美術特殊講義C 密教美術特殊講義B	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：技法・構造を学ぶことで、仏像に親しみ正しく理解することを到達目標とする。 テーマ：仏像の造形—構造と様式
	授業の概要 講義では、各時代の仏像の様式・材質・技法などの各論について概説する。
	授業計画 1. 様式論～飛鳥時代 2. 様式論～白鳳時代 3. 様式論～天平時代 4. 様式論～平安時代前期 5. 様式論～平安時代後期 6. 様式論～鎌倉時代（運慶様式） 7. 様式論～鎌倉時代（快慶様式） 8. 様式論～鎌倉時代（宋元風） 9. 構造・技法論～金属 10. 構造・技法論～塑像 11. 構造・技法論～脱乾漆造 12. 構造・技法論～木心乾漆造 13. 構造・技法論～一木造 14. 構造・技法論～寄木造 15. 仏像の衣装
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 緒方啓介
テキスト 参考資料を配布する。	
参考書・参考資料等 講義中に指示する。	
学生に対する評価 授業態度を重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。	
その他 仏教美術特殊講義A（前期）を履修・聴講することが望ましい。	

科目名 日本文化特殊講義	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：文学の鑑賞力をやしなう。 テーマ：近代文学の名作を読む。
	授業の概要 明治から昭和にかけての小説・詩・名歌・名句を鑑賞する。作品の鑑賞の方法、名作といわれるゆえんなど講義を通して文学の魅力にせまる。
	授業計画 1. ガイダンスと文学入門（文学の魅力） 2. 太宰治『カチカチ山』を読む（1） 3. 北杜夫『岩尾根にて』 4. 魯迅『故郷』 5. 志賀直哉『赤西蠣太』 6. 三浦哲郎『とんかつ』 7. 中原中也の詩『汚れつまつた悲しみに』 8. 正岡子規と短歌・俳句 9. 幸田文『濃紺』 10. 吉行淳之介『童謡』 11. 夏目漱石『夢十夜』 12. 北原白秋の短歌など 13. 村上春樹『鏡』 14. 自由研究（受講者の発表） 15. まとめ
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 下西忠
テキスト 教員が用意する。	
参考書・参考資料等 講義の中で指摘。基本的な文学史の本を常に読んでおくこと。	
学生に対する評価 平常点50%、レポート（50%）	
その他 基	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中国における思想・哲学を研究するために必要な基礎的知識・語彙・方法を修得することを到達目標とする。 テーマ：漢文大系『論語』を読む。
中国 文化 特殊 講義 A	
学期	後期
単位数	2
担当者	南 昌 宏
授業の概要	テキストは著名な注釈の要点をまとめたものである。輪読形式による口頭発表で漢文の訓読をしてもらう。受講生は予習が必要である。また、分からない言葉はすべて調べて理解するよう努めなければならない。
授業計画	1. 学而時習之章を読む。 2. 其為人也孝弟章を読む。 3. 巧言令色章を読む。 4. 吾日三省吾身章を読む。 5. 道千乘之國章を読む。 6. 弟子入則孝章を読む。 7. 賢賢易色章を読む。 8. 君子不重章を読む。 9. 慎終追遠章を読む。 10. 夫子至於邦也章を読む。 11. 父在觀其志章を読む。 12. 禮之用章を読む。 13. 信近於義章を読む。 14. 君子食無求飽章を読む。 15. 貧而無詔章を読む。
テキスト	使用しない。授業中に資料を配付する。
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。
その他	受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する可能性がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 1、『説文解字』を学ぶことにより古代文字の基礎知識を修得し、その内容の講読力を向上させる。 2、東洋文化の根幹である漢字に興味を持ち、中国語の原文を読むことにより、その必要性を理解し、それぞれの文献研究における基礎知識をつけることを到達目標とする。 テーマ：許慎『説文解字』とその背景及びその講読と篆書体の基礎的知識の修得。
中国 文化 特殊 講義 B	
学期	前期
単位数	2
担当者	野 田 悟
授業の概要	〔漢〕許慎『説文解字』は文字を系統的に分析し、字源の考察をした中国最古の文字学の専門書である。許慎『説文解字』とその背景、またその部首（本年度は第四巻、第五巻の予定）の基礎的知識の修得。
授業計画	1. オリエンテーション 2. 漢字の変遷と『説文解字』前世 3. 『説文解字』の背景 4. 『六書』について（その1） 5. 『六書』について（その2） 6. 『六書』について（その3） 7. 許慎について 8. 説文部首 第四巻（その1）を読む。 9. 説文部首 第四巻（その2）を読む。 10. 説文部首 第四巻（その3）を読む。 11. 説文部首 第五巻（その1）を読む。 12. 説文部首 第五巻（その2）を読む。 13. 説文部首 第五巻（その3）を読む。 14. 復習・まとめ 15. テスト
テキスト	・〔漢〕許慎『説文解字』中華書局または江蘇古籍出版社（個々に東方書店にて購入） http://www.toho-shoten.co.jp/ ・その他必要に応じてプリントを配る。
参考書・参考資料等	・『字通』（平凡社） ・『説文入門』（大修館書店） ・『王福庵説文部首目』（西泠印社） ・『漢字学』（東海大学出版会） ・『説文部首書注』（中国書店）
学生に対する評価	基本的に期末テスト（70%）＋それぞれの発表及び提出物（30%）での評価をする。 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。
その他	・毎回各々担当課題が課されることを心得ておくこと。 ・『新字源』（角川書店）、『新撰漢和辞典』（小学館）、『全訳漢辞海』（三省堂）、『漢字源』（学研）、『漢語林』（漢語新辞典）（大修館）のうち、どれか一冊を必ず持参すること。版は問わないが、できるだけ新しいものがよい。（電子辞典を持参してもかまわないが、必ず紙媒体の辞典も持参すること）。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
真 言 宗 典 講 義 I （別）	
学期	前期
単位数	2
担当者	加 納 和 雄
授業の概要	密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。
授業計画	1. 概論 2. 「二経一論八箇の証文」 3. 「即身成仏の偈頌」 4. 「二頌八句の総釈と科分」 5. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(1) 6. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(2) 7. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(3) 8. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」(4) 9. 「四曼荼羅各離れず」(1) 10. 「四曼荼羅各離れず」(2) 11. 「四曼荼羅各離れず」(3) 12. 「四曼荼羅各離れず」(4) 13. 「四曼荼羅各離れず」(5) 14. 「四曼荼羅各離れず」(6) 15. テスト
テキスト	高野山大学編、『十巻章』、高野山大学出版部。
参考書・参考資料等	その他、授業において指示します。
学生に対する評価	授業中の発表など30%、平常点30%、テスト40%
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
真 言 宗 典 講 義 II （別）	
学期	後期
単位数	2
担当者	加 納 和 雄
授業の概要	『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカバーして、テキストの続きをさらに読みすすめる。『即身成仏義』を讀了した後は、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。
授業計画	1. 概論と前期の復習。 2. 〃 3. 「重重帝網なるを即身と名づく」(1) 4. 「重重帝網なるを即身と名づく」(2) 5. 「法然に薩般若を具足す」(1) 6. 「法然に薩般若を具足す」(2) 7. 「法然に薩般若を具足す」(3) 8. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」(1) 9. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」(2) 10. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」(3) 11. 「円鏡力の故に、実覚智なり」(1) 12. 「円鏡力の故に、実覚智なり」(2) 13. 弘法大師空海の即身成仏思想の体系 (1) 14. 弘法大師空海の即身成仏思想の体系 (2) 15. テスト
テキスト	高野山大学編、『十巻章』、高野山大学出版部。
参考書・参考資料等	授業において指示します。
学生に対する評価	授業中の発表など30%、平常点30%、テスト40%
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『般若心経秘鍵』を読む
祖典講読Ⅲ	
授業の概要	『般若心経』は、人々に最もよく知られている大乘仏教の代表的な経典である。弘法大師空海は、『般若心経』に関して独自の見解を披瀝する著作として『般若心経秘鍵』を著した。『般若心経秘鍵』は、『般若心経』の秘められた本質を解き明かす鍵になる書物という意味を持つ。授業では、この思想の背景にある思想を確認しつつ、『般若心経秘鍵』の原典を読み進めていく。
授業計画	1. 概論（講義の進め方等） 2. 『般若心経秘鍵』の特色① 3. 『般若心経秘鍵』の特色② 4. 『般若心経』の基礎知識 5. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 6. 序「題目・帰敬序・発起序・大綱序・大意序」 7. 正宗分「『般若心経』の題号の釈」 8. 「『般若心経』の要旨」 9. 「『般若心経』の五分科」 10. 「人法総通分」 11. 「分別諸乗分・普賢菩薩の悟り」 12. 「文殊菩薩の悟り」 13. 「弥勒菩薩の悟り」 14. 「声聞と縁覚の悟り」 15. レポート試験
学期	2
前期	
単位数	2
テキスト	高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部
担当者	参考書・参考資料等 松長有慶『空海 般若心経の秘密を読み解く』春秋社
松長恵史	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験50% 平常点50% その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『般若心経秘鍵』を読む
祖典講読Ⅳ	
授業の概要	『般若心経秘鍵』についての概論と、前期の授業で扱った内容の復習から始め、前期に引き続いて、『般若心経秘鍵』を講読する。前期に引き続き授業を行うので、「祖典講読Ⅲ」を受講することが好ましい。
授業計画	1. 概論（講義の進め方等） 2. 『般若心経秘鍵』の特色 3. 『般若心経』の基礎知識 4. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 5. 「分別諸乗分・観音菩薩の悟り」 6. 「行人得益分」 7. 「総持持明分」 8. 「秘藏真言分」 9. 「問答形式の補説」 10. 「流通分」 11. 「上表分」 12. 『般若心経秘鍵』のまとめ① 13. 『般若心経秘鍵』のまとめ② 14. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性 15. レポート試験
学期	2
後期	
単位数	2
テキスト	高野山大学編『十巻章』高野山出版
参考書・参考資料等	松長有慶『空海 般若心経の秘密を読み解く』春秋社
松長恵史	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験50% 平常点50% その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
授業の概要	
授業計画	
学期	
単位数	
テキスト	
参考書・参考資料等	
担当者	
学生に対する評価	
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
授業の概要	
授業計画	
学期	
単位数	
テキスト	
参考書・参考資料等	
担当者	
学生に対する評価	
その他	

科目名 真言宗密教講読演習2-1-2(別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言教学の基礎にある即身成仏の思想形成の背景について 真言宗典の講読を通じて理解する テーマ：インド密教における即身成仏思想の形成と展開
	授業の概要 即身成仏は真言教学にとって欠かすことのできない根本思想であるが、正しく理解するためにはその成立の背景をきちんと押さえておく必要がある。授業では、空海の即身成仏思想を確認したうえで、インドの宗教史全体の中で即身成仏思想の位置づけを確認する。具体的には、仏教史における「成仏」観の変遷を辿ることにより仏教内部における背景を探り、その一方でヒンドゥー教シヴァ派の初期タントラ文献類を検討して仏教外部からの影響を探る。その上で真言宗所依の経典『大日経』『金剛頂経』に登場する即身成仏思想を読み解く。さらにインド後期密教への展開を確認し即身成仏思想の総合的な理解を深める。
	授業計画 1. 導入 2. 空海の即身成仏思想概観 3. インド宗教史全体からみた即身成仏思想 4. 仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ1 5. 仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ2 6. 仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ3 7. 仏教外部における即身成仏思想1 8. 仏教外部における即身成仏思想2 9. 中期密教経典の即身成仏説1 10. 中期密教経典の即身成仏説2 11. 中期密教経典の即身成仏説3 12. 中期密教経典の即身成仏説4 13. 後期密教経典の即身成仏説1 14. 後期密教経典の即身成仏説2 15. 総括
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 加納和雄
	テキスト 授業で指示します。
	参考書・参考資料等 授業で指示します。
	学生に対する評価 授業中の発表など30%、平常点30%、テスト40%
	その他

科目名 真言宗密教講読演習2-1(別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基本的な図像資料を講読し、漢訳図像資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。 テーマ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。
	授業の概要 インドに興り、東南アジア・中国を經由し、日本に流布した密教は、その発展過程において様々な尊格を生み出した。当授業では密教図像に基づいて、大乘仏教の尊格を含め、それぞれの密教尊格の形成と発展について、主として漢訳資料の像造表現を中心に考察を加える。インドの図像資料としては、『サーダナマラー』や『ニシュパナヨーガーヴァリー』等が基本的な資料であるが、まず、漢訳密教経典・儀軌、ならびに我が国に現存する図像資料を講読し、それぞれの図像的特徴からその尊格の展開をたどる。
	授業計画 1. 概論(講義の進め方等) 2. 漢訳資料の基本的な扱い方 3. 漢文資料の基本的な講読練習① 4. 漢文資料の基本的な講読練習② 5. 尊格表現方法の基本知識① 6. 尊格表現方法の基本知識② 7. 尊格表現方法の基本知識③ 8. 尊格表現方法の基本知識④ 9. 漢訳図像資料講読① 10. 漢訳図像資料講読② 11. 密教尊格の基本的な知識を深めるための密教経典・儀軌の考察 12. 図像資料講読練習① 13. 図像資料講読練習② 14. 図像資料講読練習③ 15. レポート試験
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 松長恵史
	テキスト 大正新脩大藏経 図像部
	参考書・参考資料等 松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館 1995年 頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典』人文書院 1994年 佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館 1962年
	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験50% 平常点50%
	その他

科目名 仏教美術講読演習A	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教美術に親しみ、正しい美術史を理解することを到達目標とする。 テーマ：日本仏教美術史-仏像に親しむ(飛鳥時代~天平時代)-
	授業の概要 寺院のご本尊として祀られる仏像は崇高な礼拝の対象である一方、歴史的文化遺産としての意義も重要視されなければならない。講義では飛鳥時代から天平時代の仏像の歴史を信仰や技法・作風などの特性を踏まえて概観する。
	授業計画 1. 飛鳥大仏の源流 2. 法隆寺銅造釈迦尊像 3. 百濟觀音と救世觀音 4. 半跏思惟像は弥勒菩薩? 5. 飛鳥仏と白鳳仏の違い 6. 薬師寺薬師三尊像について 7. 当麻寺白鳳仏にみる時代背景 8. 興福寺阿修羅像造像の経緯 9. 東大寺法華堂諸像をめぐる謎 10. 東大寺大仏造立の経緯 11. 鑑真と唐招提寺の仏像 12. 悔過の風習と檀像 13. 空海の拝した天平密教像 14. 天平仏の技法(塑造) 15. 天平仏の技法(乾漆造)
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 緒方啓介
	テキスト 参考資料を配布する。
	参考書・参考資料等 講義中に指示する。
	学生に対する評価 出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。
	その他 仏教美術講読演習B(後期)を履修・聴講することが望ましい。

科目名 仏教美術講読演習B	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教美術に親しみ、正しい美術史を理解することを到達目標とする。 テーマ：日本仏教美術史-仏像に親しむ(平安時代~鎌倉時代)-
	授業の概要 寺院のご本尊として祀られる仏像は崇高な礼拝の対象である一方、歴史的文化遺産としての意義も重要視されなければならない。講義では平安時代から鎌倉時代の仏像の歴史を信仰や技法・作風などの特性を踏まえて概説する。
	授業計画 1. 神護寺本尊の怒りの訳 2. 東寺講堂諸像の神秘性 3. 室生寺本尊像に見る絵画的性 4. 留学僧の請来仏 5. 渡岸寺十一面観音像の魅力 6. 末法到来と浄土教の隆盛 7. 平等院阿彌陀如来像の拝み方 8. 藤原仏にみる平安貴族の雅 9. 中尊寺金色堂の諸像 10. 運慶様式確立の背景 11. 東大寺南大門金剛力士像の造立経緯 12. 俊乘房重源と快慶 13. 庶民仏教が求めた仏像 14. 鎌倉新仏教の美術 15. 円空と木喰の仏像
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 緒方啓介
	テキスト 参考資料を配布する。
	参考書・参考資料等 講義中に指示する。
	学生に対する評価 出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。
	その他 仏教美術講読演習A(前期)を履修・聴講することが望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乘仏教、タントラ 仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性 のある解釈を与えるかが大切な課題の1つであった。インド密教の総決 算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点 に焦点をあてて理解する。 テーマ：インド・チベット仏教戒律思想史（1）
仏教学講読演習C	授業の概要 チベット仏教のサキヤ派のサキヤパンディタ（=サバン、1182 - 1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベッ ト語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と 大乘仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、 相違点、類似点などを学ぶ。
学期	授業計画 下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発 表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習 して講義に臨むこと。 1. オリエンテーション 2. サバンの生涯とその作品 3. 三律儀について 4. 小乗の戒律（すなわち波羅提木叉律儀）について 8. 大乘の戒（すなわち菩薩律儀）について 6. 密教の戒（すなわち真言律儀） 7～15. 密教の戒の章の講読
前期	テキスト 授業時に適宜プリントして配布する。 ① Sakya Pandita Kunga Gyaltshan: A Clear Differentiation of the Three Codes, transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002 ② Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba. 『サキヤ派全書』 Vol.5 No.4
単位数	2
担当者	藤田光寛 藤田光寛『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学） 森章司 編『戒律の世界』東京：溪水舎 1993年 佐藤密雄『律蔵』（=仏典講座4）大蔵出版（株） 昭和47年など
藤田光寛	学生に対する評価 期末の試験（60%）、平常点（20%）、小試験（20%）によって評価する。 その他 3回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除する ので注意すること。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですので、 質問などがあれば遠慮無く利用してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古典文学（和歌）の鑑賞力を養う。 テーマ：和歌の魅力
日本文化講読演習	授業の概要 古典の和歌を深く鑑賞することによって、和歌の魅力と古代から中 世にかけての人々の和歌への思いを理解する。『万葉集』『古今集』『新 古今集』のいわゆる三大集を中心に鑑賞することにする。
学期	授業計画 1. ガイダンス 和歌とはどのようなものか 2. 和歌の修辞（掛詞・縁語・序詞など） 3. 『古今集』仮名序 4. 『万葉集』（1）山上憶良と山部赤人 5. 同上（2）柿本人麻呂 6. 『古今集』（1）撰者の歌 7. 同上（2）六歌仙の歌 8. 『新古今集』（1）撰者の歌 9. 同上（2）後鳥羽院の歌など 10. 同上（2） 11. 和歌説話を読む（1） 12. 和歌説話を読む（2） 13. 道歌としての御詠歌 14. 江戸時代以降の和歌の概観 15. まとめ
前期	テキスト 教員が用意する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 講義の中で指摘する。
下西忠	学生に対する評価 平常点50%、レポート（50%） その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文を読むために必要な語彙・知識を修得し、専門的な文 章を読むのに慣れることを到達目標とする。 テーマ：『文選』を読む。
中国語文化講読演習1	授業の概要 テキストは「原文」「訓読」「翻訳」「語注」「解説」から成る。この 授業では、テキストの漢字すべてにふりがなを付けながら読み、分 からない言葉はすべて調べて理解するよう努める。受講生は必ず予習が 必要である。
学期	授業計画 1. 「孔文学薦禰衡表」を読む。（1） 2. 「孔文学薦禰衡表」を読む。（2） 3. 「孔文学薦禰衡表」を読む。（3） 4. 「孔文学薦禰衡表」を読む。（4） 5. 「孔文学薦禰衡表」を読む。（5） 6. 「諸葛孔明出師表」を読む。（1） 7. 「諸葛孔明出師表」を読む。（2） 8. 「諸葛孔明出師表」を読む。（3） 9. 「諸葛孔明出師表」を読む。（4） 10. 「諸葛孔明出師表」を読む。（5） 11. 「曹子建求自試表」を読む。（1） 12. 「曹子建求自試表」を読む。（2） 13. 「曹子建求自試表」を読む。（3） 14. 「曹子建求自試表」を読む。（4） 15. 「曹子建求自試表」を読む。（5）
前期	テキスト 新釈漢文大系『文選』のコピーを配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 『大漢和辞典』、『アジア歴史事典』、『中国学芸大辞典』
南昌宏	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手 帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。出席は点数化しない。 予習成果の発表30%、期末試験70%で評価する。 その他 受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更す る場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
学期	授業計画
前期	テキスト
単位数	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価
	その他

科目名 漢字ⅡⅠ／漢字ⅡⅡ	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標： テーマ：【前期】今年書体を楷書体、行書体に限定し、その中から一つの法帖を自分で選択し、実習する。その法帖の形、線の特徴をつかみ、実際に上手に表現できるように努める。 【後期】上記2書体に草書体を加えた書体から法帖を一冊選び、その法帖の形、線などの特徴が、実際に表現できるように努める。	
	授業の概要 臨書中心の実技の授業である。臨書作品を授業中に添削し、参考者指導者が目の前で書いてみせる。授業中に筆を執って書くだけでは絶対に上達はしない。自宅でも筆を持つよう心がけて欲しい。個人指導を中心に据えて授業を進める。	
	授業計画	
	【前期】	【後期】
	1. 授業の方針、法帖の選び方、どんな授業を展開していくのかを説明した後、各自が法帖を選ぶ。	1. 各自が法帖を選ぶ。指導者はその相談に応じ共に考えながら法帖を選ぶ。
	2. 3. 4. 5. 6. 7. 法帖の臨書	2. 3. 4. 5. 6. 7. 法帖の臨書
	8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。	8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
	9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 法帖の臨書	9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 法帖の臨書
	15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。	15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
学期	前期 通年 後期	
単位数	1 2 1	
担当者	木本滋久	
参考書・参考資料等		
学生に対する評価	2回のレポート、出席回数、授業態度などで評価する。	
その他		

科目名 かなⅡⅠ／かなⅡⅡ	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】かなⅠの基本の上に個性豊かな古筆の原寸大臨書をし、それをもとに創作すること。 【後期】各自が選んだ古筆を拡大し、自己表現の技術を身につけること。 テーマ：【前期】三色紙の中から各自一つを選び臨書をくり返し、その特徴をとらえること。 【後期】古筆を基本とした自己表現の方法を見つける。	
	授業の概要 【前期】かなⅠおよびそれと同程度のかな経験者を対象にかなの技術知識のより上達をめざす。ちらし書きの名品としての古筆を知り、各自よりひかれるもの一つをえらび練習する。臨書から創作へと進む。 【後期】決定した古筆を形式をかえて拡大臨書から創作へ、そしてより大きな料紙へと移っていき、これが自分独自の自己表現の形だと納得するまで錬成する。	
	授業計画	
	【前期】	【後期】
	1. 講義目標、概要の解説、書歴アンケート	1～4. 各自選んだ古筆を大色紙大に拡大臨書。
	2. 三色紙の解説、各自の古筆を決定する。	5～8. 半懐紙大に拡大臨書する。
	3～10. 選んだ古筆を原寸大臨書・小レポートを提出	9～12. 大色紙または半懐紙大に創作(古筆の雰囲気を残して)。
	11～15. 各古筆の雰囲気を出して創作する	13～15. 今まで習った作品のうち一つを全懐紙または半切に拡大作品を創る。
	学期	前期 通年 後期
単位数	1 2 1	
担当者	山本圭子	
参考書・参考資料等	古筆全般	
学生に対する評価	出席重視。1/3以上欠席者は評価しません。臨書・創作各50%。	
その他	粘り強く地道にくり返し練習することが大事です。全授業出席の気持ちが大大事です。	

科目名 哲学方法論(別)	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標： テーマ：現代政治哲学入門	
	授業の概要 5人を助けるために1人を犠牲にすることは正しい行為か？——こうした具体的問題を通して、政治哲学の基礎的思考方を学びます。具体的問題を考える中で、いろいろな連関の中で問題を考える力、原則と現実との間を往復する力、哲学的思考力の育成を目指します。	
	授業計画	
	1. 哲学とは何か？	2. 功利主義の考え方
	3. ベンサムとミル	4. 自由至上主義の考え方
	5. 市場と道徳	6. 代理母の問題
	7. 義務論の考え方	8. イマヌエル・カント
	9. 公正としての正義	10. ジョン・ロールズ
	11. アファーマティブ・アクションの正当性	12. アリストテレスと徳の倫理学
13. 「信念の固め方」	14. ブラダマティズム格言	
学期	後期	
単位数	2	
担当者	山脇雅夫	
参考書・参考資料等		
学生に対する評価	期末テスト65点、小テスト20点、平常点15点	
その他		

科目名 宗教学方法論	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：宗教の働きを学ぶことを通して、宗教学の視座と研究方法を理解すること。 テーマ：宗教学研究法を学ぶ	
	授業の概要 指定テキストのトピックスにもとづいて講義する。	
	授業計画	
	1. オリエンテーション	2. 日本の宗教の特徴
	3. 宗教とは何かを考える	4. 〃
	5. 〃	6. 宗教と社会
	7. 〃	8. 〃
	9. 〃	10. 〃
	11. 日本人と宗教	12. 〃
13. 〃	14. 〃	
15. 〃		
学期	後期	
単位数	2	
担当者	藤田光寛	
参考書・参考資料等	岡田典夫 他編『はじめて学ぶ宗教』(有斐閣)1995円(本学生協で購入すること)	
学生に対する評価	①脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫) ②島蘭進 編『宗教学キーワード』(有斐閣、2006年)など	
その他	学生に対する評価 期末の筆記試験(60%)、平常点(20%)小試験(20%)によって評価する。 毎回、指定テキストや参考文献に目を通して授業に出席することが基本的条件です。授業ではノートを取り、整理をしておいてください。毎回休まずに出席すること。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですから、質問等があれば遠慮なくこれを利用してください。	

科目名 書道史ⅠA (中国)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中国文化に興味を持ち、文字の起源から芸術としての書の確立までの歴史の流れを理解することを到達目標とする。 テーマ：中国書道及び文化史基礎知識の養成。
	授業の概要 アジア文化の根幹は漢字であることを念頭に、BC2000年前の刻符を文字の起源とし、それがどのような経緯を経て実用及び芸術の域へ昇華して行ったかを中国の書道史を時代的に学びながら解明する。またそれが今日の我々の生活における影響を与えたかもあわせて考えてみたい。ビデオ・資料も積極的に活用し、単なる知識として理解するだけでなく、視覚的又実用的にも書道史をとらえるように促したい。その他、日中の中国書道史のとらえ方の違いなども述べてみたい。
	授業計画 1. 漢字の起源 漢字の創生 六義 2. 先秦 甲骨文 3. 金文・石鼓文 4. 秦 秦代書道概観 篆書の制定 5. 秦の刻石 権量 詔版 瓦当 磚 6. 漢 漢代書道概観 隸書の盛期 古隸と八分 7. 代表的漢碑と印章 紙の発明と発展 『説文解字』 8. 三国 三国時代書道概観 9. 六朝 六朝時代書道概観 南朝の刻帖と能書家 10. 王羲之と王献之 11. 北朝の書道概観 六朝楷書 北朝能書家と代表碑刻 12. 隋 隋代書道概観 13. 隋の代表的碑刻 14. 唐 初唐の書道概観 15. 初唐の四大家とその代表的作品
	テキスト 『決定版』中国書道史 角井博監修 芸術新聞社 定価 2800円 (大学生協にて購入) その他、必要に応じてプリント配布。
	参考書・参考資料等 ・『中国美術全集』(書法篆刻編) 中国美術全集編輯委員会 ・『書道全集』平凡社 ・『中国書法史』江蘇教育出版社 ・『墨スペシャル9 図説中国書道史』芸術新聞社
	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。 前期末テストで100%の評価をする。
	その他
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 野田 悟

科目名 書道史ⅠB (中国)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中国文化に興味を持ち、時代別書風の変化をはじめとする書道理論の形成、発展を理解することを目標とする。 テーマ：さまざまな書体、書風の変遷及び金石学・印学等書道理論の芽生えと発展。
	授業の概要 日本の奈良時代の書道史に大きな影響を与えた、唐代の書道概観を詳細に述べ、宋・明・清代への多彩な書風及び理論が発展していく様子を多く取り入れ解説する。また書は、文学、哲学そしてその他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるため、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めてゆくこととしたい。
	授業計画 1. 中唐 中唐の書道 顔真卿の書 孫過庭『書譜』と張懷瓘『書議』・『書断』 2. 晚唐 晚唐の書道 3. 五代 五代の書道概観 4. 宋 宋の書道概観 5. 北宋の四大家 6. 金石学の芽生え 淳化閣帖と集帖 7. 南宋の能書家 8. 元 元代の書道概観 趙孟頫と吾丘衍 9. 明 明代の書道概観 10. 明代古典派 11. 明末清初のロマン派 長条幅のはじまり 12. 清 清代の書道概観 13. 碑学の勃興 14. 権清末の碑学派
	テキスト 『決定版』中国書道史 角井博監修 芸術新聞社 定価 2800円 その他、必要に応じてプリント配布。
	参考書・参考資料等 ・『中国美術全集』(書法篆刻編) 中国美術全集編輯委員会 ・『書道全集』平凡社 ・『中国書法史』江蘇教育出版社 ・『墨スペシャル9 図説中国書道史』芸術新聞社
	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。
	その他
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 野田 悟

科目名 真言密教方法論講義Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の書いた漢字の文章を分析することによって、空海その人を知る。 テーマ：『為大使与福州觀察使書』を読む。
	授業の概要 この講義での真言密教とは、空海を学ぶことである。学問としての「密教を学ぶ方法論」は、先生各自が異にするところである。ここでは空海の文章を読むための私(静)の方法論を講義する。
	授業計画 1. シラバスの説明。講義の進め方について説明する。 2. 空海の生涯を考える。 3. 空海が残した著作の内、「密教思想」・「書簡類」の著作を考える。 4. 「性靈集」を考える。 5. 『為大使与福州觀察使書』を読む。 ① これまでに出版されている原文・書き下し文・訳を基本にする。 ② 原文の読み方として、特に「対句」を意識して、全文を並び変えた表を作成する。 (表作成を指導する。) - レポートとして提出 - ③ 以下順次読み進める。(演習形式) ④ 読み進める。(演習形式) ⑤ 読み進める。(演習形式) ⑥ 読み進める。(演習形式) ⑦ 読み進める。(演習形式) ⑧ 読み進める。(演習形式) ⑨ 読み進める。(演習形式) ⑩ 読み進める。(演習形式) 6. 総括
	テキスト コピーを配布する。
	参考書・参考資料等 授業で指示する。
	学生に対する評価 授業中に実施する小テスト、レポート、授業中の発表、試験で70パーセント。 平常点30パーセント。 その他 出席を特に重んずる。
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 静 慈 圓

科目名 真言密教方法論講義Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：図像学的研究を資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。 テーマ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。
	授業の概要 密教学講義演習 真言宗典講読2-1(別)に引き続き、漢訳資料の講読を中心として図像学的見地から様々な尊格の比較研究を行う。 本授業では、図像資料講読演習を引き続き進めながら、各自で演習テーマとする尊格を決め、その尊格の譜系についての図像学的考察をまとめる内容となる。そのため、基礎知識として前期の授業での講読演習が不可欠となるので通期で受講することが望ましい。
	授業計画 1. 概論(講義の進め方等) 2. 漢訳資料の基本的な扱い方 3. 漢訳資料の基本的な講読練習 4. 尊格表現方法の基本知識 5. 図像資料講読演習① 6. 図像資料講読演習② 7. 図像資料講読演習③ 8. 各自で研究テーマとする尊格の演習① 9. 各自で研究テーマとする尊格の演習② 10. 各自で研究テーマとする尊格の演習③ 11. 各自で研究テーマとする尊格の演習④ 12. 各自で研究テーマとする尊格の演習⑤ 13. 各自で研究テーマとする尊格の演習⑥ 14. 各自で研究テーマとする尊格の演習⑦ 15. レポート試験
	テキスト 大正新脩大藏經 図像部
	参考書・参考資料等 松長有慶編 『密教を知るためのガイドブック』 法蔵館 1995年
	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験50% 平常点50%
	その他
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 松長 恵史

科目名 密教文化方法論講義Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：①密教文化の研究の対象と方法論の多様性について理解を深める。 ②特定のテーマについて自ら調べ、考え、それを適切な言葉で表現できる。 テーマ：密教文化をどのように研究するか。
	授業の概要 一口に密教の文化といっても、その意味するものは多様である。それに応じて、その研究にもさまざまな方法論やアプローチの仕方がある。本授業では、そうしたさまざまな方法を実際の研究に即して紹介し、密教文化をどのように学び、研究したらよいかを一緒に考えてゆく。
	授業計画 1. イントロダクション 2. 「南方マンドラ」論1 3. 「南方マンドラ」論2 4. 密教美術1 5. 密教美術2 6. 密教と哲学、宗教学、人類学、民俗学 7. 密教と生命倫理 8. 密教と文学 9. 神秘体験、超心理学、瞑想 10. 聖地と巡礼 11. 密教系新宗教 12. 密教をどう伝えるか1 13. 密教をどう伝えるか2 14. 小説の中の弘法大師 15. まとめ
	テキスト 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』法蔵館
	参考書・参考資料等 教室でそのつど指示する
学期	前期
単位数	2
担当者	奥山直司
学生に対する評価 平常点30%（遅刻3回で1欠席と見なす）、授業参加状況30%、期末レポート40%	
その他	

科目名 篆刻A	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 1. 古代文字（小篆および篆印篆）の基本的認識。 2. 書学・金石学における爾印・篆刻の役割の重要性及び関連性の理解。 3. 各時代に沿った印章の違いの理解をもつての刻印技術の修得。 テーマ：漢印による篆刻の理論と実践。
	授業の概要 ・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の模刻を中心に実践、理論の双方より学び、最終的に書学との関連及びその特徴をつかみ、それをもとに創作する。 ・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 古代印章の起源と歴代重印の変遷 3. 印材・工具の紹介と刀法 4. 側款の練習 5～6. 毛筆での篆書と双橋填墨・印稿の練習 7～8. 漢印 9～10. 秦印 11. 漢印または秦印による創作 12. 將軍印 13. 玉印 14. 肖形印 15. これまでの模刻をもとに創作・作品提出
	テキスト ・書道講座第6巻『篆刻』（二玄社刊） ・その他必要に応じてプリントを配布
	参考書・参考資料等 ・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・『故宮博物院藏古璽印選』（文物出版社） ・『上海博物館藏印選』（上海書画出版社） ・養毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料14・篆刻』（中教出版）
学期	前期
単位数	2
担当者	野田悟
学生に対する評価 ・基本的に提出作品による100%の評価。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。	
その他 ・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する。） ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。（当然これも提出物の評価の対象とみなす。） ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て望むこと。 ・昨年受講した者は、秦代以前の古璽を個別に指導する。	

科目名 篆刻B	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 1. 古代文字及び流派印の基本的認識。 2. 書学・金石学における篆刻の役割の重要性及び関連性の理解。 3. それぞれの流派印の理解をもつての刻印技術の修得。 テーマ：流派印の理論と実践。
	授業の概要 明代により急激に発展した篆刻芸術は、その後徽派・浙派に分別され、後の吳昌碩により双方の特徴を備えた篆刻も出現する。これらの篆刻史を基本線の上に最終的にそれらをもとにした創作を行う。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 側款の練習 3～4. 流派印の出現とその変遷（理論） 5～7. 鄧石如、吳讓之 8. 鄧石如、吳讓之の篆刻をもとに創作 9～11. 浙派 12. 吳昌碩 13. 黃士陵 14. 齊白石 15. 自用印の創作・作品提出
	テキスト ・書道講座第6巻『篆刻』（二玄社刊） ・その他必要に応じてプリントを配布
	参考書・参考資料等 ・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・養毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料14・篆刻』（中教出版） ・小原俊樹、勝目浩司編『図解・篆刻入門』（木耳社）
学期	後期
単位数	2
担当者	野田悟
学生に対する評価 ・基本的に提出作品による100%の評価。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。	
その他 ・受講は、前期の履修者のみに限る。 ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。（当然これも提出物の評価の対象とみなす。） ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て望むこと。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
	テキスト
	参考書・参考資料等
学期	
単位数	
担当者	
学生に対する評価	
その他	

科目名 密教学 方法論演習 A-1 I A	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：唐に留学した空海がどんな教を学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御请来目録』
	授業の概要 空海の帰国報告書ともいうべき『御请来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した經典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。
	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 入唐から帰国までの経緯報告① 3. 入唐から帰国までの経緯報告② 4. 入唐から帰国までの経緯報告③ 5. 入唐から帰国までの経緯報告④ 6. 關期の罪について① 7. 關期の罪について② 8. 新訳等の経について① 9. 新訳等の経について② 10. 新訳等の経について③ 11. 密教の相承について① 12. 密教の相承について② 13. 密教の相承について③ 14. 密教の相承について④ 15. 講義の総括 ※演習時には随時卒論のテーマに基づく指導を行なう。
	テキスト 『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所
	参考書・参考資料等 宮坂有勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
学期 前期	学生に対する評価 平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。
単位数 2	その他
担当者 中村本然	

科目名 密教学 方法論演習 A-2 II A	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：唐に留学した空海がどんな教を学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御请来目録』
	授業の概要 空海の帰国報告書ともいうべき『御请来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した經典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。
	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 請来した梵字真言讚等について 3. 請来した論疏章等について 4. 請来した仏菩薩金剛天等について 5. 請来した道具について 6. 請来した阿闍梨付囑物について 7. 密教の受法の経緯について① 8. 密教の受法の経緯について② 9. 恵果との師弟の交流について① 10. 恵果との師弟の交流について② 11. 般若三蔵の願いについて① 12. 般若三蔵の願いについて② 13. 顕教と密教について① 14. 顕教と密教について② 15. 講義の総括 ※演習時には随時卒論のテーマに基づく指導を行なう。
	テキスト 『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所
	参考書・参考資料等 宮坂有勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
学期 後期	学生に対する評価 平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。
単位数 2	その他
担当者 中村本然	

科目名 密教学 方法論演習 B-1 I B	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：エンゲイジド・ブッディズムに代表される仏教実践の新潮流について理解を深めると同時に、外国語文献を含む文献資料の読解力を養い、論文作成のノウハウを身につける。 テーマ：仏教新潮流と密教
	授業の概要 今世界の仏教地図はエンゲイジド・ブッディズムという言葉で一括される仏教実践の新しい潮流によって塗りかえられようとしている。本授業は、さまざまな形で顕れているこの新しい流れについて代表的な出版物の読解を通じて学んでゆく。当番制の輪読によって授業を進め、論じつつ考えてゆく。
	授業計画 1. ガイダンスーエンゲイジド・ブッディズムとは何か 2. 阿満利磨『社会をつくる仏教』を読む1 3. 阿満利磨『社会をつくる仏教』を読む2 4. 阿満利磨『社会をつくる仏教』を読む3 5. 阿満利磨『社会をつくる仏教』を読む4 6. 阿満利磨『行動する仏教』を読む1 7. 阿満利磨『行動する仏教』を読む2 8. ランジャナ・ムコパディヤヤ『日本の社会参加仏教』を読む1 9. ランジャナ・ムコパディヤヤ『日本の社会参加仏教』を読む2 10. エンゲイジド・ブッディズム関係外国語文献を読む1 11. エンゲイジド・ブッディズム関係外国語文献を読む2 12. エンゲイジド・ブッディズム関係外国語文献を読む3 13. エンゲイジド・ブッディズム関係外国語文献を読む4 14. エンゲイジド・ブッディズム関係外国語文献を読む5 15. まとめ
	テキスト 阿満利磨『社会をつくる仏教』人文書院、阿満利磨『行動する仏教』ちくま学芸文庫、ランジャナ・ムコパディヤヤ『日本の社会参加仏教』東信堂
	参考書・参考資料等 教室で指示する。
学期 前期	学生に対する評価 平常点20%、予習状況40%、授業参加状況40%
単位数 2	その他 十分に予習して授業に臨んでもらいたい。
担当者 奥山直司	

科目名 密教学 方法論演習 B-2 II B	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：エンゲイジド・ブッディズムに代表される仏教実践の新潮流について理解を深め、現代社会における密教者の役割について考えると同時に、外国語文献を含む文献資料の読解力を養い、論文作成のノウハウを身につける。 テーマ：仏教新潮流と密教
	授業の概要 今世界の仏教地図はエンゲイジド・ブッディズムという言葉で一括される仏教実践の新しい潮流によって塗りかえられようとしている。後期は、グライ・ラマ法王の思想と実践に関わる文献を取り上げ、輪読によって授業を進め、論じつつ考えてゆく。
	授業計画 1. ガイダンスーチベット近現代史 2. チベット近現代史 3. グライ・ラマ法王の自伝を読む1 4. グライ・ラマ法王の自伝を読む2 5. グライ・ラマ法王の著作を読む1 6. グライ・ラマ法王の著作を読む2 7. グライ・ラマ法王の著作を読む3 8. グライ・ラマ法王の著作を読む4 9. グライ・ラマ法王の著作を読む5 10. グライ・ラマ法王の著作を読む6 11. グライ・ラマ法王の著作を読む7 12. グライ・ラマ法王の著作を読む8 13. グライ・ラマ法王の著作を読む9 14. グライ・ラマ法王の著作を読む10 15. まとめ
	テキスト 教室で指示する。
	参考書・参考資料等 教室で指示する。
学期 後期	学生に対する評価 平常点20%、予習状況40%、授業参加状況40%
単位数 2	その他 十分に予習して授業に臨んでもらいたい。
担当者 奥山直司	

科目名 密 教 学 演 習 C - 1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基本思想を極める。 テーマ：仏教の基本思想を理解することによって、最終的に仏教の基本思想が密教のそれとどのようにつながっているかについての考察を行う。
	授業の概要 初期仏教聖典において最古層の成立と目されている『スッタニパータ』の翻訳作業を主軸として、幾つかのミカーヤ文献の解説を通して、後に展開される大乘さらには密教という思想的体系へと繋がって行くかについて概観する。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『スッタニパータ』を購読することによって、釈尊の肉声を確認する作業を行う。 3. 5回程度までは、同様の作業を行う。 4. 幾つかのミカーヤ文献を購読することによって、仏教教団が実質的に形成された後の、初期仏教教団内部の様相を原典から探っていく。(9回～14回まで) 5. 総まとめ
	テキスト 『スッタニパータ』(担当者和訳)のコピーテキスト、ニカーヤ文献(担当者和訳)のコピーテキスト
	参考書・参考資料等 講義時に必要に応じて紹介する。
学期	
準(前期)	
単位数	
2	
担当者	
前 谷 彰	学生に対する評価 授業の予習を怠らない態度と学期末のレポートによって評価する。 その他

科目名 密 教 学 演 習 C - 2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基本思想を極める。 テーマ：仏教の基本思想を理解することによって、最終的に仏教の基本思想が密教のそれとどのようにつながっているかについての考察を行う。
	授業の概要 大乘仏典の購読を通して、仏教というものが初期仏教から大乘へと展開して行く中において、その根本思想がどのように変化し、初期仏教思想とはその本質を異にするまでに至ったについて考察する。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 1回～2回までは『般若経』の思想的特徴について概略する。 3. 3回～5回までは、『法華経』の思想的かつ歴史的背景について概略する。 4. 6回～7回までは、『華嚴経』の思想的勝『歴史的は池について概略する。 5. 8回～10回までは、「中観」「唯識」派の思想について概観する。 6. 11回～14回までは、弘法大師の思想に触れる。 7. 総まとめ
	テキスト 『スッタニパータ』(担当者和訳)のコピーテキスト、ニカーヤ文献(担当者和訳)のコピーテキスト
	参考書・参考資料等 講義時に必要に応じて紹介する。
学期	
準(後期)	
単位数	
2	
担当者	
前 谷 彰	学生に対する評価 授業の予習を怠らない態度と学期末のレポートによって評価する。 その他

科目名 密 教 学 演 習 D - 1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：サンスクリット原典を文献学的に解説する手法を身につけること テーマ：『瑜伽師地論』[本地分]中「五識身相応地・意地」の講読演習
	授業の概要 『瑜伽師地論』[本地分]冒頭の「五識身相応地」と「意地」のサンスクリット・テキスト(バクチャリヤ校訂本)を批判的に精読する。大学院の「仏教学演習1」との共通授業である。
	授業計画 1. 瑜伽行派の諸論書と所依の經典についての概説 2. 『瑜伽師地論』についての概説 3. 『阿毘達磨俱舍論』・『五蘊論』、並びに、『阿毘達磨集論』との比較対応箇所について 4. (同上) 5. 『瑜伽師地論』[本地分]冒頭の「五識身相応地」からサンスクリット・テキストを読む。 以下、原典講読を進める。
	テキスト 授業で指示する。
	参考書・参考資料等 授業で紹介する。
学期	
準(前期)	
単位数	
2	
担当者	
室 寺 義 仁	学生に対する評価 平常点評価。 その他

科目名 密 教 学 演 習 D - 2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：サンスクリット原典を文献学的に解説する手法を身につけること テーマ：『瑜伽師地論』[本地分]中「五識身相応地・意地」の講読演習
	授業の概要 『瑜伽師地論』[本地分]冒頭の「五識身相応地」と「意地」のサンスクリット・テキスト(バクチャリヤ校訂本)を批判的に精読する。大学院の「仏教学演習2」との共通授業である。
	授業計画 前期に引続き、『瑜伽師地論』中「本地分」の「意地」の原典講読を進める。
	テキスト 授業で指示する。
	参考書・参考資料等 授業で紹介する。
学期	
準(後期)	
単位数	
2	
担当者	
室 寺 義 仁	学生に対する評価 平常点評価。 その他

科目名 密教 教学 演習 H11 I E	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
	授業の概要 『宿曜經』を講読することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行なう。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『宿曜經』講読演習 3. 『宿曜經』講読演習 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論中間発表 8. 卒論中間発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. レポート、論文の書き方 14. レポート、論文の書き方 15. まとめ
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 佐藤隆彦
	学生に対する評価 レポート60パーセント 平常点40パーセント
	テキスト 『宿曜經』(大正21 No. 1299 担当者がコピーを配布します)
	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』(臨川書店) 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』(法蔵館)
	その他

科目名 密教 教学 演習 H12 I E	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
	授業の概要 『宿曜經』を講読することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行なう。特に、後期には卒論作成の個別指導に力を入れたい。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 卒論目次の作成 3. 卒論目次の作成 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論発表 8. 卒論発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. 卒論発表 14. 卒論発表 15. まとめ
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 佐藤隆彦
	学生に対する評価 レポート60パーセント 平常点40パーセント
	テキスト 『宿曜經』(大正21 No. 1299 担当者がコピーを配布します)
	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』(臨川書店) 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』(法蔵館)
	その他

科目名 密教 教学 演習 J11 I F	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』(以下、『御遺告』)は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とは成りえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるとときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の書本をテキストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。 テーマ：『御遺告』を読む
	授業の概要 承和二年(835)三月十五日、空海が諸弟子に告げたとみなされてきた『御遺告』を、最古の写本である金剛峯寺本をテキストとして読み、内容の把握と問題点の指摘を通して、その成立年代の解明をめざしたい。最終的には、金剛峯寺本を底本とする校訂本を作成する。
	授業計画 1. はじめに - 空海研究の現状と課題 - 2. 関連史料と参考文献 3. 金剛寺本と『御遺告』の概要 4. 写本を扱う上での基本事項① - 写本と活字本 - 5. 写本を扱う上での基本事項② - フコト点と角筆 - 6. 以下、受講者は、各自分担して指定された個所の本分を筆写・校訂し、その校訂した本文にもとづいて訓読文と現代語訳を作成する。 7. 受講者は、①分担した個所の本文(写本)をいかに解読したか(筆写・校訂)、②その本分をどのように読んだか(訓読文)、③いかに理解したか(現代語訳)、を順番に報告する 8. 本年度は第十三条から解説する。
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 武内孝善
	学生に対する評価 授業への参加度(60%)と数回のレポート(40%)とを総合して評価する。
	テキスト 金剛寺本『御遺告』一帖(平安中期写本)
	参考書・参考資料等 ・『御遺告』の活字本(『定本弘法大師全集』第7巻所収本) ・註釈書類(『純真言宗全書』第26巻) ・柴島 裕『平安時代調点本論考』汲古書院 ・小林芳規『角筆文献研究導論』(四冊)汲古書院
	その他 ①写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。 ②積極的に抗議に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。 ③そうして、写本を使って卒業論文を書いてほしい。

科目名 密教 教学 演習 J12 I F	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』(以下、『御遺告』)は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とは成りえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるとときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の書本をテキストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。 テーマ：『御遺告』を読む
	授業の概要 承和二年(835)三月十五日、空海が諸弟子に告げたとみなされてきた『御遺告』を、最古の写本である金剛峯寺本をテキストとして読み、内容の把握と問題点の指摘を通して、その成立年代の解明をめざしたい。最終的には、金剛峯寺本を底本とする校訂本を作成する。
	授業計画 1. 前期に引き続き、受講者に分担していただき、本文を筆写・校訂し、その校訂した本文にもとづいて訓読文と現代語訳を作成する。 2. 受講者は、①分担した個所の本文(写本)をいかに解読したか(筆写・校訂)、②その本文をどのように読んだか(訓読文)、いかに理解したか(現代語訳)、を順番に報告する。
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 武内孝善
	学生に対する評価 授業への参加度(60%)と数回のレポート(40%)とを総合して評価する。
	テキスト 金剛寺本『御遺告』一帖(平安中期写本)
	参考書・参考資料等 ・『御遺告』の活字本(『定本弘法大師全集』第7巻所収本) ・註釈書類(『純真言宗全書』第26巻) ・柴島 裕『平安時代調点本論考』汲古書院 ・小林芳規『角筆文献研究導論』(四冊)汲古書院
	その他 ④写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。 ⑤積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。 ⑥そうして、写本を使って卒業論文を書いてほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。 テーマ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乘仏教・ヒンドゥー教
密教 学演習 G11	授業の概要
	仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に出会った際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。
学期	授業計画
	1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識(1) 3. 仏教を学ぶための基礎知識(2) 4. 『理趣経』原典の読解(1) 5. 『理趣経』原典の読解(2) 6. 『理趣経』原典の読解(3) 7. 『理趣経』原典の読解(4) 8. 『理趣経』原典の読解(5) 9. 『理趣経』原典の読解(6) 10. 『理趣経』原典の読解(7) 11. 『理趣経』原典の読解(8) 12. 『理趣経』原典の読解(9) 13. 文献読解の結果を分析する(1) 13. 文献読解の結果を分析する(2) 14. 文献読解の結果を分析する(3) 15. 総括
単位数	2
担当者	加納和雄
学生に対する評価	授業中の発表など30%、平常点30%、テスト40%
その他	主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎いたします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。 テーマ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乘仏教・ヒンドゥー教
密教 学演習 G12	授業の概要
	仏教を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に出会った際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。
学期	授業計画
	1. 導入 2. インドにおける密教と顕教(1) 3. インドにおける密教と顕教(2) 4. 『理趣経』原典の読解(1) 5. 『理趣経』原典の読解(2) 6. 『理趣経』原典の読解(3) 7. 『理趣経』原典の読解(4) 8. 『理趣経』原典の読解(5) 9. 『理趣経』原典の読解(6) 10. 『理趣経』原典の読解(7) 11. 『理趣経』原典の読解(8) 12. 『理趣経』原典の読解(9) 13. 文献読解の結果を分析する(1) 13. 文献読解の結果を分析する(2) 14. 文献読解の結果を分析する(3) 15. 総括
単位数	2
担当者	加納和雄
学生に対する評価	授業中の発表など30%、平常点30%、テスト40%
その他	主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎いたします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標：仏教文学の特質を学ぶ。 テーマ：仏教と文学の接点
密教 学演習 I11	授業の概要
	いわゆる仏教文学とよばれる作品を鑑賞することにより、文学の魅力、仏教史にかかわる諸問題を受講者とともに考察したい。
学期	授業計画
	1. 仏教文学とはなにか 2. 無常観の諸相 3. 説話の魅力(1) 宇治拾遺物語 4. 説話の魅力(2) 古今著聞集 5. 仏教説話と世俗説話のちがひ 6. 日本霊異記の世界 7. 今昔物語集-持経者の行状- 8. 本朝法華験記-観実のはなし- 9. 高野山往生伝-教懐の往生- 10. 鴨長明と方丈記 11. 発心集をよむ(1) 序文 12. 発心集をよむ(2) 玄敏のはなし 13. 発心集をよむ(3) 高野のふもとに住む僧のはなし 14. 発心集をよむ(4) 源順義のはなし 15. 総括
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点(30点)とレポート(70点)
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標：仏教文学の特質を学ぶ。 テーマ：仏教と文学の接点
密教 学演習 I12	授業の概要
	いわゆる仏教文学とよばれる作品を鑑賞することにより、文学の魅力、仏教史にかかわる諸問題を受講者とともに考察したい。
学期	授業計画
	1. 釈教歌と文芸 2. 道歌(巡礼歌) 3. 西行の六道歌 4. 沙石集をよむ(1) 序文 5. 閑居友の説話をよむ 6. 観音信仰の諸相(1) 眼病の治癒 7. 観音信仰の諸相(2) 補陀落渡海 8. 平家物語をよむ(1) どのような物語か 9. 平家物語をよむ(2) 薩摩守最期 10. 平家物語をよむ(3) 武蔵守最期 11. 平家物語をよむ(4) 小宰相の死 12. 平家物語をよむ(5) 壇ノ浦合戦 13. 平家物語をよむ(6) 灌頂巻-建礼門院の往生など- 14. 平家物語をよむ(6) 灌頂巻-建礼門院の往生など- 15. 総括
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点(30点)とレポート(70点)
その他	

科目名 条幅制作ⅠA 〔漢字〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：中国や日本の古典の臨書を通して得た技術で、漢字、近代詩文などの条幅作品を制作する。
	授業の概要 ○半切に漢字4～14文字の言葉を楷書体、行書体で創作する。(做書も可) ○半切(正方形)に漢詩、漢語を篆書体、隸書体、又は行書体で創作する。(做書も可) ○半切に漢字・仮名まじり文を創作する。課題は授業前に提示。
	授業計画 1. この授業の内容、授業の進め方、この授業に必要な書道用材(筆・画仙紙・字書類)の説明をする。 2. } 3. } 4. } 楷書体と行書体で創作する。提出後、全体で互評会を実施 5. } 6. } 7. } 8. } 9. } 10. } 11. } 篆書体、隸書体又は行書体で課題を創作。又は漢字仮名まじり文の創作。 12. } 13. } どれかひとつを選び実習する。 14. } 15. }
	テキスト 特に無し。
	参考書・参考資料等 字書：『書源』、『角川書道大字典』、二玄社の法帖類
	学生に対する評価 提出作品、出席回数、授業の取り組みを総合的に評価する。
	その他 各自で事前に『字書』を購入しておくこと 画仙紙は事前に大阪の書道用品店で買っておくこと。 この授業は高野山書道師範を取得を希望する者、書道で卒業論文を書こうとする学生は必修です。かなり習熟した技能を持っていることが要求されます。
	学期
	準前期
	単位数
1	
担当者	
木本滋久	

科目名 条幅制作ⅡA 〔漢字〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：金剛峯寺・高野山大学書道師範取得や、卒業制作にふさわしい作品の制作をめざす。 テーマ：臨書でつちかった基礎の上で、個性豊かでフレッシュな作品を創作する。
	授業の概要 2尺×8尺(52cm×約228cm)の画仙紙に自分で詩や文章を選び創作する 漢詩を選んだ人は、まず字書ですべての文字を調べ一覧表を作成する。それを参考にして字のくづし方を覚える。漢字仮名まじり文を書こうとする人は、全体の構成や空間のとり方など工夫し、漢字と仮名の調和も考えて製作をすすめる。 提出後、全体で互評会を実施。
	授業計画 1. } 2. } 3. } 4. } 5. } 6. } 7. } 8. } 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 落款印を押して授業の終わりに提出。 15. } 提出した作品の鑑賞会実施。
	テキスト 特に無し。
	参考書・参考資料等 字書や二玄社の法帖類、各展覧会の作品集等。
	学生に対する評価 提出作品、出席回数、授業の取り組みを総合的に評価する。
	その他 2尺×8尺の作品は評価の後、2月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。
	学期
	準後期
	単位数
1	
担当者	
木本滋久	

科目名 条幅制作ⅠB 〔かな〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古来より机上作品であった「かな」を条幅作品として表現する方法を身につける。 テーマ：古筆の拡大臨書をもとに細字作品を条幅作品として仕上げられるために何が必要かを知り、創作していく。
	授業の概要 古筆の拡大臨書から条幅作品として個性的な表現を加えていく。 条幅に表現することは筆者の人間性の深さ・生命感情の躍動の強さを「かな」を用いて十分に表現することである。そのため大きく影響する用具用材についての知識も必要である。
	授業計画 1. 条幅「かな」の解説・用具・用材等の説明。 2. 既成作品を鑑賞し、全体像を知る。 3. } 4. } 5. } 高野切第三種から一首えらび、たて135cm×横35cmの紙に拡大臨書をする。条幅として仕上げるために何が必要かを添削を通して身につける。 6. } 7. } 8. } 9. } 10. } 11. } たて135cm×横35cmの紙に創作する。 12. } 各自歌一首を選び、個性豊かな作品に仕上げる。 13. } 適宜添削する。 14. } 15. }
	テキスト 特に無し。
	参考書・参考資料等 古筆全般 既成作品 かな字典
	学生に対する評価 拡大作品・創作作品を中心に、とりくむ姿勢、出席を加味して評価する。3分の1以上欠席者は評価しません。
	その他 ・漢字Ⅰ、かなⅠを受講済みであること。 ・全授業出席する気持ちが大事。実習しなければ身につけません。 ・知識として知るだけでは自己表現できないことをよく知ってほしい。目習いというように見る力をつけることも重要です。
	学期
	準前期
	単位数
1	
担当者	
山本圭子	

科目名 条幅制作ⅡB 〔かな〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：数種の大きさの紙に自分の感動をより豊かに表現すること。 テーマ：かなの美を条幅作品に表現する。自分の選んだ題材を自分の感情により的確に表現していくため、その内容にふさわしい自己の線質等を追求していく。
	授業の概要 現代性を表現するため、現代詩などを題材として制作する。 また古歌・古詩等であっても現代に生きる作品としていくために何が必要かを追求していく。
	授業計画 1. } 2. } 3. } 75cm×75cmの紙に漢字かなまじり文を寸松庵色紙等を参考に 4. } 散らしの方法を加えて制作する。 5. } 既成作品等を参考に、適宜添削、指導をする。 6. } 7. } できあがった作品の互評会を行い、作品造りの参考に 8. } 9. } 10. } 228cm×52cmの紙をたて・横自由に使い、スケールの大きな 11. } 個性豊かな作品を仕上げていく。 12. } 「かな」であることをいつも意識下におき、制作する。 13. } 互評会を行う。 14. } 15. }
	テキスト 特に無し。
	参考書・参考資料等 三色紙 かな字典
	学生に対する評価 かな作品としての特徴を活かしているかを中心に評価する。 全時間出席して、技法を身につけようとしているかの努力、姿勢を重視する。 3分の1以上欠席者は評価しません。
	その他 ・受講者は、漢字Ⅰ、かなⅠ、条幅制作Ⅰ〔かな〕を受講済みであること。 ・初めてのかな条幅となると思うので、挑戦する気持ちと、初めてのことをよく知ろうとする謙虚さが必要です。
	学期
	準後期
	単位数
1	
担当者	
山本圭子	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現場でスピリチュアルなケアを実践するときを知っておくべき基礎的な諸理論と、それを支える仏教の瞑想的智慧について、知性と感性のバランスをとりながら学ぶ。 テーマ：実践と理論をつなぐための学び
総合科目(スピリチュアルケア理論)	
学期	後期
後期	
単位数	2
担当者	井上ウイマラ
授業の概要	スピリチュアルケアの歴史的背景と仏教が内包しているスピリチュアルなケアの可能性を検討し、人生の意味や価値にまつわる死生観などを概観しながら、理論と実践をつなぐための小レッスンを交えて授業を展開する。
授業計画	1. 自己紹介と授業の流れについて(ホスピス運動の歴史的背景と本質) 2. 仏教における瞑想的実践としての看護・看取り活動 3. 解脱とケアする力 4. 悟りと対象喪失理論 5. 悲しむ力と育む力 6. 精神的健康の基盤としての愛着理論 7. ライフサイクル理論 8. 自己実現と欲求の5段階説 9. 四摂法と育みあう心 10. 人生で大切な5つの仕事 11. 仏教心理学の可能性 12. 移行対象と祈りの力 13. 中道：アンビバレンスを見守る器 14. 解脱と俯瞰的視点としてのスピリチュアリティ 15. ふりかえりとまとめ
テキスト	『スピリチュアルケアへのガイド』 窪寺俊之・井上ウイマラ 『看護と生老病死』 井上ウイマラ 三輪書店
参考書・参考資料等	そのつど必要に応じて提示する。
学生に対する評価	平常点(30%)と参加態度(30%)、期末試験あるいはレポート(40%)によって評価する。
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自分自身を知る能力(自己覚知)を育むために、仏教のウイパッサナー(観)瞑想を基本とした意識の育み方を学ぶ。 テーマ：自分を知ることについて。
企画科目(スピリチュアルケア援助論I)	
学期	前期
前期	
単位数	2
担当者	井上ウイマラ
授業の概要	授業の最初にみんなの息を合わせるために「三宝帰依の歌」を歌い、「呼吸による気づき経」を読誦し、15分ほど呼吸瞑想をする。その後、さまざまな瞑想的エクササイズを行い、ふりかえりと話し合いを通して体験的に学習を深めてゆく。
授業計画	1. 自己紹介と授業の進め方について(スピリチュアルケアとは何か?) 2. 如実知見と如実知自心(自分を知ることの大切さ) 3. 身体感覚に心を開く：受(vedanā)を探る 4. 「出入息経」から学ぶ 5. 「出入息経」から学ぶ 6. 呼吸に触れる 7. 呼吸のモニタリング 8. 中間のふりかえり 9. 思考や感情との付き合い方 10. 三業の心理学 11. マインドフルネス瞑想の系譜 12. 慈悲喜捨に学ぶ 13. 息づかいのメッセージ 14. 4つの滋養(āhāra)に学ぶ 15. ふりかえりとまとめ
テキスト	『看護と生老病死』 井上ウイマラ 三輪書店
参考書・参考資料等	『スピリチュアルケアへのガイド』 窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社 『人生で大切な5つの仕事』 井上ウイマラ 春秋社
学生に対する評価	平常点(30%)と参加態度(30%)、期末レポート(40%)で評価します。
その他	できるだけ動きやすい服装で参加してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：他者との関係の中に浮かび上がってくる自分のパターンに気づき、より自然体に近いコミュニケーションの可能性を探る。共感と傾聴の基本を身につける。 テーマ：関係性とコミュニケーションスキルに関する気づきを養う。
企画科目(スピリチュアルケア援助論II)	
学期	後期
後期	
単位数	2
担当者	井上ウイマラ
授業の概要	最初にみんなの息を合わせるために「慈しみの歌」を歌い、「気づきの確立経」を読誦し、10分ほど呼吸瞑想をする。その後、瞑想的エクササイズやロール・プレイなどを行い、ふりかえりと話し合いによって体験学習を深める。
授業計画	1. 自己紹介と授業の進め方について。(スピリチュアリティと仏教瞑想について) 2. 進化における人間存在とケア 3. ミラーリング(ミラーニューロンについて) 4. ミラーリングその2 5. 5分間トーク(静かに傾聴する心について学ぶ) 6. レーゼンの祈り(自分の心がいかに世界に映し出されるかについて学ぶ) 7. 中間のふりかえり 8. 他己紹介(情報収集とプレゼンテーションの中に映し出される自分) 9. ミニカウンセリング：「最近起こったこと」というテーマでのロールプレイ 10. ミニカウンセリング：会話録 11. ミニカウンセリング：よいカウンセラーに必要なもの 12. 看病と看取りという修行 13. 四無量心と中道とケア 14. 最期の一息の看取り 15. ふりかえりとまとめ
テキスト	『看護と生老病死』 井上ウイマラ 三輪書店
参考書・参考資料等	『ブッダのサイコセラピー』 M. エプスタイン 春秋社 『人間関係性トレーニング』 ナカニシヤ書店
学生に対する評価	平常点(30%)と参加態度(30%)、期末レポート(40%)で評価する。
その他	動きやすい服装で参加してください。ミニカウンセリングでは、テーブルコーダーなどの録音機器が必要ですので準備しておいてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：障害者福祉の制度と政策・障害者福祉の体系と実践。
企画科目(社会福祉各論(障害者福祉))	
学期	前期
前期	
単位数	2
担当者	山口幸照
授業の概要	障害者に対する支援と障害者自立支援制度を学び、障害者のおかれている社会情勢を理解する。 障害者の生活実態や地域生活の体制を理解し障害者の置かれている立場を考えることとする。 障害者の見方とその背景について理解し、照愛車の定義と概念を理解する。
授業計画	(1). 障害者をとりまく状況と諸問題 (1). 障害者のための総合的対策 (1). 障害者の特性・健康・家族・地域社会 (1). 障害者の法体系 (1). 自立支援支援の体系 (1). 施設サービスと在宅サービス (1). 保健・医療・福祉の連携 (1). 障害者の相談援助活動の実態
テキスト	社会福祉士養成講座「障害者福祉論」中央法規出版
参考書・参考資料等	講義の中で必要に応じ指示する。
学生に対する評価	出席・レポート・筆記試験を総合して評価する。 具体的には、4分の3以上の出席・レポートの提出・筆記試験の内容をすべて考慮し評価する。
その他	出席が少ない場合は不可とする。

科目名	心理学の到達目標及びテーマ 到達目標：心理学の基本的な知識を習得する。 テーマ：フロイトに始まる心理学の系譜に沿って、自我心理学や発達心理学を中心に心理学を理解する。
心の科学Ⅰ (別)	授業の概要 この授業では、心理学全般について紹介する。フロイト由来の自我心理学や発達心理学を中心に、人間の心の成長を考える。人間存在の実相を概観しながら、心のしくみとその成長のプロセスを理解する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション、授業計画の説明、心理学の歴史とその全体的な枠組みの紹介する。 2. 実験心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学など、心理学の多様性とその関連性。 3. フロイトの思想とその人生について。 4. フロイトの考えた意識・無意識の理論、リビドーという概念について。 5. 心的外傷理論、エディプスコンプレックスなど、フロイト由来の様々な概念について。 6. ユング心理学の紹介、アニマ、タナトス等、ユング心理学の独創性。 7. エリクソンの自我心理学、エリクソンの人生と研究との関連性。 8. エリクソンのライフサイクル論について(その1)、乳児期、幼児期初期、児童期。 9. エリクソンのライフサイクル論について(その2)、青年期、前成人期、アイデンティティ考察。 10. エリクソンのライフサイクル論について(その3)、成年期、老年期。 11. ピアジェの子ども発達理論の紹介。 12. プルナーの発達論の紹介。 13. コールバーグの道徳性心理学の紹介。自尊感情、正義、倫理観の発達。 14. ノディングスの「ケアリング」論、「善い」と「正しい」の関連性。 15. まとめ。授業を振り返り、疑問点等、復習する。
前期	テキスト 特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 『フロイト思想のキーワード』小此木啓吾著、講談社現代新書 『エリクソンの人間学』西平直著、東京大学出版会 『アイデンティティ研究の展望 1』、ナカニシヤ書店 『アイデンティティとライフサイクル論』、鐘幹八郎著、ナカニシヤ書店
戸 来 知 子	学生に対する評価 平常点を重視する。小レポートを1回提出してもらう(学期末の試験の成績に加算する)。 その他 毎回、出席をとる。配布した資料や参考文書を必ず読むこと。

科目名	心理学の到達目標及びテーマ 到達目標：心理学とは、どのような学問かを理解し、その基本的な知識を習得する。カウンセリングの理論の基礎知識を学ぶ。 テーマ：フロイト由来の心理学から派生した、様々な心理学の理論を学ぶ。臨床心理学やカウンセリングの分野を中心に学習する。
心の科学Ⅱ (別)	授業の概要 前期の「心理学Ⅰ」に続く授業とする。臨床心理学やカウンセリングの基礎となっている心理学を学習する。また、人間の心の概念の他、性格や人格についても学習する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション。授業の進め方、授業計画。心理学の歴史とその全体像の紹介。 2. 様々な心理学の紹介。現在の臨床心理学の成り立ちについて。 3. 人間の心についての理解。フロイトやユングの心の概念。 4. ライフサイクル論について(エリクソン、レヴィンソン等)。 5. マズローの自己実現の理論。 6. ロジャースのカウンセリング理論(その1)、ロジャースの理論の基礎。 7. ロジャースのカウンセリング理論(その2)、クライアント中心療法。 8. マズローの自己実現の理論の概要。 9. アドラー心理学の基礎理論の紹介。 10. アイゼンクの性格類型論。リコーナの性格の理論について。 11. オールポートの人格心理学の紹介。 12. 様々な心理療法について。認知行動療法。内観法。自由連想法等。 13. パersonalityの障害について。 14. 境界性人格障害について理解を深める。 15. まとめ。疑問点の再確認等。
後期	テキスト 特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 『フロイト思想のキーワード』小此木啓吾著、講談社現代新書 『アイデンティティ研究の展望 1』、ナカニシヤ書店
戸 来 知 子	学生に対する評価 平常点を重視する。小レポートを1回提出してもらう(学期末の試験の成績に加算する)。 その他 毎回、出席をとる。理解を深めるために、授業中に配布する資料を必ず読むこと。

科目名	心理学の到達目標及びテーマ 到達目標：我が国の児童・家族の現状と児童福祉の必要性について学生が十分に理解をすることを到達目標とする。 テーマ：我が国の児童・家族の現状と児童福祉政策の実態
老人福祉論Ⅱ 社会福祉各論Ⅱ (高齢者福祉)	授業の概要 進展する高齢社会は、これから団塊の世代が高齢期になることでいよいよ本格化する。そのような中で社会福祉分野ではじめて社会保険制度による方式つまり介護保険制度が導入された。当然その前提となる福祉理念も大きく変化することとなった。 ここでは、最新の福祉理念を盛り込んだ高齢者福祉制度を学ぶと同時に、高齢者をとりまく医療・保健その他関連制度も学ぶこととする。
学期	授業計画 (1) 少子高齢社会の到来 (1) 高齢者をとりまく状況と諸問題 (1) 高齢者のための総合的対策 (1) 高齢者の特性・健康・家族・地域社会 (1) 老人福祉法・介護保険法・老人保健法 (1) 高齢者生活支援の体系 (1) 施設サービスと在宅サービス (1) ボランティア活動と社会福祉協議会 (1) 高齢者と生きがい・社会参加活動 (1) 保健・医療・福祉の連携 (1) 高齢者の相談援助活動の実例
後期	テキスト 社会福祉士養成講座「高齢者福祉論」中央法規出版
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 講義の中で必要に応じ指示する。
山 口 幸 照	学生に対する評価 出席・レポート・筆記試験を総合して評価する。 具体的には、4分の3以上の出席・レポートの提出・筆記試験の内容をすべて考慮し評価する。 その他 出席が少ない場合は不可とする。

科目名	心理学の到達目標及びテーマ 到達目標：我が国の児童・家族の現状と児童福祉の必要性について学生が十分に理解をすることを到達目標とする。 テーマ：我が国の児童・家族の現状と児童福祉政策の実態
児童福祉各論Ⅰ (児童福祉)	授業の概要 我が国の子どもや家族の現状とニーズを把握し、これに対する社会福祉政策がどのように進展してきたかを概観する。さらに、現在の子どもを取り巻く社会の実態を理解し、諸外国(イギリス・オランダ・ドイツ)の取り組みとの比較を行う。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 授業内容の解説と自己紹介 2. 児童福祉の理念 3. 児童福祉の概念と歴史 4. 現代社会と児童家庭福祉 5. 少子・高齢社会における福祉課題 6. 児童福祉の法体系と実施体制 7. 児童福祉法 8. 母子保健 9. 児童福祉法に基づく障害児の福祉 10. 保育 11. 児童虐待 12. ひとり親家庭の福祉 13. 児童虐待防止と学校の役割 14. 児童福祉援助活動の実例 15. 期末試験
集中	テキスト 『児童虐待防止と学校の役割』信山社 2005 新・社会福祉士養成講座『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度-児童福祉論』中央法規
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 『現代福祉学レクシコン第二版』雄山閣出版 『社会福祉法制要説』有斐閣
齋 藤 尚 子	学生に対する評価 平常点30%(毎回出席を取る)、レポート40%、期末試験30%で評価する。 その他 児童福祉は政治や経済などと大きく関連しているため、社会の動きに関心を持つこと。

科目名 仏教心理学 特殊講義 D	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教における心の論じ方を学び、併せて、現代の脳/心の哲学における論点との接点・乖離点についての知見を得得すること テーマ：仏教における心の論じ方
	授業の概要 心について、ブッダの教えの中では、直き心として、あるいは、日々刻々に移り変わる心として説き示されることがある一方で、(死後)上昇して行く心について説かれることがある。そして、ブッダ以後には、無心と呼ばれる心が、あるいは、覚りを求める心が、教義解釈上の問題となることがある。これらの心を巡る諸議論を考察する。
	授業計画 1. 導入 2. ブッダの言葉の伝承(「経」)から学ぶ「心」 3. (同上、「ダンマパダ」・「スッタニパータ」から) 4. (同上、パーリ・ニカーヤの『マッジマ・ニカーヤ』・「サムユッタ・ニカーヤ」の中から) 5. (同上、漢訳の四阿含の中から) 6. アビダルマ(「論」)において分析された「心」 7. (同上、特に「阿毘達磨俱舍論」における「心」・「心所」分析) 8. 大乘論書において考察された「心」 9. (同上、「無心」から捉える「心」の二側面:「空」なる心と「唯心」の心) 10. (同上、「唯識」という捉え方) 11. 生命倫理の分野における脳/心についての諸論点 12. 脳神経倫理の分野における脳/心についての諸論点 13. 心について考えている心(という言語表現)の問題について 14. (同上) 15. 学年末試験
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	室寺義仁
	参考書・参考資料等 授業の中で、適宜、紹介する。
	学生に対する評価 学年末の論述式試験(60%)と、授業という学術的な対話の場での平常点(40%)で評価する。
	その他

科目名 スピリチュアルケア 援助論 II	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：カウンセリングの基本的知識と技能について学ぶ テーマ：伝える姿勢、聴く姿勢を身につける
	授業の概要 この講義では、カウンセリングの基本的な過程及び基本的知識と技能について学びます。カウンセリングは「傾聴」することが重視されますが、実は、カウンセラーが的確にクライアント(相談者)の感情をまとめ「伝える」こと、また、カウンセラーの「正直な気持ち」を上手に「伝える」ことの方が困難であり、この「伝える」力が問われます。つまり、カウンセリングとは、カウンセラーのコミュニケーション力・社会性によって左右されます。この力は、自己と他者の理解が必要不可欠です。本講義では、コミュニケーション力に力点を置いて、「傾聴」する姿勢について考えていきたいと思います。
	授業計画 1. カウンセリングの定義と種類 2. カウンセリング関係の3段階 3. カウンセラーに求められる条件 4. 「伝える」技術(1) 自身のことについて知る 5. 「伝える」技術(2) アサーション・トレーニング 6. 「伝える」技術(3) 自身のことについて語る 7. 社会性について学ぶ(1) 他者の理解 8. 社会性について学ぶ(2) 他者との関係 9. 社会性について学ぶ(3) 社会と個人の関 10. 「聴く」技術(1) 11. 「聴く」技術(2) 12. 「聴く」技術(3) 13. ロール・プレイング(1) 三者関係としての面接 14. ロール・プレイング(2) 二者関係としての面接 15. まとめ
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	森崎雅好
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 平常点40%、レポート60%
	その他 カウンセリングは、人と人との生きた交流が基本です。交流するためには、コミュニケーション力が求められます。自分自身が自分や他者に「開かれた」態度を有さずして、他者の話や気持ちを聴くことはできません。自己を語り、他者の語りに耳を傾ける、そんな姿勢を身につけてもらいたいと思います。

科目名 スピリチュアルケア 援助論 IV	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：カウンセリングの基礎的知識と技法を、諸理論を学ぶことでさらに知見を広げ、深めていく テーマ：臨床心理学の様々な理論と技能を知る。
	授業の概要 前期で学んだ基本的なカウンセリングの知識や技法を、諸理論を学ぶことでさらに知見を広げ、深めることを目的とします。本講義では、主な臨床心理学の諸理論とその技法を紹介していきます。カウンセリングを行うためには、人間理解のための「理論」が役に立ちます。自身にあった理論と出会い、そして、ある理論を選択することは、その個人の「人間に対する態度」を示しています。自身の人間観と向き合う機会を提供することを本講義の目的としています。
	授業計画 1. ガイダンス：心を理解するための諸理論 2. 精神分析(1) 3. 精神分析(2) 4. 箱庭療法(1) 5. 箱庭療法(2) 6. クライアント中心療法(1) 7. クライアント中心療法(2) 8. 認知行動療法(1) 9. 認知行動療法(2) 10. プレイセラピー(1) 11. プレイセラピー(2) 12. 家族療法(1) 13. 家族療法(2) 14. 臨床現場と理論 15. まとめ
	学期
	後期
	単位数
	2
	担当者
	森崎雅好
	参考書・参考資料等 適時、紹介します。
	学生に対する評価 平常点40%、レポート60%
	その他 本講義で紹介する理論は、基本的な理論です。現在も臨床心理学の理論は日々発展しています。皆さんにとって他の様々な理論を学ぶきっかけになること、自身の人間観を養うことにつながるように、本講義をすすめることもテーマの一つです。

科目名 スピリチュアルケア 講義 演習 I	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の解脱の智慧とキューブラー・ロスの死の受容への5段階説の背景を比較しながら考察することによって、仏教を現代社会に応用実践するための基盤を養う。 テーマ：解脱と死の受容について。
	授業の概要 前半は、テキストを輪読しながら丁寧に吟味する。後半は、5段階の各章を分担して要約しプレゼンテーションしながら議論を深めていく。
	授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方(キューブラー・ロスの人生について) 2. キューブラー・ロスの人生について：ビデオを通した考察 3. 第1章「死の恐怖について」を読む。 4. 第2章「死とその過程に対するさまざまな姿勢」 5. 死念(maraṇasati)について学ぶ 6. 対象喪失理論について 7. 仏教的グリーフ・ケアの可能性を探る 8. 第3章「第一段階：否認と孤立」 9. 第4章「第二段階：怒り」 10. 第5章「第三段階：取り引き」 11. 第6章「第四段階：抑鬱」 12. 第7章「第五段階：受容」 13. 宗教儀礼の意味と可能性を探る 14. 解脱はケアに何を提供するか 15. ふりかえりとまとめ
	学期
	前期
	単位数
	2
	担当者
	井上ウイマラ
	参考書・参考資料等 「人生は廻る輪のように」 E・キューブラー・ロス 角川文庫 「対象喪失」 小此木啓吾 中公新書 「看護と生老病死」 井上ウイマラ 三輪書店
	学生に対する評価 平常点(30%)と参加態度(30%)、期末試験あるいはレポート(40%)で評価する。
	その他

科目名 臨床心理学心理テスト実習Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：発達検査、知能検査の基礎知識とアセスメントを学ぶ。 テーマ：軽度発達障害をもつ子どもの理解と援助
	授業の概要 軽度発達障害（学習障害や注意欠陥/多動性障害、高機能自閉症など）を持つ子どもたちの理解と支援のためには、特に認知的な面での正確なアセスメントが必須です。本講義では、様々な発達検査及び知能検査の基礎的な知識とアセスメントの実際を学びます。受講生が検査者と被験者の役割をとりながら学習を進めます。特に、新版K式発達検査とWISC-Ⅲ知能検査の習熟に焦点をあてています。乳幼児健診での障害の早期発見、学童期以降の軽度発達障害のアセスメントと具体的な援助への応用について、実習と事例を通じて実施法から解釈までを講義します。
	授業計画 各1～4. 発達検査について学ぶ（新版K式・遠城寺式・DAMグッドナイフ人物画など） 5～7. 知能検査について学ぶⅠ（田中ビネー・ITPA・K-ABC） 8～10. 知能検査について学ぶⅡ（WISC-Ⅲ・WPPSI・WAIS） 11. 心理アセスメントの3つの要素（検査技術・解釈・指導への活用） 12. 心理アセスメントの内容（テスト・バッテリー） 13. 報告書の作成方法と結果の伝え方について 14. 発達検査の結果の解釈と指導支援への展開 15. アセスメントから個別の指導計画作成へ
	テキスト 上野一彦他『軽度発達障害の心理アセスメント』（日本文化科学社 2005年）
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 平常点40%、レポート60%
	その他 その他
	担当者 森崎雅好
	学期 前期
単位数 2	

科目名 臨床心理学心理テスト実習Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：心理検査の査定技法の習得を目指す。 テーマ：臨床場面で用いられている投影法・質問紙法の実施方法及び解釈について学ぶ。
	授業の概要 臨床場面で一般に用いられている心理検査（投影法・質問紙法）とともに、査定技法の基礎の習得を目指します。心理査定とは、様々な情報の収集とその分析による求談者の理解及び処遇方針決定のための方法と過程のことをいいます。そのためには、求談者自身の人格特性や発達水準、様々な社会的能力の評価のみならず、その人をとりまく家族力動や環境、さらに援助資源などの外的環境の査定も内容として含まれます。本実習では、投影法・質問紙法を主とした心理テストの実施方法及び解釈方法を学習すること、検査・面接場面での行動観察のポイントを理解することを目標とします。
	授業計画 1. 心理査定とは 2. 心理査定のために必要な情報・面接・心理テスト・観察法について 3～6. 描画法を学ぶ（バウムテスト・人物画・家族画など） 7～9. 風景構成法を学ぶ 10～12. 質問紙法・半投影法を学ぶ（MMPI・SCT・P-Fスタディなど） 13～14. TATを学ぶ 15. まとめ
	テキスト 赤塚大樹他『心理臨床アセスメント入門』（培風館 1996年）
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 平常点40%、レポート60%
	その他 その他
	担当者 森崎雅好
	学期 後期
単位数 2	

科目名 社会福祉原論ⅠⅠ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会経済状況の変化とそれに伴う国民生活の変容に対応して、歴史的に発展してきた社会福祉の概念と役割について理解する テーマ：社会福祉の基礎的理解
	授業の概要 社会福祉全般について、基礎的な事項について学習する。歴史と現状についてわかりやすく解説し、平易に理解することを目的とする。
	授業計画 1. 現代社会と社会福祉その1 2. 現代社会と社会福祉その2 3. 社会福祉の対象分野と福祉ニードその1 4. 社会福祉の対象分野と福祉ニードその2 5. 社会福祉援助活動の意義・組織・方法その1 6. 社会福祉援助活動の意義・組織・方法その2 7. 社会福祉援助活動の担い手その1 8. 社会福祉援助活動の担い手その2 9. 社会福祉の法と行財政その1 10. 社会福祉の法と行財政その2 11. 社会福祉の運営問題その1 12. 社会福祉の運営問題その2 13. 社会福祉運営の原理と枠組みその1 14. 社会福祉運営の原理と枠組みその2
	テキスト 社会福祉士養成講座「社会福祉原論」中央法規出版
	参考書・参考資料等 「社会福祉士のための基礎知識」Ⅰ～Ⅲ 中央法規出版
	学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。
	その他 出席が少ない場合は不可とする。
	担当者 山口幸照
	学期 前期
単位数 2	

科目名 社会福祉原論ⅡⅡ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：わが国の社会福祉の法制度、運営実施体制、施設及び在宅福祉、財政等の仕組みやその具体的な内容について近年の堂宇も含め学習する。 テーマ：社会福祉の具体的な内容を把握する
	授業の概要 社会具駆使の今日的以後及び近年の動向について全体的に理解する。社会福祉援助技術の原理原則を中心に、その具体的方法の概要について学習する。社会福祉士や介護福祉士等の福祉マンパワーの概要を学習する。
	授業計画 1. 社会福祉の運営システムその1 2. 社会福祉の運営システムその2 3. 社会福祉の行政組織その1 4. 社会福祉の行政組織その2 5. 社会福祉法人の組織と運営その1 6. 社会福祉法人の組織と運営その2 7. 社会福祉従事者の現状と課題その1 8. 社会福祉従事者の現状と課題その2 9. 社会福祉供給システムその1 10. 社会福祉供給システムその2 11. 民間福祉サービスの組織と運営その1 12. 民間福祉サービスの組織と運営その2 13. 福祉産業の振興と開発その1 14. 福祉産業の振興と開発その2
	テキスト 社会福祉士養成講座「社会福祉原論」中央法規出版
	参考書・参考資料等 「社会福祉士のための基礎知識」Ⅰ～Ⅲ 中央法規出版
	学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。
	その他 出席が少ない場合は不可とする。
	担当者 山口幸照
	学期 後期
単位数 2	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の言葉の意味や考え、概念規定について学習する。地域福祉は比較的新しい概念である。その内容について学習する。 テーマ：地域福祉の概念と展開方法
地域社会福祉各論Ⅰ(別論Ⅰ)	
〔地域福祉〕	
学期	授業の概要 地域福祉は1990年以降本格的に実体化したものである。しかし、現代では社会福祉実践そのものを指す言葉として使われることが多い。ここでは実質上社会福祉と同義語となった地域福祉の概念と展開方法について学習する。
前期	授業計画 1. 地域福祉のあゆみ 2. 地域福祉の概念 3. 地域福祉の内容 4. 地域福祉の背景 5. 地域福祉の歴史・地域福祉準備期 6. 地域福祉の歴史・体系期 7. 地域福祉の歴史・基盤形成期 8. 地域福祉の歴史・展開期 9. セツルメントの理解 10. コミュニティーケア 11. コミュニティープラン 12. 在宅福祉サービス 13. 福祉ニーズ把握と地域社会 14. 福祉サービスの連携 15. コミュニティー形成・住民参加
単位数	テキスト 社会福祉士養成講座「地域福祉論」中央法規出版
2	参考書・参考資料等 「社会福祉士のための基礎知識」Ⅰ～Ⅲ 中央法規出版
担当者	
山口幸照	学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の目標として福祉コミュニティの形成がある。地域を基盤とした社会福祉をみんなでどのように作っていくのかについて考えたい。 テーマ：地域福祉の方法と実践課題
地域社会福祉各論Ⅱ(別論Ⅱ)	
〔地域福祉〕	
学期	授業の概要 地域福祉実践を展開するには①福祉・保健・医療の整備②福祉・保健・医療の総合化③福祉増進・予防活動の促進④福祉環境の整備⑤住民参加活動の支援が必要となる。この5つを柱に地域福祉実践について学習する。
後期	授業計画 1. 相談・情報提供サービスの総合化 2. ケアマネジメント 3. 老人保健福祉計画 4. 福祉増進・予防活動 5. 福祉環境づくり 6. 住民参加の福祉活動支援 7. ボランティア活動・福祉教育 8. NPOの福祉活動 9. 民生委員・児童委員 10. 社会福祉協議会 11. 社会福祉施設 12. 地域組織化と福祉組織化 13. 公的財源 14. 共同募金 15. 民間財源
単位数	テキスト 社会福祉士養成講座「地域福祉論」中央法規出版
2	参考書・参考資料等 「社会福祉士のための基礎知識」Ⅰ～Ⅲ 中央法規出版
担当者	
山口幸照	学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：他者と共感することの意味を知り、他者と共感し得る感性を養う。 テーマ：スピリチュアルケアとは、あらゆる場面・状況下にあっても、他者と共感することが最も大切であるため、「共感」「共鳴」の意味を知り、できるだけあらゆるものと共感・共鳴できる感性と直感を身につけるための実際の訓練を行います。
仏教スピリチュアルケア援助論Ⅶ	
学期	授業の概要 授業テーマに即して、共感・共鳴することの意味を知るために、音楽や文学や武道などが持っている精神性の深さを身をもって受容する訓練を行う。
後期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 詩の朗読を通して自分の「音」(声)探しをする。 3. 同上 4. 読経することによる呼吸法と発声の訓練を行う。 5. 同上 6. 同上 7. 俳句や短歌、川柳の読解力を訓練することによって「共感」の意味を知る。 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 以上の訓練が実際のスピリチュアルケアの現場でどのように生かされるかについて考える。 15. 同上
単位数	テキスト 必要に応じて授業時にコピーして配布する。
2	参考書・参考資料等 必要に応じて授業時に紹介する。
担当者	
前谷彰	学生に対する評価 出席率と授業時の態度とで総合的に評価する。筆記試験もレポートもなし。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：悲しみに寄り添う姿勢について「考える」力を身につける。 テーマ：グリーフケアを学ぶ
仏教スピリチュアルケア援助論Ⅷ	
学期	授業の概要 「グリーフ(grief)」は「悲嘆」を意味し、この悲嘆を受け入れる作業を「グリーフワーク」と言います。また、「グリーフケア」とは、その作業を支援することを指します。人生には必ず出会いと別れがあり、常にこの「悲嘆」と向かい合うことの連続です。生老病死を「苦」と捉え、その苦からの解放を説く仏教を学ぶことは、臨床の現場に大きな示唆を与えてくれます。本講義は、「グリーフケア」について、心理学的観点を踏まえつつ、適時、仏典をひも解きながら、ケアの姿勢の在り方を一緒に考えていきたいと思います。
後期	授業計画 1. 死と死別について 2. 悲嘆について 3. 誕生と死(1) 4. 誕生と死(2) 5. 老いと死(1) 6. 老いと死(2) 7. 病と死(1) 8. 病と死(2) 10. 犯罪被害と複雑性悲嘆(1) 11. 犯罪被害と複雑性悲嘆(2) 12. 自殺と自死遺族支援(1) 13. 自殺と自死遺族支援(2) 14. グリーフケアと仏教(1) 14. グリーフケアと仏教(2) 15. まとめ
単位数	テキスト 適時、紹介する。
2	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
担当者	
森崎雅好	学生に対する評価 平常点40%、レポート60%
	その他 悲嘆の支援は、支援者自身の「いのち存在」への姿勢が問われます。すなわち、自身の人間観、人生観、死生観をしっかりと認識することが求められます。常に自と他の「いのち」について考える姿勢をもって、講義に臨んでください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の題目設定から始め、論文を作成遂行する上での各段階を順次乗り越えて行くこと。 テーマ：卒業論文作成の実際。
スピリチュアルケア演習Ⅱ-1	
学期	
前期	
単位数	
1	テキスト 使用しない。
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて、適宜、紹介する。
室寺義仁	学生に対する評価 各受講生の卒論作成遂行過程での発表内容を主とした平常点で70%、学期年レポートで30%の評価割合をもって総合的に評価を行う。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の題目設定から始め、論文を作成遂行する上での各段階を順次乗り越えて行くこと。 テーマ：卒業論文作成の実際。
スピリチュアルケア演習Ⅱ-2	
学期	
後期	
単位数	
1	テキスト 使用しない。
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて、適宜、紹介する。
室寺義仁	学生に対する評価 各受講生の卒論作成遂行過程での発表内容を主とした平常点で70%、年度末試験で30%の評価割合をもって総合的に評価を行う。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文を作成するために必要なアイデアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成員力を養う。 テーマ：卒業論文作成のための準備トレーニング
スピリチュアルケア演習Ⅱ-3	
学期	
前期	
単位数	
1	テキスト なし。
担当者	参考書・参考資料等 そのつど必要に応じて紹介する。
井上ウイマラ	学生に対する評価 平常点(30%)と参加態度(30%)、作成したレポート(40%)によって評価する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：各自のテーマに従って先行研究を整理し、自らの分析を施し、論文として形作ってゆく作業を通して大学で学んだことを結果にしてゆく。 テーマ：卒業論文作成の実際
スピリチュアルケア演習Ⅱ-4	
学期	
後期	
単位数	
1	テキスト なし。
担当者	参考書・参考資料等 各自のテーマに応じて、そのつど適宜紹介する。
井上ウイマラ	学生に対する評価 平常点(20%)と参加態度(20%)、作成した論文(60%)によって評価する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文のテーマを決定し、実験、観察、調査、テスト、面接などを実施する。4回生対象。 テーマ：卒業論文作成の実際
臨床心理学演習Ⅱ-1	
学期	
前期	
単位数	
1	テキスト なし
担当者	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
森崎雅好	学生に対する評価 平常点30%、各自の取り組み（授業での発表、レポート作成）70% その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の作成。4回生対象。 テーマ：卒業論文作成の実際
臨床心理学演習Ⅱ-2	
学期	
後期	
単位数	
1	テキスト なし
担当者	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
森崎雅好	学生に対する評価 平常点30%、各自の取り組み（授業での発表、レポート作成）70% その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：・動画の撮影・編集を学ぶ。 ・チームで協力して作業することを学ぶ。 テーマ：・インタビュー映像（前半） ・ショートムービー（後半）
総合科目「デジタルアーカイブ」	
学期	
前期	
単位数	
2	テキスト 必要に応じ授業中にプリントを配布する。
担当者	参考書・参考資料等 授業中に紹介する。
藤吉圭二	学生に対する評価 ・映像のできばえをチームごとに評価し、メンバーについてはチームリーダーによる評価を加味する。 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
学期	
単位数	
	テキスト
担当者	参考書・参考資料等
	学生に対する評価
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：英語情報の入手
英語Ⅲ-1〔留学用〕	
授業の概要	インターネットを占める言語は70%近くが英語である。そこには多方面にわたる英語情報が含まれている。この授業では、学生諸君にとって役立つと思われる英語情報の入手の仕方、およびその内容を理解することを学ぶ。
授業計画	前期は主に検索方法、英語情報の入手の説明を中心とし、ネット上の簡単な英文を読むことにする。
学期	
前期	
単位数	
1	テキスト テキストはありませんが、USBメモリーを用意すること。
担当者	参考書・参考資料等
高倉正行	学生に対する評価 出席状況と提出物で評価する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：英語情報の整理と読解
英語Ⅲ-2〔留学用〕	
授業の概要	インターネットを占める言語は70%近くが英語である。そこには多方面にわたる英語情報が含まれている。この授業では、学生諸君にとって役立つと思われる英語情報の入手の仕方、およびその内容を理解することを学ぶ。
授業計画	後期は主に英字新聞を読んでいます。易しい内容のものから徐々に難しい内容の英文に進んでいきます。
学期	
後期	
単位数	
1	テキスト テキストはありませんが、USBメモリーを用意すること。
担当者	参考書・参考資料等
高倉正行	学生に対する評価 出席状況と提出物で評価する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教、特に真言密教に関する英文テキストを読むことを通じて現代社会における宗教の意味を考察する。 テーマ：英文を通じて真言密教の文化と教えを再確認
英語Ⅳ-1〔大学院特進〕	
授業の概要	最近、真言密教に関する優秀な論文が英語で発表されている。いくつかのそのような論文を読んで、正しく和訳する上、英文でどのように真言密教の歴史・文化・教義・観法などを表現できるか、またその結果を海外布教に展開するのみならず、それによって日本の現代社会における宗教の意味を再確認する。阿字観についての論文を今回予定している。
授業計画	1. オリエンテーション、英語読解能力を査定する 2. 英文テキストを配布して、内容を英語と日本語で講義して、講読を開始する。 3～15. 以下、英訳テキストにもとづいて和訳を試みて、内容についてディスカッションを行う。
学期	
前期	
単位数	
1	テキスト Nicoloff, Philip L., Sacred Kōyasan. をコピーで配布 Payne, Richard K., "Ajikan: Ritual and Meditation in the Shingon Tradition" をコピーで配布
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて授業で指示する
T・ドライトライン	学生に対する評価 レポート60%; 出席含む平常点40% その他 参加型の授業で、受講生全員は毎回該当のテキストの和訳と研究を予習する。 上級の英文能力が必要。授業を日本語と英語両方で進める。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教、特に真言密教に関する英文テキストを読むことを通じて現代社会における宗教の意味を考察する。 テーマ：英文を通じて真言密教の文化と教えを再確認
英語Ⅳ-2〔大学院特進〕	
授業の概要	最近、真言密教に関する優秀な論文が英語で発表されている。いくつかのそのような論文を読んで、正しく和訳する上、英文でどのように真言密教の歴史・文化・教義・観法などを表現できるか、またその結果を海外布教に展開するのみならず、それによって日本の現代社会における宗教の意味を再確認する。阿字観についての論文を今回予定している。
授業計画	1. オリエンテーション、英語読解能力を査定する 2. 英文テキストを配布して、内容を英語と日本語で講義して、講読を開始する。 3～15. 以下、英訳テキストにもとづいて和訳を試みて、内容についてディスカッションを行う。
学期	
後期	
単位数	
1	テキスト Nicoloff, Philip L., Sacred Kōyasan. をコピーで配布 Payne, Richard K., "Ajikan: Ritual and Meditation in the Shingon Tradition" をコピーで配布
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて授業で指示する
T・ドライトライン	学生に対する評価 レポート60%; 出席含む平常点40% その他 参加型の授業で、受講生全員は毎回該当のテキストの和訳と研究を予習する。 上級の英文能力が必要。授業を日本語と英語両方で進める。

科目名	中国語Ⅰ(初級) / 中国語Ⅱ(初級)
	中国語Ⅰ(初級)
	中国語Ⅱ(初級)
	中国語Ⅰ(初級)
	中国語Ⅱ(初級)
学期	前期 / 通年 / 後期
単位数	1 + 1
担当者	土生川正賢
授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 「学問のための学問」ではなく、実社会で少しでも使える語学の習得を目指す。外国語学習を通して母国語と自国文化をより深く理解し、国際的な広い視野をもった人材を養いたい。 テーマ: 中国語の基礎学習 ニーハオから始めよう!	
授業の概要 視覚的に「漢文」として中国語をとらえるのではなく「聞く」「話す」に重点をおいた授業を行う。 正確な発音をマスターし、日常の挨拶語や平易な文など基本的文型の修得を目指す。	
授業計画 【前期】 1. 年間授業計画の説明。中国に関する一般常識、中国語の特性、外国語学習の方法と意義など。 2. 「四声」と呼ばれる声調と、中国語の発音記号「ピンイン」の習得。徹底的な発音練習。 3. 中国独特の漢字「簡体字」の学習。 4. 「四声」と「ピンイン」の習得。電子辞書を含む中国語辞書の紹介と使い方の説明。 5. 「簡体字」と「ピンイン」で書いた受講者のネームカードを配り、名前を使った発音練習。以後出欠は中国語でとる。 6. 「四声」「ピンイン」「簡体字」をある程度習得すれば、テキストに従って挨拶や基本的な文型を学習する。 7-14. テキストを中心とした授業。ノートではなく記憶に残すような授業につとめる。 テキストは前期中に第1~4課を学習する予定(学生の理解度により随時学習単元を増減)。ただし文法解説は必要最低限とし、「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。常用文の暗誦(文章丸暗記こそ語学習得の近道!)を義務付ける。机上の学問ではなく実際に使える中国語の習得をめざす。 15. 後期試験について。アンケート。	
テキスト 『はじめまして!中国語』白水社 喜多山幸子 鄭幸枝 著 ※生協で購入	
参考書・参考資料等 辞書(小学館の『中日辞典』など)はぜひとも購入してもらいたい。電子辞書やその他参考書籍についても授業中随時紹介する。その都度必要な資料を作成、配布する。	
学生に対する評価 ①試験(評価50%) : ②授業中の発表や受講態度(評価25%) : ③出欠状況(評価25%)を基準とし、総合的に判定する。但し、中国語に自信のある学生は出欠を問わず試験に合格すれば及第点は与える。	
その他 聞けぬ話せぬ語学では実社会では役に立たない。受講者の大部分は文法学者ではなく、多少とも実際に使える語学を志していると考え。簡単な挨拶文から始めるので、学生諸君には積極的に会話する姿勢を要求したい。	

科目名	中国語Ⅰ(上級) / 中国語Ⅱ(上級)
	中国語Ⅰ(上級)
	中国語Ⅱ(上級)
	中国語Ⅰ(上級)
	中国語Ⅱ(上級)
学期	前期 / 通年 / 後期
単位数	1 + 1
担当者	土生川正賢
授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 国際的な視野をもち、中国語を使って仕事ができる人材を育成したい。我が国の歴史・文化・政治的立場等を、中国語で堂々と主張できる国際人の養成。 テーマ: 実践的中国語 中国語で意思表示しよう!	
授業の概要 基本的には初級クラスの延長であり、受講生の語学力にあわせた個別指導を行うので安心して受講して頂きたい。各々のレベルに応じて、実践的な中国語を修得できるよう指導する。	
授業計画 【前期】 1. 年間授業計画の説明。初級クラスで学んだ中国語の発音と基本的文型など、語学力のチェックと復習。 2. 初級クラスで学んだ中国語の基礎復習。発音の再チェック。辞書・参考文庫の紹介。 3-8. 初級クラス同様「聞く」「話す」に重点を置き、文法の基礎固めをしながら、初級でやり残したテキスト単元を学習。 9-14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 実際に使える中国語の習得をめざす。そのためには、目で中国語を「見る」のではなく、常用文を暗誦することにより「聞く」「話す」という「音」に重点をおいた授業を行う。 常用文を活用し、学生個々が中国語で自己の意思表示ができるようにつとめたい。 ヒアリング能力向上のため、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。 15. 前期試験について。アンケート。	
テキスト 初級クラスで使った教科書の未修単元。 今年度は『はじめまして!中国語』白水社 喜多山幸子 鄭幸枝 著 ※生協で購入	
参考書・参考資料等 上記テキスト全単元学習した後は、その都度必要な教材・資料を配布する。 電子辞書やその他参考書籍は授業中随時紹介する。辞書は毎回必携(電子辞書可)。	
学生に対する評価 筆記試験と中国語による個別面接試験、授業中の発表やレポート、受講態度に出欠状況を加味して総合的に判定する。但し、中国語に自信ある学生は、出欠にかかわらず試験に合格すれば及第点は与える。	
その他 上級クラスではあるが、受講生のレベルにあわせた個別指導を心がけるのでご心配なく! 諸君の先輩の中には北京大・復旦大・中山大など中国の一流の大学院に国費留学し学位取得した者もいる。井の中の蛙で終わらないでほしい。できる限り中国語を用いて中国語の講義をしたい。諸君の自発的な授業参加を希望する。	

科目名	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
学期	前期
単位数	1
担当者	前谷彰
授業の到達目標及びテーマ 到達目標: サンスクリット語の単文読解能力を身につける テーマ: サンスクリット音論トレーニング	
授業の概要 サンスクリット語における音論を中心にして、サンスクリット語という言語のダイナミズムに触れ、ことばの本質的世界の楽しさを味わうことのできる感性を養っていきます。	
授業計画 1. 導入: サンスクリット語とはどのような言語であるかについて解説する。 2. サンスクリット語のアルファベットとデーヴァナーガリー文字について学習する。 3. Guza・V 3dधि法則を中心とした音論に関する知識を深める。 4. 動詞の現在組織(Present)に関する知識を養う。 5. 語根類推トレーニングを行う。 6. 同上 7. 同上 8. 連声(Sandhi)法則についての知識を深める。 9. 同上 10. 以上の知識をもとに、短文読解の訓練を行う。 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 代名詞の特徴について解説。前置詞や副詞等についての知識を深める。 15. 総まとめ	
テキスト 担当者作成の『サンスクリット語サブグラマー』辻直四郎『サンスクリット文法』岩波全書(各自生協で注文購入すること)	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価 平常点(20%)、授業態度(20%)、期末試験(60%)で評価する。	
その他	

科目名	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
	サンスクリット語Ⅰ(別)
学期	後期
単位数	1
担当者	前谷彰
授業の到達目標及びテーマ 到達目標: サンスクリット語における動詞の組織や、名詞造語法および複合語のしくみについての知識を深めることによって、単文読解能力を身につけ、実際の仏教経典の翻訳の世界がどのようなものであるかについて解説を行う。	
授業の概要 サンスクリット語の単文を和訳するトレーニングを行うが、前期で学習した内容を特に音論を中心に復習・反復しながら単文読解能力を身につけていく。	
授業計画 1. 動詞組織およびその語尾変化等について、慣れる方法を詳細に説明する。 2. 複合語(Compound)の知識を深め、そのトレーニングを行う。 2. 同上 3. 同上 4. 単文読解のトレーニングを行う。 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 仏教文献(『法華経』)の読解能力を身につける。 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 総まとめ	
テキスト 担当者作成の『サンスクリット語サブグラマー』辻直四郎『サンスクリット文法』岩波全書 サンスクリット語辞書(授業時に指示する)	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価 平常点(20%)、授業態度(20%)、期末試験(60%)で評価する。	
その他	

科目名 サンスクリット語Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：文法の基礎と応用を学び、サンスクリット文学を独学できるようにするために必要な実践的知識（文法書・辞書の使用法）を習得することを目標とする。	
	テーマ：仏教の韻文作品、散文作品を読む	
	授業の概要	
	サンスクリット語の精緻な文法体系に慣れ親しみ、読解のためのコツをつかんでインド古典の深みをあじわうことをめざす。前期はサンスクリット語初級の授業において培った基礎を確認した後、基礎的な短文からはじめて、簡単な仏典作品の読解を通じて、文章把握の手がかりをつかむ。後期は、基礎的な散文を学ぶために、平易かつ正確なサンスクリット表現で定評のある、ラトナー・カラチャーヤンティの著作などを読む。授業のレベルおよび読解する作品は、出席者の希望を尊重する。	
	授業計画	
	【前期】	【後期】
	1. 導入	1. インド古典概論
	2. 基礎文法の確認 1	2. サンスクリットの散文、注釈 文献の様式
	3. 基礎文法の確認 2	3. 散文作品読解 1
4. 短文読解練習 1	4. 散文作品読解 2	
5. 短文読解練習 2	5. 散文作品読解 3	
6. 短文読解練習 3	6. 散文作品読解 4	
7. 短文読解練習 4	7. 散文作品読解 5	
8. 仏典作品を読む 1	8. 散文作品読解 6	
9. 仏典作品を読む 2	9. 散文作品読解 7	
10. 仏典作品を読む 3	10. 散文作品読解 8	
11. 仏典作品を読む 4	11. 散文作品読解 9	
12. 仏典作品を読む 5	12. 散文作品読解 10	
13. 仏典作品を読む 6	13. 散文作品読解 11	
14. 仏典作品を読む 7	14. 散文作品読解 12	
15. テスト	15. テスト	
学期	1 2 1	
通年	前期 後期	
単位数	1 2 1	
担当者	加納和雄	
加納和雄	テキスト テキストは、コピー配布する。	
	参考書・参考資料等 ランマン『サンスクリット読本』。辻直四郎『サンスクリット文法』岩波書店。 G.A. Tubb, Scholastic Sanskrit: A Handbook for Students, Columbia Univ Pr 2007.	
	学生に対する評価 授業中の発表など 30%、出席 30%、テスト(前期・後期に各一回ずつ) 40%	
	その他 サンスクリット語の基礎に自信のない学生も歓迎します。	

科目名 チベット語Ⅰ/チベット語Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】古典チベット語の基礎文法の習得 【後期】簡単な文学作品にたしきながら古典チベット語の文献の読解力を養う。	
	テーマ：【前期】チベット語文法入門 【後期】チベット語文法に親しむ	
	授業の概要	
	はじめてチベット語を学ぶ人のための入門クラス。前期は、文字の書き方や、古典チベット語の文法の基礎を解説しながら、チベット語の特徴を学ぶ。また、発音やアクセントについてはラサ地方の口語チベット語を参考にしながら、チベット語の生きた姿にも慣れ親しむ。後期は、前期の講義で学習した文法を復習しながら、仏典、伝記、詩を中心に、チベット語(文語)の文献を少しずつ読む。チベットの文化に興味のある方、卒業論文でチベット語の資料を扱う方は受講してください。	
	授業計画	
	【前期】	【後期】
	1. オリエンテーション	1. 導入
	2. 文字を学ぶ	2. 重要文法事項の再確認
	3. 構字法と発音(1)	3. チベット語短篇作品を読む-仏典-(1)
4. 構字法と発音(2)	4. チベット語短篇作品を読む-仏典-(2)	
5. 辞書の引き方	5. チベット語短篇作品を読む-仏典-(3)	
6. 名詞、人称代名詞	6. チベット語短篇作品を読む-仏典-(4)	
7. 数詞と数の表現	7. チベット語短篇作品を読む-仏典-(5)	
8. 指示代名詞と形容詞	8. チベット語短篇作品を読む-仏典-(6)	
9. 動詞と助動詞(1)	9. チベット語短篇作品を読む-仏典-(7)	
10. 動詞と助動詞(2)	10. チベット語短篇作品を読む-仏典-(8)	
11. 動詞と助動詞(3)	11. チベット語短篇作品を読む-韻文作品-仏典-(9)	
12. 格助辞(1)	12. チベット語短篇作品を読む-韻文作品-仏典-(10)	
13. 格助辞(2)	13. チベット語短篇作品を読む-韻文作品-仏典-(11)	
14. その他の辞、副詞	14. チベット語短篇作品を読む-韻文作品-仏典-(12)	
15. 疑問代名詞、関係代名詞	15. テスト	
学期	1 2 1	
通年	前期 後期	
単位数	1 2 1	
担当者	加納和雄	
加納和雄	テキスト コピーを配布する。 H.A. イェシュケあるいはチャンドラ・ダスの『蔵英辞典』(臨川書店)をどちらも購入のこと。	
	参考書・参考資料等 山口瑞鳳『[概説]チベット語文法』(春秋社) 松本栄一・奥山直司『チベット[マンドラの国]』(小学館) ※その他、必要に応じて講義の中で指示します。	
	学生に対する評価 授業中の発表など 30%、出席 30%、テスト 30%	
	その他	

科目名 体育実技Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ	
	自らの健康・体力の保持増進を図るための素地を養い、良好な人間関係や社会性を身につけることを目的とする。	
	授業の概要	
	【前期】バレーボールを中心に団体競技のゲームを楽しみながら、仲間づくりと生涯スポーツとして親しめるように指導。	
	【後期】バドミントンを中心に対人競技のゲームを楽しみながら、仲間づくりと生涯スポーツとして親しめるように指導。	
	授業計画	
	【前期】	【後期】
	1. 体育授業についての諸注意	1. バドミントンのルール説明・諸注意
	2. 基礎動作の徹底	2. ゲームを楽しみながら、技術を磨く
	3. 同上	3. パートナーづくりとゲームを楽しむ、メンタル面を学ぶ
4. 班別にチームづくり・ゲームを楽しむ	4. 同上	
5. 協力してゲームを楽しむ	5. 同上	
6. 同上	6. 同上	
7. チームメイトと一体となる動きを確認しながらゲームを楽しむ	7. 同上	
8. 同上	8. 同上	
9. チームを再編成して、ゲームを楽しむ	9. 同上	
10. チームメイトと一体となる動きを確認しながらゲームを楽しむ	10. 同上	
11. 同上	11. 同上	
12. 同上	12. 同上	
13. 同上	13. 同上	
14. 実技試験	14. 実技試験	
15. チームメイトと協力して、ゲームを楽しむ	15. パートナーづくりとゲームを楽しむ	
学期	1 2 1	
通年	前期 後期	
単位数	1 2 1	
担当者	中村哲二	
中村哲二	テキスト 特になし	
	参考書・参考資料等 該当せず	
	学生に対する評価 実技試験、出席状況による総合評価	
	その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ		
	到達目標： テーマ：		
	授業の概要		
	授業計画		
	学期	1 2 1	
	単位数	1 2 1	
	担当者	中村哲二	
	中村哲二	テキスト 特になし	
		参考書・参考資料等 該当せず	
		学生に対する評価 実技試験、出席状況による総合評価	
	その他		

科目名 宗教思想史Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：旧約聖書についての基礎的知識を獲得する。 テーマ：旧約聖書の宗教思想
	授業の概要 旧約聖書の宗教思想を概説します。旧約聖書という書物の性格を概観した後、天地創造神話をはじめとする様々な内容を持つ宗教思想的な意味を解説します。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 旧約聖書とは？ 3. 天地創造神話の概要 4. 天地創造神話の意味 5. 神の似姿としての人間 6. 旧約聖書における人間の位置と現代 7. アブラハムによるイサクの献供 8. 出エジプトの物語 9. 十戒 10. 十戒の意味（1） 11. 十戒の意味（2） 12. 罪と許し 13. 智恵文書の思想 14. 預言者たちの言葉 15. まとめ
	学期 前期
	単位数 2
担当者	参考書・参考資料等 関根清三『倫理の探索』中公新書
山脇雅夫	学生に対する評価 平常点40点、小テスト20点、期末テスト40点
	その他

科目名 宗教思想史Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：キリスト教の宗教思想について、基礎的知識を獲得する テーマ：キリスト教の宗教思想
	授業の概要 キリスト教の宗教思想を概説します。近年明らかになってきた、イエスという人物の歴史的事実を紹介した後、キリスト教の教理を解説します。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 新約聖書とは？ 3. 史的イエスの問題 4. マルコの福音書の問題 5. イエスの生涯 6. 宗教批判者としてのイエス 7. イエスの思想 8. ユダヤ教イエス派からキリスト教へ 9. ペテロ 10. パウロ 11. キリスト教教理の成立（1）ニカイア前史 12. キリスト教教理の成立（2）三位一体の神 13. キリスト教教理の成立（3）三位一体論の存在論 14. キリスト教教理の成立（4）キリスト論 15. まとめ
	学期 後期
	単位数 2
担当者	参考書・参考資料等 田川建三『イエスという男』（三一書房）、坂口ふみ『個の誕生』岩波書店
山脇雅夫	学生に対する評価 平常点40点、小テスト20点、期末テスト40点
	その他

科目名 世界宗教Ⅰ （別）	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：「聖なるもの」をキーワードに、東洋人の宗教観を理解する。 テーマ：「聖なるもの」を考える - ネパール・カトマンДУ盆地の宗教を中心に-
	授業の概要 ネパールのカトマンДУ盆地では、仏教とヒンドゥー教が混在して信仰され、独特の宗教形態を形成しています。この講義では、その実態を紹介しながら、「聖なるもの」をテーマに、東洋人の宗教観を理解し、宗教とは何かを探ります。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 世界にはどんな宗教があるのか？ 3. 仏教の歴史とアジア各地への伝播 4. ネパールってどんな国？ 5. カトマンДУ盆地の宗教 (以下13回まで、教科書のトピックスに基づき講義を進めます) 6. 死を愛する者 7. 輪廻 8. 仏塔と宇宙 9. 〃 10. 曼荼羅と自己 11. 〃 12. 自然と聖なるもの 13. 〃 14. 「聖なるもの」とは何か？ 15. まとめ
	学期 前期
	単位数 2
担当者	参考書・参考資料等 田中公明・吉崎一美『ネパール仏教』（春秋社） ※その他、講義の中で指示します。
川崎一洋	学生に対する評価 平常点50点、レポート50点。
	その他 ネパールに旅行することをおすすめします。

科目名 世界宗教Ⅱ （別）	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：さまざまな宗教の死生観を理解する。 テーマ：死後の世界を考える
	授業の概要 教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』は、高野山・蓮華定院の住職である添田隆昭師が、弘法大師の入定信仰を出発点として、「死後の世界」について調査、思索されたその記録です。当講義では、『大師はいまだおわしますか』を読みながら、西洋人、東洋人、そして日本人の死生観を考えます。洋の東西や時代を問わず、たくさんの文献や書籍が参照されていますので、それらにできるだけ目を通しながら講義を進めていきます。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 弘法大師の入定信仰（大師との出会い / 「入定留身」誰が、いつ、どのようにして思いついたか） 3. 臨死体験①（臨死体験の発見—レイモンド・ムーディ研究—） 4. 臨死体験②（キューブラー・ロスの支持 / ワトソンの疑問） 5. 臨死体験③（ブラックモアの批判 / 立花隆の反論） 6. インド人の死生観（インド人の臨死体験 / 臨死体験記としての日本霊異記） 7. 仏教の死生観（輪廻転生説の行方） 8. 日本人の死生観①（日本人のあの世 / 怒れる神） 9. 日本人の死生観②（日本人にとって仏教とは） 10. 日本人の死生観③（法然・親鸞両祖と戒律） 11. 日本人の死生観④（恵信尼） 12. 日本人の死生観⑤（戒名） 13. 死後の世界を考える①（父の死 / 死者の行方） 14. 死後の世界を考える②（あの世から現れる死者 / 在すが如く死者は語る / 夢に現れる大師） 15. まとめ ※（ ）内は教科書におけるトピックスです。
	学期 後期
	単位数 2
担当者	参考書・参考資料等 添田隆昭『大師はいまだおわしますか』（高野山出版社） 講義の中で指示します。
川崎一洋	学生に対する評価 平常点50点、レポート50点。
	その他 教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』の中には、たくさんの文献や書籍が出てきますので、それらにできるだけ目を通すように心掛けてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：「修験道」と呼ばれる宗教形態の歴史を学ぶことにより、日本の宗教の歴史を理解する。 テーマ：修験道を学ぶ
宗教の歴史Ⅰ(別)	授業の概要 平成16年(2004)、高野山が吉野、熊野とともに「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産に登録されました。これらの地域の文化に大きな影響を与えているのが、「修験道」といわれる宗教形態です。当講義ではその修験道の教理と歴史を学ぶことにより、日本の宗教の歴史、日本人の宗教観や精神文化などを理解します。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 日本の仏教史 3. 神道の歴史 4. 山の宗教 5. 宗教と修業 6. 神仏習合の歴史 7. 役行者伝 8. 真言密教と修験道 9. 天台密教と修験道 10. 山伏のファッション 11. 大峰山の歴史 12. 大峰修業 13. 各地の修験道の霊場 14. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 15. まとめ
前期	テキスト 田中利典・正木晃『はじめての修験道』(春秋社)
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 宮家準『修験道 その歴史と修業』(講談社学術文庫) 五来重『山の宗教 修験道案内』(角川ソフィア文庫) など
川崎一洋	学生に対する評価 平常点50点、レポート50点。 その他 大峰山や石鎚山などの修験道の行場実際に登ってみることをおすすめします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：世界のさまざまな宗教において実践される巡礼について、それを通して各宗教の教理と歴史を理解する。 テーマ：世界の巡礼とその歴史 - 四国遍路を中心に -
宗教の歴史Ⅱ(別)	授業の概要 日本で巡礼といえば、「四国八十八ヶ所霊場」や「西国三十三観音札所」を巡るコースが有名ですが、世界各地には、さまざまな宗教に属する多様な巡礼の文化が残されています。当講義では、四国遍路を中心に世界の巡礼の歴史を概観し、宗教と巡礼の関わりを学びます。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 四国遍路の歴史と諸相① 3. 四国遍路の歴史と諸相② 4. 四国遍路の歴史と諸相③ 5. 四国遍路の歴史と諸相④ 6. 四国遍路の歴史と諸相⑤ 7. 観音霊場巡礼の歴史と諸相① 8. 観音霊場巡礼の歴史と諸相② 9. 世界にはどんな宗教があるか? 10. チベット仏教における巡礼 11. 中国における仏教聖地巡礼 12. ヒンドゥー教の巡礼 13. イスラム教徒の巡礼 14. ヨーロッパにおけるキリスト教の巡礼 15. まとめ
後期	テキスト 四国遍路と世界の巡礼研究会編『四国遍路と世界の巡礼』(法蔵館)
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 頼富本宏『四国遍路とはなにか』(角川選書) ※その他、講義の中で指示します。
川崎一洋	学生に対する評価 平常点50点、レポート50点。 その他 四国霊場をはじめ、世界各地に残る巡礼コースを実際に巡ってみることをおすすめします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：文語文法(古典文法)の知識を習得する。 テーマ：活用とはどのような現象か。
国文法Ⅰ	授業の概要 活用語することばとして、動詞・形容詞・形容動詞(以上用言)・助動詞があるが、前期はおもに文法の基礎となる用言の活用を学習する。教員が作成した概説と具体的な問題を解くという形で授業を展開する。文法をわかりやすく解説します。
学期	授業計画 1. 文法の必要性 2. 文語文法と口語文法のちがい 3. 文節とはなにか 4. 動詞とはどのような品詞か 自動詞と他動詞 5. 動詞の活用(1) 四段活用 6. 動詞の活用(2) 上一段活用と上二段活用 7. 動詞の活用(3) 下一段活用と下二段活用 8. 動詞の活用(4) 変格活用 ナ変とラ変 9. 動詞の活用(5) 変格活用 サ変とカ変 10. 形容詞とはどのような品詞か 11. 形容詞のク活用とシク活用 12. 形容動詞とはどのような品詞か 13. ナリ活用とタリ活用 14. 用言の総合問題 15. まとめ
前期	テキスト 教員が作成した教材を毎時間配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 適宜紹介する。高校で使用した文法書を持参することを希望する。
下西忠	学生に対する評価 平常点(30点)と数回の小テスト(70点) その他 国語の教職免許状をとりたい学生は必ず受講してください。文法の正しい知識がなければ、教壇にはたてません。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：正しい敬語の使い方を学ぶ。 テーマ：敬語
国文法Ⅱ	授業の概要 敬語社会の日本において正しい敬語の知識を習得することは必須である。尊敬語・謙譲語・丁寧語とはどのようなものかを学ぶ。古典の敬語の知識も学べけれど、とくに現代における敬語も時間をかけて講義したい。実践問題を解きながら、なぜ敬語を使うのか、またその用法はどうかなどを学ぶことにする。
学期	授業計画 1. 敬語とはなにか なぜ敬語を使うのか 2. 敬意の主体(誰が)と対象(誰に) 3. 尊敬語とはどのようなものか(1) 4. 尊敬語とはどのようなものか(1) 5. 謙譲語とはどのようなものか(1) 6. 謙譲語とはどのようなものか(2) 7. 丁寧語とはどのようなものか 8. 総合問題(1) 9. 総合問題(2) 10. 「申す」の正しい使い方 11. どのような場合に「お」をつけるか 12. 確認テスト 13. 総合問題(3) 14. 総合問題(4) 15. まとめ
後期	テキスト 教員が作成した教材を毎時間配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 適宜紹介する。高校で使用した文法書を持参することを希望する。
下西忠	学生に対する評価 平常点(30点)と数回の小テスト(70点) その他 国語の教職免許状をとりたい学生は必ず受講してください。文法の正しい知識がないと教壇にはたてません。

科目名 国語学講義Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：語りとしての物語（小説）テキストの生成の機構について理解を深める テーマ：物語構造と物語テキスト
	授業の概要 これまでの研究を踏まえた、物語構造に基づいた、語りとしてのテキスト生成の機構を導き出し、語りの見地から物語（小説）テキストの分類を行う。さらに、いくつかの物語（小説）作品の構造を実際に分析する。物語以外の「語り物」との比較も行う。映画、演劇、漫画等の「語り」についても触れたい。
	授業計画 1. 物語テキストと日常会話テキスト 2. 物語テキストの目印 3. 物語構造モデル（1） 4. 物語構造モデル（2） 5. 語りとしての物語（小説）テキストの生成機構 6. 語りとしての物語（小説）テキストの分類 7. 志賀直哉、『小僧の神様』の構造 8. 太宰治、『猿面冠者』の構造 9. 村上春樹、『風の歌を聴け』の構造 10. 倉知淳、『星降り山荘殺人事件』の構造 11. 『和泉式部日記』の構造 12. ドラマ『古畑任三郎』の構造 13. 構造の見地からの北原亞以子作品テキスト、宮部みゆき作品テキストの特徴 14. 小説の語りと「語り物」の語り 15. まとめ
	テキスト なし。都度、プリントを配布する。
	参考書・参考資料等 適宜、指示、または、配布する。
学期 前期	単位 2
担当者 上田恭寿	学生に対する評価 平常点（30%）、授業への参加態度（10%）、および、期末のレポート（60%）による。 その他 授業の都合により、一部の変更があり得る。

科目名 国語学講義Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本語の物語テキストと日本文化との関係についての理解を深める テーマ：日本語の物語テキストと日本文化
	授業の概要 語りとしての日本語の物語（小説）テキストの特質を抽出し、他の文学ジャンルとの共通点、さらに建築や絵画等、他の日本文化に見られる共通点から、日本文化の特質について考察する。
	授業計画 1. 物語の構造と語り手の語りの位置 2. 語りとしての物語テキスト生成機構 3. 物語（小説）における内面表現 4. 藤沢周平、『選いしあわせ』テキストにおける語り手 5. 北原亞以子テキストにおける語り手 6. 『源氏物語』テキストにおける語り手 7. 主体の揺らぎと「接続構文」 8. 太宰治、『魚腹記』における「る」と「た」 9. 日本語物語（小説）における語り手の位置 10. 「た」の指示内容 11. 日本語物語（小説）テキストの特質 12. 他の文学ジャンルにおいて見られる日本語テキストとの共通点 13. 他の日本文化に見られる特質との共通点 14. 聞く文化としての日本語テキストと日本文化における自己中心の志向性 15. まとめ
	テキスト なし。都度、プリントを配布する。
	参考書・参考資料等 適宜、指示、または、配布する。
学期 後期	単位 2
担当者 上田恭寿	学生に対する評価 平常点（30%）、授業への参加態度（10%）、および期末のレポート（60%）による。 その他 授業の進行の都合により一部の変更があり得る。

科目名 社会学Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会学が蓄積してきた基本的な思考スタイルに触れる。 参考文献を正確に書き写す力をつける。 テーマ：自己・他者・関係
	授業の概要 テキストには20ほどの社会学者が取り上げられている。これらのうちいくつかを選び、社会学の基本的な問題意識と関連させつつ、その内容を解説していく。
	授業計画 1. ガイダンス 2. 行為と演技（1） 3. 行為と演技（2） 4. 行為と演技（3） 5. 自己と他者（1） 6. 自己と他者（2） 7. 自己と他者（3） 8. 意味と現実（1） 9. 意味と現実（2） 10. 意味と現実（3） 11. 関係の力学（1） 12. 関係の力学（2） 13. 言語とコミュニケーション（1） 14. 言語とコミュニケーション（2） 15. まとめ
	テキスト 井上俊・伊藤公雄編『自己・他者・関係』（社会学ベーシックス1）世界思想社、2000円程度。 ※生協・書店などで購入しておくこと。
	参考書・参考資料等 関心のある受講者には個別に紹介する。
学期 前期	単位 2
担当者 藤吉圭二	学生に対する評価 ・毎回の授業時に実施する小テスト…50点 ・定期試験…50点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。 ・テキストを持参しない者は著しい不利をこうむることがある。

科目名 社会学Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代文化の諸現象を社会学的視点から分析するトレーニングを積む。 参考文献を正確に書き写す力をつける。 テーマ：
	授業の概要 テキストには現代社会を考えるうえで重要な15ほどの文化現象が取り上げられ、その意義やそれを考察するための社会学的視点が紹介されている。これらのうちいくつかを選び、解説していく。
	授業計画 1. ガイダンス 2. 流行としての現代文化（1） 3. 流行としての現代文化（2） 4. 流行としての現代文化（3） 5. 流行としての現代文化（4） 6. 流行としての現代文化（5） 7. 民俗としての現代文化（1） 8. 民俗としての現代文化（2） 9. 民俗としての現代文化（3） 10. 民俗としての現代文化（4） 11. 変容する現代文化（1） 12. 変容する現代文化（2） 13. 変容する現代文化（3） 14. 変容する現代文化（4） 15. まとめ
	テキスト 小川伸彦・山泰幸編『現代文化の社会学入門』ミネルヴァ書房、3000円程度。 ※生協・書店などで購入しておくこと。
	参考書・参考資料等 関心のある受講者には個別に紹介する。
学期 後期	単位 2
担当者 藤吉圭二	学生に対する評価 ・毎回の授業時に実施する小テスト…50点 ・定期試験…50点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。

科目名 現代の人権と福祉 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代において特に論争の焦点となっている法的権利について、その法的背景なども視野に入れた上で理解すること、及び批判的思考ができること。 テーマ： 授業の概要 授業はパワーポイントを利用し講義形式とします。 現代社会においては憲法に規定された従来の伝統的な人権の枠組みでは捉えきれない新たな人権が重要となってきています。本講義は、憲法上の権利、特に新しい人権と、権利の現代的展開に焦点を当てながら、法的な側面から現代社会を理解しようとする試みです。 授業計画 社会において現代の人権に関わる新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、参加する学生諸君の関心にもなるべく、応えていこうと思しますので、適宜変更の可能性があります。 1. イントロダクション (人権概念) 2. 国際的人権保障 (紛争と人権) 3. 国際的人権保障 (国際的な人権保障の枠組み) ① 4. 国際的人権保障 (国際的な人権保障の枠組み) ② 5. 憲法総論 (幸福追求権・自己決定権) 6. 医療における自己決定権 (治療選択の権利・死ぬ権利) 7. 新たな医療技術とそれを用いる権利 (子どもを産む権利) ① 8. 新たな医療技術とそれを用いる権利 (子どもを産む権利) ② 9. 臓器移植と臓器の売買？ 10. クローン技術規制法 11. 人の選別と優生思想 (選択的堕胎と受精卵診断) ① 12. 人の選別と優生思想 (選択的堕胎と受精卵診断) ② 13. 公害問題と環境権 (日本の環境保護法制) 14. 地球温暖化問題と京都議定書 (国際社会の取り組み)	
	学期	後期
	単位数	2
	担当者	竹村和也
	学生に対する評価 定期試験により60%、授業中のミニッツ・ペーパーや(行った場合には)小テストにより40% 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。 その他 受講者は(あるいは大学生はそもそも)新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。	
	テキスト 特に指定しない。	
	参考書・参考資料等 竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』(第三版)	
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：憲法の基本的な枠組みと幾つかの権利に関して基本的な理解を得ること、及び批判的思考ができること。 テーマ： 授業の概要 憲法は国の基本的なあり方を定めた法であり、また守るべき理念や価値を定めた法です。本講義では憲法の中の人権規定とそれに関連するほかの法分野について、特に現代社会において問題となっている権利に焦点を当てます。特に、裁判員制度の開始を迎え刑事裁判に社会の関心があつまり、また、この数年冤罪問題がクローズアップされるなか、捜査・裁判における人権に焦点を当てる予定です。さらに、家族関係における平等の問題も取り扱う予定です。 授業計画 社会的に注目される新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、進度により適宜変更の可能性がありますから、あくまで目安として、 1. イントロダクション (近代憲法と立憲主義) 2. 刑事司法の過程と身体的自由権 (捜査と被疑者の権利) ① 3. 刑事司法の過程と身体的自由権 (捜査と被疑者の権利) ② 4. 刑事司法の過程と身体的自由権 (裁判と被告人の権利) ① 5. 刑事司法の過程と身体的自由権 (裁判と被告人の権利) ② 6. 国民の司法参加① 7. 国民の司法参加② 8. 裁判員制度① 9. 裁判員制度② 10. 財産権と私法① 11. 財産権と私法② 12. 平等権と家族① 13. 平等権と家族② 14. 予備	
	学期	後期
	単位数	2
担当者	竹村和也	
学生に対する評価 定期試験により60%、授業中のミニッツ・ペーパーや(行った場合には)小テストにより40% 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。 その他 受講者は(あるいは大学生はそもそも)新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。		
テキスト 特に指定しない。		
参考書・参考資料等 竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』(第三版)		

科目名 法学Ⅰ(日本国憲法)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代において特に論争の焦点となっている法的権利について、その法的背景なども視野に入れた上で理解すること、及び批判的思考ができること。 テーマ： 授業の概要 授業はパワーポイントを利用し講義形式とします。 現代社会においては憲法に規定された従来の伝統的な人権の枠組みでは捉えきれない新たな人権が重要となってきています。本講義は、憲法上の権利、特に新しい人権と、権利の現代的展開に焦点を当てながら、法的な側面から現代社会を理解しようとする試みです。 授業計画 社会において現代の人権に関わる新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、参加する学生諸君の関心にもなるべく、応えていこうと思しますので、適宜変更の可能性があります。 1. イントロダクション (人権概念) 2. 国際的人権保障 (紛争と人権) 3. 国際的人権保障 (国際的な人権保障の枠組み) ① 4. 国際的人権保障 (国際的な人権保障の枠組み) ② 5. 憲法総論 (幸福追求権・自己決定権) 6. 医療における自己決定権 (治療選択の権利・死ぬ権利) 7. 新たな医療技術とそれを用いる権利 (子どもを産む権利) ① 8. 新たな医療技術とそれを用いる権利 (子どもを産む権利) ② 9. 臓器移植と臓器の売買？ 10. クローン技術規制法 11. 人の選別と優生思想 (選択的堕胎と受精卵診断) ① 12. 人の選別と優生思想 (選択的堕胎と受精卵診断) ② 13. 公害問題と環境権 (日本の環境保護法制) 14. 地球温暖化問題と京都議定書 (国際社会の取り組み)	
	学期	後期
	単位数	2
	担当者	竹村和也
	学生に対する評価 定期試験により60%、授業中のミニッツ・ペーパーや(行った場合には)小テストにより40% 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。 その他 受講者は(あるいは大学生はそもそも)新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。	
	テキスト 特に指定しない。	
	参考書・参考資料等 竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』(第三版)	
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間関係で重要となる自己表現能力を養成する。 テーマ：【前期】ホームページ作成とブログ作成 【後期】パワーポイントを用いたスピーチとブログ作成	
	学期	前期・後期
	単位数	4+2
担当者	藤吉圭二	
学生に対する評価 ・ホームページ(前期)、スピーチ(後期)のできばえ…40点 ・ブログ…20点 ・期末試験…40点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・※ 機材の数に限りがあるので定員を超えた場合は初回の授業時に選考を実施する。 ・※ 初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。		
テキスト 必要に応じ授業中にプリントを配布する。		
参考書・参考資料等 授業中に紹介する		

科目名 情報処理Ⅰ-1+情報処理Ⅰ-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間関係で重要となる自己表現能力を養成する。 テーマ：【前期】ホームページ作成とブログ作成 【後期】パワーポイントを用いたスピーチとブログ作成	
	学期	前期・後期
	単位数	4+2
	担当者	藤吉圭二
	学生に対する評価 ・ホームページ(前期)、スピーチ(後期)のできばえ…40点 ・ブログ…20点 ・期末試験…40点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・※ 機材の数に限りがあるので定員を超えた場合は初回の授業時に選考を実施する。 ・※ 初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。	
	テキスト 必要に応じ授業中にプリントを配布する。	
	参考書・参考資料等 授業中に紹介する	
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間関係で重要となる自己表現能力を養成する。 テーマ：【前期】ホームページ作成とブログ作成 【後期】パワーポイントを用いたスピーチとブログ作成	
	学期	前期・後期
	単位数	4+2
担当者	藤吉圭二	
学生に対する評価 ・ホームページ(前期)、スピーチ(後期)のできばえ…40点 ・ブログ…20点 ・期末試験…40点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・※ 機材の数に限りがあるので定員を超えた場合は初回の授業時に選考を実施する。 ・※ 初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。		
テキスト 必要に応じ授業中にプリントを配布する。		
参考書・参考資料等 授業中に紹介する		

科目名 情報処理Ⅰ-1+情報処理Ⅰ-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間関係で重要となる自己表現能力を養成する。 テーマ：【前期】ホームページ作成とブログ作成 【後期】パワーポイントを用いたスピーチとブログ作成	
	学期	前期・後期
	単位数	4+2
	担当者	藤吉圭二
	学生に対する評価 ・ホームページ(前期)、スピーチ(後期)のできばえ…40点 ・ブログ…20点 ・期末試験…40点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・※ 機材の数に限りがあるので定員を超えた場合は初回の授業時に選考を実施する。 ・※ 初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。	
	テキスト 必要に応じ授業中にプリントを配布する。	
	参考書・参考資料等 授業中に紹介する	
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間関係で重要となる自己表現能力を養成する。 テーマ：【前期】ホームページ作成とブログ作成 【後期】パワーポイントを用いたスピーチとブログ作成	
	学期	前期・後期
	単位数	4+2
担当者	藤吉圭二	
学生に対する評価 ・ホームページ(前期)、スピーチ(後期)のできばえ…40点 ・ブログ…20点 ・期末試験…40点 ※詳細はガイダンスで説明する。 その他 ・※ 機材の数に限りがあるので定員を超えた場合は初回の授業時に選考を実施する。 ・※ 初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。		
テキスト 必要に応じ授業中にプリントを配布する。		
参考書・参考資料等 授業中に紹介する		

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくこと テーマ：仏画を描く
	授業の概要 まず筆を持って描くことから始めよう。白描画像の制作である。敦煌の仏画を中心に、特色のあるものを時代別に選んで、その形を意識しながら線を書く。受講する者は、筆を持って線を書くことによって、その画像が「なぜ素晴らしいといえるのか」を発見するだろう。芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくように指導したい。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方について説明する。 2. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 I・II 3. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 III・IV 4. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 V・VI 5. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 VII・VIII 6. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 IX・X 7. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描く I・II 8. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描く III・IV 9. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描く V・VI 10. 作品 紺地金泥の作品を作る I 11. 作品 紺地金泥の作品を作る II 12. 作品 紺地金泥の作品を作る III 13. 作品 紺地金泥の作品を作る IV 14. 高野山霊宝館の見学 15. 総括
前期	テキスト コピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業で指示する。
121	学生に対する評価 書写作品70% 平常点30%
担当者	その他 筆・紙等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。 どなたでも受講できます。
静	
慈園	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：彩色の方面から芸術品の深さを知る。 テーマ：仏画を彩色する。
	授業の概要 ここでは仏画を描く基本(線描)を修得した上で、彩色を習います。彩色は説明だけでは理解できませんので、全て実践です。自分で彩色をしながら、各種の仏画を鑑賞し、彩色の方面から芸術品の深さを知ることが目標になります。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方について説明する。 2. 用具をそろえる。 3. 膠の溶かし方 4. 絵の具を選ぶ 5. 平塗りとはかしの技法 6. ほかしの技法 1 7. ほかしの技法 2 8. 暈網彩色の実習 1 9. 暈網彩色の実習 2 10. 暈網彩色の実習 3 11. 暈網彩色の実習 4 12. 暈網彩色の実習 5 13. 暈網彩色の実習 6 14. 鑑賞 15. 総括
後期	テキスト コピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業で指示する。
121	学生に対する評価 書写作品70% 平常点30%
担当者	その他 絵の具・絵の具皿・彩色筆等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。 どなたでも受講できます。
静	
慈園	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】初歩的な曲の演奏ができるよう、楽譜の読みと奏法の理解を目的とする。 【後期】初歩的な曲の合奏と、邦楽の音楽的特徴の理解を目的とする。 テーマ：【前期】地歌等曲入門-筆(琴)を弾いてみよう- 【後期】地歌等曲入門-筆で合奏してみよう-
	授業の概要 【前期】地歌等曲は、古典芸能でありかつ発展を続ける、世界の諸音楽に比肩する音楽である。本講義は、男性盲人音楽家たちが担ってきた地歌等曲の歴史に関する講義を交え、筆の演奏実習を中心に進めていく。 【後期】古代中国から雅楽、古謡、等曲へと展開した楽理に関する講義を交え、筆の演奏実習を中心に進めていく。日本人の音楽嗜好、感性の働き方、精神性へと、学生諸氏の思考深化をも促したい。
学期	授業計画 【前期】 1. 筆に触ってみよう、鳴らしてみよう 2. 爪、座り方、各部分の名称・演奏実習 3. 地唄とは、筆とは、演奏実習 4. 柱の立て方、はずし方・演奏実習 5. 楽器についての講義(ビデオ鑑賞) 6. 種々奏法と楽譜の記号・演奏実習 7. 同上 8. 練習曲「さくら」「荒城の月」の演奏実習 9. 同上 10. 邦楽の歴史について(講義) 11. 「三段の調べ」の実習 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 筆記・実技試験
前期	【前期】 1. 「三段の調べ」の他パートとの合奏実習 2. 同上 3. 「さくら恋奏曲」の実習 4. 「さくら恋奏曲」の他パートとの合奏実習 5. 邦楽の歴史について(講義) 6. 「笛の音」の実習 7. 同上 8. 筆の調弦法と邦楽の楽理(講義) 9. 学内鑑賞会、もしくはビデオ鑑賞 10. 「笛の音」の他パートとの合奏実習 11. 各受講学生の発表曲復習 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 試験に代えて、受講学生の演奏発表会
単位数	3期目以降の受講生は、全回「六段の調べ」を実習する。
121	テキスト 楽譜は講師を通じて随時一括購入する。爪は初回講義の折に指の号数を確認して注文する。
担当者	参考書・参考資料等 参考資料は随時コピーで配布する。 吉川英史「日本音楽の歴史」創元社 他
静	学生に対する評価 音楽を真剣に楽しむ授業態度70%、演奏技術10%、筆記・実技試験20% 但し上記に関係なく、欠席1回マイナス5点とする
慈園	その他 ・初心者向けだが、経験者も歓迎する。 ・「筆は女性の弾くもの」という誤った通念があるようだが実際は全く異なる。偏見を捨て、音楽好きな学生は男女を問わず積極的に受講してほしい。 ・後期は、「地歌等曲入門-筆を弾いてみよう-」(前期)を受講済みの者だけが、受講できる。 ・年間を通じて受講した後、卒業までに更に2期(前期、後期いずれかの)単位を取得した場合、本人が希望し、かつ技能が相当と認められる者には、有料で終業教育奨励会認定の「初伝」免許を認免することがある。 ・楽器の数量に限りがあるため受講者数を20名に制限する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：茶道は日本の伝統的な文化のひとつである。茶の湯の歴史の理解と、基本的な実技の修得や茶会の体験などをつうじて、茶の精神や美意識について考える。 テーマ：茶の湯における主客の心と感応
	授業の概要 茶道の歴史や師僧についての理解を深めるとともに、実際に茶道の所作や点前を経験・修得したうえで、受講生自らが茶会を企画し実践する。
学期	授業計画 【前期】 1. ガイダンス 2. 講義 茶事のながれ 3. 客の所作と心得1 お茶のいただき方(薄茶) 4. 客の所作と心得2 席入りのいただき方(濃茶) 5. 初風炉の茶会 6. 講義 茶道史 7. 盆略点前1 割稽古 8. 盆略点前2 通し稽古の復習 9. 講義 茶道の道具について 10. 盆略点前3 通し稽古 11. 盆略点前4 通し稽古 12. 盆略点前5 通し稽古 13. 講義 茶の湯の思想1 14. 盆略点前6 通し稽古の復習 15. まとめ
後期	【後期】 1. 盆略点前の復習1 2. 盆略点前の復習2 3. 講義 茶道史2 4. 客の所作と心得3 お茶のいただき方(濃茶) 5. 茶会の企画と実践1 6. 茶会の企画と実践2 7. 初開きの茶会 8. 茶の湯の思想2 9. 茶会の企画と実践3 10. 茶会の企画と実践4 11. 講義 茶道史3 12. 茶会の企画と実践5 13. 初釜の茶会 14. 講義 茶の湯の思想3 15. まとめ
単位数	テキスト 必要に応じて資料配布
121	参考書・参考資料等 授業時に紹介
担当者	学生に対する評価 出席日数とレポートなどの提出物の内容を総合して評価します。
岡本文音	その他 実習の費用は前期・後期各3000円必要です。 茶室に入れる人数に限りがありますので、受講生を制限する場合があります。

科目名 企 画 科 目 〔華道〕 伝統文化Ⅲ-1〔華道〕 伝統文化Ⅲ-2〔華道〕	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】日本の伝統文化である華道の歴史の理解と基本的 実技の修得。 【後期】高野山の伝統行事(年中行事)に生けられる伝統華・ 荘厳真華の理解	
	テーマ：【前期】日本の華道史と華道実技の基本 【後期】華道高野山の代表華である真華の修得	
	授業の概要	
	【前期】仏様にお花をお供えしたのが始まりとされる日本の華道の歴史を現代まで解説すると共に、華道の基本の解説と実技の実習を行なう。 【後期】高野山の伝統行事が行なわれる会場を荘厳する真華の解説と真華の実技実習。	
	授業計画	
	【前期】 1. ガイダンス 2. 華道高野山についての解説 3. 供華様式から投入花の解説 4. 投入花から現代花の解説 5. 盛花の解説 6. 盛花の実技実習 7. 盛花の変化態の解説と実習 8. 投入花の解説と実習 9. 投入花の変化態の解説と実習 10. 格花の解説と実習 11. 格花の変化態の解説と実習 12. 自由化の解説と実習 13. 自由化のテーマのもとめ方と実習 14. 実技テスト	
	【後期】 1. 真華の解説 2. 五段華の解説 3. 五段華の実技実習 4. 真華実習(1) 5. 真華実習(2) 6. 二つ真の解説 7. 仏生会の華の解説 8. 白羽の矢竹の解説 9. 小品真華の解説と実習 10. 法印転衣式の華の解説 11. 合真の解説 12. 元三の花の開設 13. 万年青の解説と実技 14. 実技テスト	
	テキスト 華道高野山教本	
	担当者 参考書・参考資料等 特に無し	
学生に対する評価 実技定期試験 50%、小試験 20%、出席 30%		
その他 実技実習時に花材費 800円～1,000円必要です。		
学期 前 通 年 後 期	単位数 1 2 +	担当 者 五 味 和 樹

科目名 企 画 科 目 〔詠歌〕 宗教芸能Ⅰ-1〔詠歌〕 宗教芸能Ⅰ-2〔詠歌〕	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：将来の御詠歌指導者の養成を目指す。 テーマ：心に響く宗教音楽として現代にも広く伝える御詠歌を学ぶ。	
	授業の概要	
	【前期】スライドショー等で譜の見方、楽理などを解りやすく解説する。 楽器等を併用し親しみやすい御詠歌の指導方法を学ぶ。和讃と詠歌の違いを知る。 【後期】前期の目標・テーマの完成を目指すために基礎となる詠歌・和讃を学び積極的に唱えるよう研鑽を深める。	
	授業計画	
	【前期】 1. 御詠歌・和讃の概要(譜の見方・歴史など) 追弔和讃 2. 追弔和讃・楊柳(楽理) 3. 楊柳 4. 楊柳 5. 悠久の峰(新曲) 楊柳部分も 6. 悠久の峰(楽理) 7. 悠久の峰 仕上げ 8. 龍華(楽理) 9. 龍華 10. 修行和讃(龍華部分) 11. 修行和讃(龍華部分) 12. 追弔和讃・楊柳・悠久の峰・龍華・修行和讃復習 13. 実技及び筆記試験	
	【後期】 1. 前期総括 2. 高野山開創奉讃歌 3. 高野山開創奉讃歌 4. 梵音 5. 梵音 6. 法悦歓喜和讃 7. 法悦歓喜和讃 8. 法悦歓喜和讃・楽理 9. 妙音 10. 妙音・楽理 11. 妙音 12. 哀別離苦和讃 13. 哀別離苦和讃 14. 後期履修曲復習 15. 実技・筆記試験	
	テキスト 高野山金剛流御詠歌教典・同和讃集・楽理教典・法具(教務課に貸出有り)	
	参考書・参考資料等 金剛講必携・鈴鉦のひびき・高野山金剛流詠歌・和讃の解説	
	学生に対する評価 実技・筆記試験 70% 出席 30%	
その他 1、後期履修希望者は前期履修の後、受講すること。 2、詠階は1年間履修すると准教師、二年間履修すると詠修、三年間履修すれば詠教、四年間履修すれば詠範を限りとして与える。		
学期 前 通 年 後 期	単位数 1 2 +	担当 者 上 山 ・ 辻 ・ 村 上

科目名 企 画 科 目 〔舞踊〕 宗教芸能Ⅱ-1〔舞踊〕 宗教芸能Ⅱ-2〔舞踊〕	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】宗教舞踊の基礎を身につける。 【後期】練習を積み重ねることにより、心・技・体を磨き、宗教舞踊の楽しさ(法悦)を感得する。	
	テーマ：【前期】美しい宗教音楽御詠歌に合わせて舞いましょう。 【後期】宗教舞踊を舞うことにより、自分自身と見る人の心を癒すことを感得する。	
	授業の概要	
	【前期】宗教舞踊の理念・法具の扱い方・教典の譜の見方を習い、基本を学ぶ。御詠歌に合わせて舞い、基本的身体の動かし方を学び、宗教舞踊の基礎を身につける。 【後期】宗教舞踊の身体の動き・技術を学び練習する・御詠歌の歌詞の意味・舞踊の表現されている意味を学び、心の表現の仕方について学ぶ。舞台での所作について学ぶ。	
	授業計画	
	【前期】 1. 宗教舞踊を見てみる。宗教舞踊の基本的理念・法具(持ち物)の扱い方の解説。 2. 教典の譜の見方を学ぶ。「同行二人」により身体の動かし方の基本を学ぶ。 3. 「同行二人」 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 「同行二人」仕上げ 8. 「遍照尊」 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 「遍照尊」仕上げ	
	【後期】 1. 「いろは歌」 2. 〃 3. 〃 4. 「楊柳」 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 「楊柳」仕上げ 9. 「相互供養和讃」 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 「相互供養和讃」仕上げ 14. 復習曲 15. 復習曲	
	テキスト 舞踊1曲ずつの教典	
	担当者 参考書・参考資料等 高野山金剛流宗教舞踊基本教典 はじめての「高野山宗教舞踊」入門	
学生に対する評価 出席 20% 実技評価 60% 筆記試験 20%		
その他 ・ 属は貸与準備あり。 ・ 前期・後期履修者は舞階昇補できる。 ・ 全国奉詠舞大会に学園(大学)奉舞できる。		
学期 前 通 年 後 期	単位数 1 2 +	担当 者 辻 高 細 祖 川 佐 彩 佐 智 恵 智 子

科目名 企 画 科 目 〔仏教芸術〕	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：高野山内に伝わる仏教美術を学び、正しい仏教美術に対する知識を培うことを到達目的とする。 テーマ：高野山における密教美術の研究。	
	授業の概要	
	高野山霊宝館の所蔵品を中心とする密教美術を種類ごとに取り上げ、作品の特徴や歴史的意義について知識を深めたいうで、高野山霊宝館において実際の作品を鑑賞して仏教美術研究の基礎を学ぶ。	
	授業計画	
	1. 高野山の密教仏画(Ⅰ) - 両界曼荼羅と別尊曼荼羅 2. 高野山の密教仏画(Ⅱ) - 密教の仏菩薩 3. 高野山の密教仏画(Ⅲ) - 明王 4. 高野山の密教仏画(Ⅳ) - 密教の天部 5. 高野山の密教仏画(Ⅴ) - 密教図像 6. 高野山の仏像(Ⅰ) - 板彫曼荼羅 7. 高野山の仏像(Ⅱ) - 密教の仏菩薩 8. 高野山の仏像(Ⅲ) - 明王 9. 高野山の仏像(Ⅳ) - 密教の天部 10. 高野山の仏具 - 密教法具 11. 高野山霊宝館での作品研究 12. 高野山霊宝館での作品研究 13. 高野山霊宝館での作品研究 14. 高野山霊宝館での作品研究 15. 高野山霊宝館での作品研究	
	テキスト 毎回プリントを配布する。	
	参考書・参考資料等 講義中に指示する。	
	学生に対する評価 出欠席を最も重視し、授業に対する取り組み方とレポートで評価する。	
	その他 履修する学生は社会経験と就業経験を身につけるために、講義とは別に指示に従って高野山霊宝館の受付や案内業務を体験する。	
学期 前 期	単位数 2	担当 者 副 担 任 ・ 緒 方 啓 介 慈 園

科目名 法法法 式式式 式式式 (別) I / 法式 II	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：僧侶としての基礎を学ぶ テーマ：道場荘嚴の基礎
	授業の概要 真言宗の僧侶として必要な道場荘嚴の基礎知識と道場荘嚴の意識を解説する。
	授業計画 【前期】 1. 講義内容の説明 2. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (1) 3. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (2) 4. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (3) 5. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (4) 6. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (5) 7. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (6) 8. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (7) 9. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (8) 10. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (9) 11. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (10) 12. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (11) 13. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (12) 14. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について (13) 15. 前期試験
	【後期】 1. 講義内容の説明 2. 坦莊嚴の解説 (1) 3. 坦莊嚴の解説 (2) 4. 坦莊嚴の解説 (3) 5. 坦莊嚴の解説 (4) 6. 坦莊嚴の解説 (5) 7. 坦莊嚴の解説 (6) 8. 坦莊嚴の解説 (7) 9. 坦莊嚴の解説 (8) 10. 坦莊嚴の解説 (9) 11. 坦莊嚴の解説 (10) 12. 坦莊嚴の解説 (11) 13. 山内緒法会の解説 (1) 14. 山内緒法会の解説 (2) 15. 後期試験
	学期
	前 通 年 後 期
	単位数
	1 2 +
	担当者
	中西雄泰

科目名 声声 明明明 明明明 (別) I / 声明 II	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基本の法要となる理趣三昧法会に使われる声明を研鑽する テーマ：僧侶として必要な声明を基礎から学ぼう
	授業の概要 日本音楽の基礎となった仏教音楽の「声明」を、我々が法要などで用いる「南山進流」声明を基礎の導入部分から学ぶ。
	授業計画 【前期】 1. 声明の楽譜、音階、演奏方法(旋律型)の解説及びオリエンテーション 2. 三礼 3. 四智梵語 4. 四智梵語 5. 大日讃 6. 大日讃 7. 不動讃 8. 四智漢語 9. 四智漢語・心略漢語 10. 心略漢語 11. 仏讃 12. 仏讃・散華(初段目) 13. 散華 14. 散華(二段目) 15. 散華(二段目)
	【後期】 1. 声明の楽譜、音階等音楽理論及びオリエンテーション 2. 散華(3段目) 3. 散華(3段目) 4. 対揚 5. 対揚 6. 対揚 7. 対揚 8. 唱礼(金剛界) 9. 唱礼 10. 唱礼 11. 唱礼 12. 理趣経(中曲) 13. 理趣経(中曲) 14. 理趣経(中曲) 15. 理趣経(中曲)
	学期
	前 通 年 後 期
	単位数
	1 2 +
	担当者
	辻秀道

科目名 布布 教教 教教 (別) I / 布教 II	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：布教原理の学教と布教実習の体験を通して教化伝道の重要性を認識する。 テーマ：布教の基本を学ぶ。
	授業の概要 本講義は布教の入門的な役割を果たす科目である。布教の基礎知識を身につけ真言宗教師(僧侶)としての意識向上を図る。
	授業計画 【前期】 1. 講義の概要について解説する 2. 布教伝道の精神 3. 布教の目的 4. 布教の任務 5. 仏教の布教伝道 6. 真言宗の布教理念 7. 信仰心の喚起 8. 礼拝の実践 9. 安心の獲得 10. 教化活動の事例 11. 布教の対象 12. 布教の種類 13. 説法の十事 14. 布教資料について 15. 真言宗布教史概説
	【後期】 1. 布教原稿の書き方 2. 教材収集の方法 3. 教材のあつかい方 4. 布教実修(発表) 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 高野山開創の意義 14. 布教作法とその心得 15. 講義の総括
	学期
	前 通 年 後 期
	単位数
	1 2 +
	担当者
	橋本真人

科目名 常常 用用 経経 典典 (別) I / 常用 経経 典典 II	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言宗の常用經典の読誦法(お経の読み方)の習得。 祀る本尊に応じて、さまざまな真言や陀羅尼が読誦されます。常用の諸真言や陀羅尼を読誦出来るよう学びます。 真言宗で用いる經典に関する基礎知識と「般若心経秘鍵」など祖師の典籍も学びます。 テーマ：常用經典の読誦実習
	授業の概要 「理趣経」、「観音経」、「梵網経」を中心に、寺院日常の勤行・法要などに用いる諸經典の読誦法を習得し、順次「般若心経」や「立義分」など短い偈文などを暗誦できるように務めます。 また、僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる「金胎礼懺」「三陀羅尼」読誦に務めます。 回忌法要やお盆の棚経などの日常の檀務・年忌法要についても、その意義と実践を学びます。
	授業計画 【前期】 『真言宗常用諸経要聚』に収録される經典や偈文の読誦法を順次教授し、稽古します。また、読誦する經典や偈文の内容(意味)を簡単に概説します。 「開経偈」、「懺悔文」、「回向文」、「礼文」 「理趣経」 「梵網経」 「観音経」 「般若心経」、「舍利礼」、「立義分」 「九条鐘杖」 「三陀羅尼」など 「般若心経秘鍵」の読誦 ※「お経は耳で学ぶもの」ともいわれます。法要として多人数での讀誦を知るため、時間的余裕が取れば、高野山内の勤行への参加や法会の見学など、講義の時間以外の学外授業も行う予定です。
	【後期】 ①「理趣経」を中心に、前期に学んだ諸經典の讀誦の稽古を、引き続き行います。 ②僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる「金胎礼懺」「三陀羅尼」読誦に務めます。
	学期
	前 通 年 後 期
	単位数
	1 2 +
	担当者
	宮田永明

科目名 観企観 法画法 の科I 理目 論と実習 と実習 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿息観の修得 テーマ：阿息観の理論と実習
	授業の概要 阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。 テキストにしたがって講義を進める。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観と悟り 3. 真言密教と釈迦 4. 瞑想の目的と種類 5. 修行の基本 6. 弘法大師空海の宗教体験 7. 阿息観について 8. 阿息観について 9. 阿息観の実習 10. 阿息観の実習 11. 討論 12. 阿息観の実習 13. 阿息観の現代的意義 14. 阿息観の現代的意義 15. まとめ
	学期 前期
	単位数 2 1
	担当者 佐藤隆彦
学生に対する評価 期末レポート 60%、授業 20%、討論小テスト 20%	
その他	

科目名 観企観 法画法 の科II 理目 論と実習 と実習 (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿字観の修得 テーマ：阿字観の理論と実習
	授業の概要 阿息観を踏まえて、月輪観と阿字観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観について 3. 阿息観の実習 4. 月輪観について 5. 月輪観について 6. 月輪観実習 7. 『大日経』と阿字 8. 阿字観について 9. 阿字観について 10. 阿字観実習 11. 自由討論 12. 阿字観の口訣 13. 阿字観の口訣 14. 阿字観実習 15. まとめ
	学期 後期
	単位数 2 1
	担当者 佐藤隆彦
学生に対する評価 期末レポート 60%、授業出席 20%、討論小テスト 20%	
その他	

科目名 加行I	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言密教の阿闍梨となるための伝法灌頂への入壇に必修となる、四度加行の実修を行い、作法の習熟を目指す。 テーマ：中院流四度加行の実習
	授業の概要 伝法灌頂入壇の前行となる四度の加行を、前期（理趣経・護身法・十八道・金剛界）と後期（胎蔵・護摩）の2期に分けて実修する。 その中で、真言宗僧侶の基礎として朝夕の勤行などを通して法要の実践、また集団での生活を行うことで僧侶としての規範を身につける。
	授業計画 【前期】 理趣経・護身法・十八道・金剛界 【後期】 胎蔵・護摩 大阿様よりの伝授に従って、順次に行法を実修する。 各作法等においては随時説明を加え、真言僧としての基礎となる行法修法の実修を行う。 作法の習熟を目的として、指導を行う。 また朝夕の勤行など、僧侶としての基礎を習得する。
	学期 集中
	単位数 2
	担当者 渕田雲溪
学生に対する評価 修法の習熟度、加行中に行うテスト、修法や勤行に臨む姿勢や生活態度などを総合して評価。	
その他 事前に得度・授戒を済ませ、「常用経典」・「法式」・「声明」の講義を受講の上、十分に習熟しておくこと。 行法の次第を読解のためにも、漢文を読むことができるようにしておくこと。 加行の実修は真言僧としての基礎をなすものであり、真摯に取り組む姿勢が必要とされる。 事前に行う説明会に必ず出席し、健康に十分留意して加行に臨むこと。	

科目名 加行II	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言密教の阿闍梨となるための伝法灌頂への入壇に必修となる、四度加行の実修を行い、作法の習熟を目指す。 テーマ：中院流四度加行の実習
	授業の概要 伝法灌頂入壇の前行となる四度の加行を、前期（理趣経・護身法・十八道・金剛界）と後期（胎蔵・護摩）の2期に分けて実修する。 その中で、真言宗僧侶の基礎として朝夕の勤行などを通して法要の実践、また集団での生活を行うことで僧侶としての規範を身につける。
	授業計画 【前期】 理趣経・護身法・十八道・金剛界 【後期】 胎蔵・護摩 大阿様よりの伝授に従って、順次に行法を実修する。 各作法等においては随時説明を加え、真言僧としての基礎となる行法修法の実修を行う。 作法の習熟を目的として、指導を行う。 また朝夕の勤行など、僧侶としての基礎を習得する。
	学期 集中
	単位数 2
	担当者 渕田雲溪
学生に対する評価 修法の習熟度、加行中に行うテスト、修法や勤行に臨む姿勢や生活態度などを総合して評価。	
その他 事前に得度・授戒を済ませ、「常用経典」・「法式」・「声明」の講義を受講の上、十分に習熟しておくこと。 行法の次第を読解のためにも、漢文を読むことができるようにしておくこと。 加行の実修は真言僧としての基礎をなすものであり、真摯に取り組む姿勢が必要とされる。 事前に行う説明会に必ず出席し、健康に十分留意して加行に臨むこと。	

科目名 法企法 式画式 上科上 級目級 Ⅰ (別法 式上級) Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：修法における次第の組み立てを理解し、その行法をより深めることを目的とし、重ねて真言宗を代表する密教法会たる理趣三昧法会を実修し、職衆及び導師の心得を身につける。 テーマ：行法や荘嚴の理解と理趣三昧法会の実修
	授業の概要 四度の加行において自らが実践した所の十八道や金剛・胎藏の両部の次第、護摩の次第における行法の展開や内容を考察し、行法をより深く実践できるように試みる。 また、理趣三昧法会の実践をとおして、実際の法要の流れを理解し、導師や職衆としての作法を習熟する。
	授業計画 【前期】道場や壇上の荘嚴の解説・実践をし、加えて行法の基本たる十八道の次第を解説する。 また、法会における作法等の解説し、職衆として法会を実修する。 【後期】護摩の次第を解説する。 また、伝法灌頂に入壇後、理趣三昧法会を受講し、交代で導師を務めて法会を実修。 【その他】追悼法会、また報恩日の法会に職衆としての積極的な参加(出仕)を求める。
	テキスト 【真言宗常用経典】、『声明類聚』、『四度加行 次第』、 中川善教編『理趣経法』
	参考書・参考資料等 適宜、指示する。
	学生に対する評価 出席を重視し、各作法の習熟度を加味する。
	その他 ・空衣(尼僧は褌衫でも可)・白袈裟(または如法衣)を着しての受講となる。 ・以下の事項を受講の条件とする。 ①法式AまたはBの単位を取得しておくこと。 ②少なくとも前期加行(十八道・金剛界)を受けた上で受講し、今年度内に伝法灌頂に入壇予定であること。
	学期 前期 通年 後期
	単位数 1 2 1
	担当者 瀧田雲溪

科目名 発達心理学	授業の到達目標及びテーマ 生涯発達という視点から、人間の心身の発達について理解を深める。
	授業の概要 乳幼児期・児童期・青年期など各時期における人間の発達や課題について講義を行う。また、発達上の諸問題がある場合の発達援助的アプローチや心理臨床的援助について説明する。
	授業計画 1. オリエンテーションと発達の理論 2. 知覚の発達と描画の発達 3. 運動能力と身体の発達 4. 情緒・感情の発達 5. 自動機・認知発達 6. 青年期以降の認知発達 7. 愛着と養育態度 8. 友人関係の発達 9. 知能の発達 10. 言語能力の発達 11. 動機づけの発達 12. 人格と自我の発達 13. 性別と性行動の発達 14. 道徳性と向社会的行動の発達 15. 発達の理論と障害
	テキスト 川島一夫編『図でよむ心理学 発達』福村出版
	参考書・参考資料等
	学生に対する評価 出席と試験
	その他
	学期 集中
	単位数 2
	担当者 坂田真穂

科目名 社会心理学	授業の到達目標及びテーマ 社会で生きる人間のいとなみを個人および集団の両方から学習する。
	授業の概要 ワークなどを交えながら、個人・対人関係・集団といった社会心理学における基礎テーマの理解を深める。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 人の特徴 3. 感情 4. 人を傷つける心・助ける心 5. 集団 6. 関係性 7. 社会的自己 8. 社会的影響 9. 態度・説得 10. 文化と心 11. 原因帰属と社会的推論・判断 12. ステレオタイプ・差別 13. 公正・公平 14. その他の社会心理学の論点(1) 15. その他の社会心理学の論点(2)
	テキスト 遠藤由美『いちばんはじめに読む心理学の本2 社会心理学』ミネルヴァ書房 吉田俊和・元吉忠寛『体験で学ぶ社会心理学』ナカニシヤ出版
	参考書・参考資料等
	学生に対する評価 出席と定期テスト
	その他
	学期 集中
	単位数 2
	担当者 坂田真穂

科目名 学校臨床心理学	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：教育現場での様々な事象についての理解、対応方法を学び、児童・生徒の理解を深める。 テーマ：臨床心理学と学校教育の協働
	授業の概要 学校における教育相談活動(教員及びスクールカウンセラー)において必要とされる知識と態度を学ぶ。発達の視点、家族の支援法、精神疾患の理解など、具体的な事例を通じて心理的援助活動の一端を学んでいく。
	授業計画 1. 学校教育と臨床心理学：歴史的背景を知る 2. スクールカウンセリングの視点と学校教育の視点 3. 児童期の発達と学校教育(1) 4. 児童期の発達と学校教育(2) 5. 思春期・青年期の発達と学校教育(1) 6. 思春期・青年期の発達と学校教育(2) 7. 児童・生徒の問題行動への理解と対応(総論) 8. 不登校・ひきこもりの理解と対応(各論) 9. 精神疾患の理解と対応(各論) 10. 軽度発達障害の理解と対応(各論) 11. 虐待の理解と対応(各論) 12. 非行の理解と対応(各論) 13. 自傷行為・自殺の理解と対応(各論) 14. いじめと自殺(各論) 15. まとめ
	テキスト かしまえりこ・神田橋條治(共著)『スクールカウンセリング モデル100例』創元社、2006
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 平常点40%・期末試験60%
	その他
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 森崎雅好

科目名 教育心理学	授業の到達目標及びテーマ ・乳幼児期から青年期にかけての人間の心身の発達について科学的に理解できるように、人間の発達及び学習の過程についての基本的な知見と発達に関する諸理論について学ぶ。 ・障害を持つ子どもの発達と学習の過程について理解する。 ・乳幼児期から青年期にかけての人間の心身の発達について科学的に理解できるように、人間の発達及び学習の過程についての基本的な知見と発達に関する諸理論について学ぶ。 ・障害を持つ子どもの発達と学習の過程について理解する。
	授業の概要 人間の発達について具体的に理解できるように、子どもの発達及び学習の過程と、各発達段階の発達の特徴について論じる。また、教育心理学の各領域を概観し、教育現場に必要な心理学上の基礎理論を解説する。
	授業計画 8月22日(水)～8月25日(土)の4日間。 1 講時から4 講時。ただし最終日の土曜日は3 講時まで。 【講義の順序】 1. 教育心理学とは？ 2. 発達の原理と発達の規程因 3. 発達の諸理論と発達課題 4. 学習理論① 5. 学習理論② 6. 記憶のメカニズム 7. 動機づけ 8. 学習指導の理論 9. 教育評価 10. 知能理論と知能の測定 11. パーソナリティの理解 12. 学級の心理学 13. 子どもの不適応と心理療法 14. 障害をもった子どもの発達 15. まとめと確認
	学期 集中
	単位数 2
担当者 末田啓二	テキスト 特になし 参考書・参考資料等 プリントを配布 学生に対する評価 出席と時折の小課題 30%、定期試験 70% その他

科目名 社会保障論Ⅰ(別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会保障は、社会福祉・医療・年金・雇用・子育て支援という広範囲は領域を取り扱う分野である。その領域の多くの分野は、国民の生活と直結している。利用者の生活支援を考えると総合的に生活関連の分野を学習することが重要である。 テーマ：社会保障の歴史と現状
	授業の概要 わが国では、人口の高齢化がますます進んでいる。少子化も歯止めがかからない。社会保障は高齢化社会で重要な位置をしめるにも関わらず国民的な理解が必ずしもあるとはいえない。ここでは社会保障の基本的な事項について理解することを目的としたい。
	授業計画 1. 社会保障の概念と範囲 2. ベバリッジの社会保障計画 3. 社会保障の歴史 4. 社会保障の機能 5. 社会保障と労働力 6. 社会保障の方法 7. 社会保険の財政 8. 年金制度の遠隔 9. 年金制度の現状と課題 10. 医療保障制度の沿革 11. 医療保障制度の現状と課題 12. 介護保険制度の創設 13. 介護保険制度の意義 14. 介護保険制度の内容 15. 介護保険制度の課題
	学期 前期
	単位数 2
担当者 山口幸照	テキスト 社会福祉士養成講座「社会保障論」中央法規出版 参考書・参考資料等 「社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ」中央法規出版 学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。 その他

科目名 社会保障論Ⅱ(別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会保障は、社会福祉・医療・年金・雇用・子育て支援という広範囲は領域を取り扱う分野である。その領域の多くの分野は、国民の生活と直結している。利用者の生活支援を考えると総合的に生活関連の分野を学習することが重要である。 テーマ：社会保障の歴史と現状
	授業の概要 わが国では、人口の高齢化がますます進んでいる。少子化も歯止めがかからない。社会保障は高齢化社会で重要な位置をしめるにも関わらず国民的な理解が必ずしもあるとはいえない。ここでは社会保障の基本的な事項について理解することを目的としたい。
	授業計画 1. 労働保険制度の沿革 2. 雇用保険制度の沿革、現状 3. 労災保険制度の現状と課題 4. 生活保障と民間保険 5. 生活リスクと民間保険の役割 6. 社会保険の管理運営 7. 権利救済制度 8. 社会保障費の構造と経済社会の変動 9. 社会保障改革と将来ビジョン 10. 社会保障費の国民負担 11. 諸外国の社会保障・フランス 12. 諸外国の社会保障・ドイツ 13. 諸外国の社会保障・スウェーデン 14. 諸外国の社会保障・イギリス 15. 諸外国の社会保障・アメリカ
	学期 後期
	単位数 2
担当者 山口幸照	テキスト 社会福祉士養成講座「社会保障論」中央法規出版 参考書・参考資料等 「社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ」中央法規出版 学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
	学期
	単位数
担当者	テキスト 参考書・参考資料等 学生に対する評価 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：教員の職務内容について学生が十分理解し、安易な職務選択をすることがないことを到達目標とする。 テーマ：教員の職務と使命
教職入門	
授業の概要	本講義は、教員の職務について解説し、教職への導入の役割を果たす科目である。 表面化しない教員の職務の現状について、現場の事例を多く取り入れ解説する。
授業計画	1. 講義の目的と概要の解説を行う。 2. 教職の意義と教員の役割について解説する。 3. 教員養成・教職課程の変遷について解説する。 4. 教員の種類と職階及び教員の役割と社会的使命について考察し解説する。 5. 教員の職務と学習指導要領の関係について説明し考察する。 6. 教員の職務と校務分掌の関係について解説する。 7. 生徒指導と教員の職務について、事例を中心に解説する。小試験。 8. 進路指導・教育相談と教員について、事例を中心に解説する。 9. 学級経営と教員について解説し、論じる。 10. 教員の研修について、職務研修を中心に現状を解説し考察する。 11. 教員の服務と身分保障について説明する。 12. 服務の基本基準について説明する。 13. 職務上の服務と身分上の服務について説明する。 14. 教員採用の現状と進路選択について考察する。 15. 総括講義
学期	
前期	
単位数	
2	
テキスト	伊藤一雄著「教職基礎論」 サンライズ出版 2010.4 発行
担当者	参考書・参考資料等 教職問題研究会著「教師論」(改訂版) 2007.4 発行
伊藤一雄	学生に対する評価 定期試験 60%、小試験 20%、授業参加(単なる出席でなく質問や発表内容なども含む) 20%で評価する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：将来教員を志望する学生を対象に、教育の機能と社会について理解することを目標とする。 テーマ：教育の理念並びに教育の関する歴史及び思想
教育原論	
授業の概要	教育という営みは人間形成という個人的な面と、文化を伝達し社会に役立てるといふ社会的な面の二面性がある。本講義は教育の目的や機能について解説し、教育とはどのような営みなのかを考察する。また、現代の日本社会の学校が抱えている教育の病理について、構造的な側面から解説する。
授業計画	1. 人間形成と教育及び子どもの発達と教育 第1回：教育の目的と国家 第2回：子どもの発達と教育 第3回：子どもの生活と教育 2. 近代の教育思想とわが国の教育の変遷について概説する。 第4回：ヨーロッパにおける教育思想の変遷を概説する。 第5回：アジアにおける教育思想の変遷を概説する。 第6回：わが国の教育思想の変遷を概説する。 第7回：第1回～第6回の講義内容についてのまとめ。小テストを行う。 3. 学校教育 第8回：義務教育について解説する。 第9回：後期中等教育について解説する。 第10回：高校の多様化と教育課程について解説する。 第11回：高校教育から義務教育と大学教育を考える。 第12回：障害者教育について解説する。 4. 教育と社会 第13回：国際化と教育との関わりについて論じる。 第14回：学校教育の大衆化について論じる。 第15回：第8回～14回の講義内容についてのまとめ、小テストを行う。
学期	
前期	
単位数	
2	
テキスト	田嶋一著「やさしい教育原理」有斐閣
担当者	学生に対する評価 伊藤一雄他著「教職への道標」/サンライズ出版 参考書・参考資料等 小テスト(30%)、定期試験(70%) + 授業への参加を加味する。 その他
山脇雅夫	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：・社会調査で利用される統計の「読み方」に慣れる。 ・相手にわかりやすく説明する力をつける。 テーマ：・教育と強制のあいだ
教育社会学	
授業の概要	教育には児童・生徒の自主性を尊重しつつ、一定の方向に持っていかなければならないという両義的な性質がある。甘くするだけでも厳しくするだけでも効果は期待しにくい。こうした教育のもつ両義性について少年犯罪を事例に学んでいく。
授業計画	1. ガイダンス 2. 報告レジュメのつくりかた(1) 3. 報告レジュメのつくりかた(2) 4. 報告レジュメのつくりかた(3) 5. 白書統計から眺めた少年犯罪(1) 6. 白書統計から眺めた少年犯罪(2) 7. 人間関係に縛られた少年たち(1) 8. 人間関係に縛られた少年たち(2) 9. 成熟した社会のパラドクス(1) 10. 成熟した社会のパラドクス(2) 11. 保護の対象から責任の対象へ(1) 12. 保護の対象から責任の対象へ(2) 13. 社会の病理から個人の病理へ(1) 14. 社会の病理から個人の病理へ(2) 15. 不寛容な社会のパラドクス
学期	
後期	
単位数	
2	
テキスト	土井隆義『人間失格?』日本図書センター、2000円程度。 ※生協・書店などで購入しておくこと。 ※ガイダンス時に用意していない場合は原則として受講を認めない。
担当者	参考書・参考資料等 テキスト巻末のブックガイドを活用すること。
藤吉圭二	学生に対する評価 ・報告レジュメのできばえ…50点 ・定期試験…50点 ※詳細はガイダンスで説明する その他 ・テキストを購入しておくこと(試験でも使用する)。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。 ・受講希望者が多い場合には選抜することがある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：教育課程とはなにかを理解し、中学校及び高校の学習指導要領の意図するものはなにか、またそれはどのように構成されているのかをどれだけ把握できたかを到達目標とする。 テーマ：学習指導要領と学校教育課程の間を探る。
教育課程論	
授業の概要	教育課程は学校の教育実践の基盤となるものである。教育課程の意図する点について本講義を通じて新学習指導要領を中心に解説し、併せて、その変遷について述べる。 さらに、学校教育と学習指導要領の間にある「隠れたカリキュラム」の実践的意義について考察する。
授業計画	第1回：教育課程とは何か及び教育課程の目標とするところについて解説する。 第2回：教育課程の内容構成について解説する。 第3回：学校の教育活動と教育課程の編成について解説する。 第4回：教育課程と教科の構成について解説する。 第5回：教育課程の評価方法について解説する。 第6回：学習指導要領と教育課程の変遷(1) 1958年改訂まで 第7回：学習指導要領と教育課程の変遷(2) 1958年改訂から1977年改訂まで 第8回：学習指導要領と教育課程の変遷(3) 1977年改訂から1998年改訂まで 第9回：学習指導要領と教育課程の変遷(4) 1998年改訂から現在まで 第10回：新学習指導要領の意図するもの 第11回：学習指導要領の法的拘束性について考察する。 第12回：教育課程と隠れたカリキュラムについて解説し考察する(1) 第13回：教育課程と隠れたカリキュラムについて解説し考察する(2) 第14回：中等教育カリキュラムの国際比較 日・米・欧(ドイツ・フランス)の比較 第15回：総括講義 教育課程の編成と学校の教育活動の現状
学期	
後期	
単位数	
2	
テキスト	平成21年度版 学習指導要領(中学校編)及び(高等学校編) 文部科学省
担当者	参考書・参考資料等 伊藤一雄著「教職への道標」 サンライズ出版 2008.10 発行 伊藤一雄他著「教育課程論」 晃陽書房 2010.4 発行 学生に対する評価 定期試験 50%、小試験 30%、授業参加(単なる出席でなく質問や発表内容を含む) 20% その他
伊藤一雄	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教教育の意義を学び、宗教教育のあり方について考えを深める。 テーマ：宗教教育の理論と実際
宗教科教育法Ⅰ	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
乾	
仁志	
授業の概要	学校教育における宗教教育に必要な理論と実際について学習する。宗教教育の意義について学ぶとともに、宗教科教育法を通して戦前と戦後における宗教教育の実態を探り、宗教教育のあり方について考える。そのうえで、実際の宗教教育の進め方について学習する。
授業計画	1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 宗教教育とは(1) 3. 宗教教育とは(2) 4. 宗教教育とは(3) 5. 宗教科教育法について(1) 6. 宗教科教育法について(2) 7. 宗教科教育法について(3) 8. 宗教教育の歴史(1) 9. 宗教教育の歴史(2) 10. 宗教教育の歴史(3) 11. 宗教教育の歴史(4) 12. 学習指導案の作成(1) 13. 学習指導案の作成(2) 14. 学習指導案の作成(3) 15. 試験
テキスト	斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 その他、プリント配布
参考書・参考資料等	教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林 小口偉一編『宗教学辞典』東京大学出版社、等
学生に対する評価	試験60%、レポート40%
その他	宗教科教育法は他の一般教科とは少し性格が異なる。その点を受講者は十分に留意し、主体的に学習してほしい。そのためには、とくに宗教科の教師になるということの意味をよく考えることが必要である。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教教育科の授業方法や実際について学ぶ。 テーマ：模擬授業を通してみた宗教教育の実際
宗教科教育法Ⅱ	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
乾	
仁志	
授業の概要	受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、高校生を対象とした宗教教育の授業内容や方法などについて学習する。
授業計画	1. シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞 2. 山内の歴史探訪と案内 3. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」1 (釈尊伝) 4. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」2 (釈尊伝) 5. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」3 (弘法大師伝) 6. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」4 (弘法大師伝) 7. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」1 (仏教の教え) 8. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」2 (仏教の教え) 9. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」3 (真言宗の教え) 10. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」4 (真言宗の教え) 11. 模擬授業 テーマ「教団の歴史」1 (仏教の歴史) 12. 模擬授業 テーマ「教団の歴史」2 (仏教の歴史) 13. 模擬授業 テーマ「教団の歴史」3 (真言宗の歴史) 14. 模擬授業 テーマ「教団の歴史」4 (真言宗の歴史) 15. 模擬授業の反省と総括
テキスト	中村元・田辺和子共著『ブツ物語』(岩波ジュニア新書) 岩波書店 松長有慶著『空海・心の眼をひらく－弘法大師の生涯と密教－』大法輪閣
参考書・参考資料等	富田向真著『青少年のための仏教読本』高野山真言宗布教研究所 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
学生に対する評価	模擬授業(学習指導案と教材研究を含む)60%、レポート40%
その他	宗教科の教師になるということの意味をよく考え、仏教・密教に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本国の中等教育において、いかなる宗教教育のあり方が望まれ又求められているのか、私学における義務教育の枠組みの中で自らの答えを見出すこと。 テーマ： (1) 教育基本法、関連法令についての学習 (2) 現代の科学用語と仏教用語それぞれの意味内容の理解 (3) 受講生各自にとっての「私の伝えたいこと」の発表
宗教科教育法Ⅲ	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
室	
寺	
義	
仁	
授業の概要	日本国の中等教育において、いかなる宗教教育のあり方が、現代の日本社会において、今、望まれ又求められているのか、私学における義務教育の枠組みの中で共に考えてみたい。
授業計画	1. 導入 2. 関連法令・文部科学省中央審議会報告から学ぶ(文科省のHPから抽出できる資料を基に) 3. 「教育基本法」(平成18年12月公布・施行)、「教育振興基本計画」(平成20年7月1日閣議決定)を学ぶ 4. 宗教教育を担う教育者のあり方と教育指針について考える(「公民」教科書から学ぶ) 5. (同上) 6. 仏教の観点から見る、生命倫理分野・脳神経倫理分野における脳/心についての諸論点(同上) 7. 仏教の観点から見る、「無縁死」や「孤族」なる造語が生まれた現代社会における諸論点(同上) 8. 受講生による課題発表：宗教の時間で中高生に向けて「私の伝えたいこと」(一文で) 9. (同上) 10. 受講生による課題発表：宗教の時間で中高生に「私の伝えたいこと」(キーワード一文字で) 11. (同上) 12. 受講生による課題発表：宗教の時間で中高生に「私の伝えたいこと」(キーワード一文字で) 13. (同上) 14. まとめ 15. 学期末試験
テキスト	テキストはない。
参考書・参考資料等	授業の中で、適宜、紹介するが、『図解 宗教史』(成美堂出版2010年)などを参考書として使用する。
学生に対する評価	学年末の論述式試験(60%)と、授業中での課題発表・討論内容(40%)によって評価する。
その他	授業に欠席する場合は、予め連絡を入れることを義務付ける。教諭・教員を目指す者にとって、守るべき最低限のマナーの一つと考えるからである。したがって、無断欠席が(2回を超えて)続いた場合、その時点で単位取得はなくなったものと考えて頂きたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
宗教科教育法Ⅲ	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
室	
寺	
義	
仁	
授業の概要	
授業計画	
テキスト	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：国語への関心を高め、表現力を伸張し、日本文化と伝統についての理解を深める。 テーマ：学習指導要領を通して、国語科教育の目的・目標を理解させる。教材研究の方法を各単元ごとに具体的に指導する。学習指導案の作成の意義・手順・などを具体的に指導する。
	授業の概要 中学校と高等学校の学習指導要領（国語科）を対比しながら、国語科の目標ならびに内容を理解する。 高等学校の国語の教科書を通して、具体的に教材研究のありかたを学ぶ。また、授業のために不可欠な指導案の作成にかかわる諸問題を学ぶ。
	授業計画 第1回：シラバスの説明とその補足（とくに講義概要と成績評価の部分）。国語科教育の目的・目標（中学校・高等学校） 第2回：中学校の学習指導要領（国語）の「内容」を読み、その意味を正しく理解する。 第3回：高等学校の学習指導要領（国語）の「内容」を読み、その意味を正しく理解する。 第4回：高等学校における「古典」の授業のあり方について、現場の意見も参考にしながら、その方法を具体的に考える。 第5回：学習指導案とは何か。その意義と目的について 第6回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その1） 「国語総合」（現代文編）評論「うまれ変わる言葉」について 第7回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その2） 「国語総合」（現代文編）小説「富嶽百景」について 第8回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その3） 「国語総合」（現代文編）詩歌「小景園情」について 第9回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その4） 「国語総合」（古典編）説話「校非違使忠明」について 第10回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その5） 「国語総合」（古典編）随筆「徒然草」の「城隍奥守泰盛は」について 第11回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その6） 「国語総合」（古典編）物語「竹取物語」「なよたけのかぐや姫」について 第12回：教材研究の方法と指導案の作成の方法（その7） 「国語総合」（古典編一漢文）「格言と故事」 第13回：上記の学習を通して学んだ教材研究と学習指導案についての意見交換（総括） 第14回：教員による模擬授業（50分）とその授業に対する受講生の評価（教材研究と学習指導案を中心に） 第15回：総括講義
	テキスト 【中学校指導要領】【高等学校指導要領】 （文部科学省－平成19年3月一部改正－） 【国語総合】（東京書籍）
	参考書・参考資料等 【国語科教育研究】（学芸図書）
学期	前期
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点40%、授業の取り組み30%、教材研究の報告書30%
その他	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：実際の模擬授業を通して、多くの実践体験をつむとともに、教師に必要なさまざまな資質を養う。また各単元における指導案の書き方も研究することとする。 テーマ：
	授業の概要 毎時間一名による模擬授業（50分）とそれに対する他の受講生の意見・批評。また教員の意見・指導（40分）。忌憚のない積極的な意見を出し合うことにより、授業の内容・教材研究・指導案の書き方などを学ぶことになる。また併設校で実際に教育実習をおこなっている学生の授業を参観することにより、高校の現場を知ること学びたい。
	授業計画 第1回：ガイダンス（模擬授業の意義、指導案の意義の確認） 第2回：模擬授業（1）現代文（評論）「希望としてのクレオール」 第3回：模擬授業（2）古文（説話）「絵師良秀」 第4回：模擬授業（3）国語表現「君たちに伝えたいこと」 第5回：模擬授業（4）古典文法（動詞の活用） －「生く」は何段活用か－ 第6回：模擬授業（5）現代文（小説）「羅生門」 第7回：高校現場を体感する（その1）現代文 第8回：高校現場を体感する（その2）古文 第9回：第六回と第七回の授業参観の反省会 第10回：模擬授業（6）漢文（故事）「矛盾」 第11回：模擬授業（7）古文（日記）「土佐日記」 第12回：模擬授業（8）国語表現「報告文」「手紙」を書いてみる 第13回：模擬授業（9）現代文（詩歌）現代詩「汚れちまつた悲しみに」 第14回：模擬授業（10）古文（和歌）「新古今集」－三夕の歌の理解－ 第15回：総括 教材研究のありかたとあるべき指導案の確認
	テキスト 【国語総合】（東京書籍）現代文編・古典編
	参考書・参考資料等 受講者の模擬授業に際し、適宜資料を配付
学期	後期
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点40%、模擬授業と指導案60%
その他	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 国語科教育法Ⅰでは学習指導要領の解説、Ⅱでは教案作成及び模擬授業に焦点を当て、講義したが、本講義では古文指導に焦点を当て、教材研究の進め方、古文授業の展開法を理解させることを目標とする。教材研究の深さが指導のポイントであることを古文指導を通じて実感させ、どれだけ教材研究が深められたか、作成した学習指導案と小規模授業を通じて判断する。
	授業の概要 古文を苦手とする中学生、高校生に対してどのように興味ある授業展開ができるか、担当者の現場経験を入れて解説する。古文の力を高める教材研究、国文法の力を高める教材研究の方法、古文を理解するため、日本の伝統文化行事、和歌・俳句の修辞等の解説を行う。
	授業計画 第1回：ガイダンス（授業内容の趣旨説明）と古文学習の概説 第2回：古文指導の基礎1（古文と現代の私たちの生活について解説する） 第3回：古文指導の基礎2（古文指導と現代文指導との違いについて解説する） 第4回：古文の教材研究法1（教材研究ノートの作成1） 第5回：古文の教材研究法2（教材研究ノートの作成2） 第6回：古文1（用言 活用の種類と活用形）の指導法 第7回：古文2（助動詞の文法的意味）の指導法1 第8回：古文3（助動詞の文法的意味）の指導法2 第9回：古文4（助詞の文法的意味）の指導法3 第10回：古文5 古文指導の教案作成（平家物語を教材化する） 第11回：古文6 古文指導の小規模授業（4名程度） 第12回：古文7（和歌及び俳句の修辞と区切れ・本歌取り・季語）をどう指導するか。 第13回：古文8 日本文化と季節行事について解説する。 第14回：古文9 担当者によるモデル授業と小試験 第15回：総括授業
	テキスト なし、教員が必要部分をコピー配布（中学及び高校の教科書にある古文）
	参考書・参考資料等 講義中に指示する。
学期	前期
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点20%、教材研究ノートの作成30%、教案作成20%、小規模試験または小試験30%。 小規模授業の実践者は小テストは受験しなくても可。
その他	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：実際の模擬授業を通して、多くの実践体験をつむとともに、教師に必要なさまざまな資質を養う。また各単元における指導案の書き方も研究することとする。 テーマ：
	授業の概要 毎時間一名による模擬授業（50分）とそれに対する他の受講生の意見・批評。また教員の意見・指導（40分）。忌憚のない積極的な意見を出し合うことにより、授業の内容・教材研究・指導案の書き方などを学ぶことになる。また併設校で実際に教育実習をおこなっている学生の授業を参観することにより、高校の現場を知ること学びたい。
	授業計画 第1回：ガイダンス（模擬授業の意義、指導案の意義の確認） 第2回：模擬授業（1）現代文（評論）「希望としてのクレオール」 第3回：模擬授業（2）古文（説話）「絵師良秀」 第4回：模擬授業（3）国語表現「君たちに伝えたいこと」 第5回：模擬授業（4）古典文法（動詞の活用） －「生く」は何段活用か－ 第6回：模擬授業（5）現代文（小説）「羅生門」 第7回：高校現場を体感する（その1）現代文 第8回：高校現場を体感する（その2）古文 第9回：第六回と第七回の授業参観の反省会 第10回：模擬授業（6）漢文（故事）「矛盾」 第11回：模擬授業（7）古文（日記）「土佐日記」 第12回：模擬授業（8）国語表現「報告文」「手紙」を書いてみる 第13回：模擬授業（9）現代文（詩歌）現代詩「汚れちまつた悲しみに」 第14回：模擬授業（10）古文（和歌）「新古今集」－三夕の歌の理解－ 第15回：総括 教材研究のありかたとあるべき指導案の確認
	テキスト 【国語総合】（東京書籍）現代文編・古典編
	参考書・参考資料等 受講者の模擬授業に際し、適宜資料を配付
学期	後期
単位数	2
担当者	下西忠
学生に対する評価	平常点40%、模擬授業と指導案60%
その他	その他

科目名	教育方法論
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：近代から現代に至る教育方法に関する思想や技法を知り、今日的な教育方法の問題点や課題を考察することができる。 テーマ：教育方法の思想と具体的教授法の研究
	授業の概要 17世紀から20世紀に至る主要な教育思想の史的展開とその教授理論を概観し、現代の授業論に関する基礎と実践モデルを考察する。
	授業計画 1. コメニウスの教育思想－近代教育の創始者－ 2. バスタロッチの教育思想（1）－人類教育の父－ 3. バスタロッチの教育思想（2）－基礎陶冶と人間形成論－ 4. ヘルバルトの教育思想（1）－科学的教育学の創始者－ 5. ヘルバルトの教育思想（2）－教授段階説の構造－ 6. 個別化教授法の理論と展開（1）－デューイの教育論－ 7. 個別化教授法の理論と展開（2）－個別化教授理論－ 8. 個別化教授法の理論と展開（3）－個別化教授プラン－ 9. 生活綴り方的教育方法の理論と実践 10. 問題解決学習と系統学習の理論 11. 現代授業研究の現状－視聴覚教育も含む－ 12. 今日の授業改革の論点 13. 完全習得学習の理論と実践 14. 我が国の学力論の展開 15. 授業のまとめ－総括テスト－
	テキスト 特になし。
学期	前期
担当者	山本芳孝
単位数	2
参考書・参考資料等	適宜紹介する。
学生に対する評価	筆記試験、授業態度などにより総合評価する。受験資格は2/3以上出席とする。
その他	授業中にディスカッションやレポート作成を求められることがあるので、積極的に応じること。

科目名	情報技術論
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：情報及び情報技術を活用できる技術と技能を活かして、学校教育において情報及び情報機器が果たしている役割を認識し、あわせて中学校及び高校の学習指導要領が意図する情報教育を理解することを到達目標とする。 テーマ：情報機器を教育に活かす
	授業の概要 情報及び情報技術を学校教育で活かすための教材作成を行う。本講義を通じて情報及び情報機器の正しい取り扱いに習熟し、生徒の指導ができるようにする。作成した教材を用いて各自に模擬授業を行わせ、情報及び情報機器の有効な利用法を学ぶ。
	授業計画 【開講時期】2012年夏季。日程は、別途連絡する。 1. 情報を活用するための工夫と情報機器の取り扱い 2. 情報の収集・発信と情報機器の活用 3. Wordを利用した文書作成（1） 4. Wordを利用した文書作成（2） 5. Excelを利用した文書作成（1） 6. Excelを利用した文書作成（2） 7. Power Pointを利用した文書作成（1） 8. Power Pointを利用した文書作成（2） 9. 教材研究 10. 情報機器を利用した授業の指導案作成Ⅰ（取得免許の教科） 11. 情報機器を利用した授業の指導案作成Ⅱ（取得免許の教科） 12. 情報技術を使用した模擬授業の実施Ⅰ 13. 情報技術を使用した模擬授業の実施Ⅱ 14. 情報技術を使用した模擬授業の実施Ⅲ 15. 情報機器を活用した授業評価
	テキスト 特になし。
学期	集中
担当者	本多千明
単位数	2
参考書・参考資料等	プリントを配布する。
学生に対する評価	定期試験60%、小試験20%、授業参加20%
その他	特になし。

科目名	道徳教育の研究
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：・学習指導要領における道徳の目標、内容を学ぶ。 ・道徳教育の理念や歴史を学ぶ。 ・「道徳の時間」の実践的な指導力の修得をめざす。（学習指導案の作成と模擬授業） テーマ：「道徳教育の理念と実践力の育成」
	授業の概要 本講義では人間存在における道徳の重要性、そして教育の場において道徳はいかに教えられ得るかという問題を扱い、道徳教育の意義と方法の理解を目指す。講義は①西洋の道徳教育思想、②日本における道徳教育の歴史、③道徳教育の実践の3点を中心に行う。まず西洋の道徳教育思想では古代（ソクラテスからアリストテレス）、近代（カントからヘーゲル）を中心に、道徳性育成がいかに思惟されたかを見てゆく。次に日本における道徳教育史では、主に明治以降の道徳教育（修身）と戦後の「道徳の時間」がいかに設置されたかを見てゆく。最後には道徳教育の実践では、学習指導要領で道徳の時間の目標と内容項目がどのように位置づけられているのかを講義する。そして実際に中学校で使用されている副教材を使用して、学習指導案の作成と模擬授業を行い道徳の指導力向上を目指す。
	授業計画 第1回 人間存在と道徳（学習指導要領における道徳の目標と内容） 第2回 Ⅱ 西洋における道徳教育の思想 ①西洋古代の道徳教育の思想（ソクラテス、アリストテレス） 第3回 Ⅱ 西洋における道徳教育の思想 ②西洋近代の道徳教育の思想（カント・ヘーゲル） 第4回 Ⅲ 日本における道徳教育の歴史 ①明治以前の道徳教育 第5回 Ⅲ 日本における道徳教育の歴史 ②明治期における道徳教育 第6回 Ⅲ 日本における道徳教育の歴史 ③大正期における道徳教育 第7回 Ⅲ 日本における道徳教育の歴史 ④昭和期における道徳教育 第8回 Ⅳ 道徳教育の実践 学習指導要領における道徳教育の位置づけ 第9回 学習指導案の作成の指導①（中学校1年の副教材・資料から） 第10回 学習指導案の作成の指導②（中学校2年の副教材・資料から） 第11回 学習指導案の作成の指導③（中学校3年の副教材・資料から） 第12回 学習指導案の作成と模擬授業①（中学校1年の副教材・資料を使用して） 第13回 学習指導案の作成と模擬授業②（中学校2年の副教材・資料を使用して） 第14回 学習指導案の作成と模擬授業③（中学校3年の副教材・資料を使用して）
	テキスト 『中学校学習指導要領解説 道徳編』文部科学省 田中潤一・田中達也「未来を拓く教育」ナカニシヤ出版
学期	集中
担当者	田中潤一
単位数	2
参考書・参考資料等	プリントを配布
学生に対する評価	学習指導案作成と模擬授業40%、学期末レポート60%
その他	特になし

科目名	生徒指導・進路指導
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：生徒指導と進路指導の基礎理論を理解した上で、生徒指導、進路指導の多くの事例をあげ、その課題にどれだけ接近できたかにより到達点を測る。 テーマ：キャリアガイダンス・カウンセリングを活かした生徒指導
	授業の概要 自分の将来をどう展望するか、進路指導の課題に真剣に取り組めば、それは生徒指導に生きてくる。本講義では、中・高等学校の生徒指導・進路指導を進める上での基礎的事項を解説した後、担当者の生徒指導主事、進路指導主事の現場経験を活用し、実践例を多く入れ課題解決型の講義にしたい。
	授業計画 1. 教育指導と教員の役割を考察する。 2. 生徒の現状と生徒理解の方法を把握する。 3. 社会変化と子どもの生活の変化を解説する。 4. 社会変化と中・高校生の問題行動を知る。 5. 生徒の生育歴と問題行動の関係を把握する。小試験を実施する。 6. 生徒指導の実際（反社会的問題行動を中心に）を解説する。 7. 生徒指導の実際（非社会的問題行動を中心に）を解説する。 8. 進路指導の基礎（職業指導から進路指導）を解説する。 9. 進路指導の基礎（進路指導からキャリア教育）を解説する。 10. 進路選択の基礎理論を解説する。（特性・因子理論から職業的発達理論までとその後） 11. 進路選択の実務を解説する。（1） 12. 進路選択の実務を解説する。（2） 13. キャリア教育とは、どのような教育指導なのか解説し実践例を学ぶ。 14. キャリア教育と生徒指導の関係を考察する。 15. 総括講義
	テキスト 伊藤一雄著「新・教育指導の理論と実践」サンライズ出版 2007.4
学期	前期
担当者	伊藤一雄
単位数	2
参考書・参考資料等	伊藤一雄著「キャリア開発と職業指導」法律文化社 2011.4
学生に対する評価	定期試験60%、小試験20%、授業参加（単なる出席でなく質疑、発表などどれだけ主体的に授業に取組んだか）20%
その他	各自の中学、高校時代の生徒指導上の課題を素材として指導方法を考察したい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標：学校教育相談の実情を理解すると共に必要な基礎的知識を習得する。教育相談の基礎理論となる、教育や心理学の基礎理論を理解する。 児童・生徒の抱える様々な問題や悩みに対応できる知識と解決方法を学ぶ。 テーマ：児童・生徒が学校や家庭の生活で抱える様々な問題とその対処方法を理解する。生徒の発達段階の理解や、自尊感情の育成についての理論を理解する。学習障害や、ADHDなどの広汎性発達障害について学習する。
	授業の概要
	授業計画
	学期
後期	
単位数	2
担当者	戸來知子
テキスト	『教職基礎論』サンライズ出版 参考書・参考資料等 『クライアント中心療法』、佐治守夫・飯長喜一郎編、講談社新書。 学生に対する評価 平常点を重視する。小レポートを1回提出、学期末試験の点数に加算する。 その他 毎回、出席をとる。自分の意見を積極的に発言することを求める。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標：4年間の教職科目の学習及び教育実習の経験などを通じて、教職に対する理解がどれだけ深まったか。教職に対する意欲がどれだけ高揚したかを確認し、具体的な指導方法の向上を図る。 テーマ：教職に対する理解の深化と意欲の伸長
	授業の概要
	授業計画
	学期
後期	
単位数	2
担当者	伊藤一雄
テキスト	なし、必要に応じプリントを配布する
参考書・参考資料等	伊藤一雄 他著 「新・教育指導の理論と実践」サンライズ出版 2006,4
学生に対する評価	発表レジュメの内容 (20)、発表方法・技術 (20)、ガイダンス・カウンセリングの技術 (20)、ミニ模擬授業 (20)、ミニ模擬授業 (20)、総括レポート (20) を総合する。
その他	演習以下に意欲的に参加できたかが大切である。教育実習ノートを持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	教育実習の意義は、第一に、受講生による教師論・教育論を主体的に再構築することである。これまで大学で学んだ教養的教育、教科専門教育及び教職専門教育の知識を学校現場で実践・検証し、自らの教師論・教育論を再構築することを目標とする。第二に、教員になるための職能を感得する機会を得ることである。現代の学校教育の状況、今日の教員や児童・生徒の考え方や実態を捉える中で、教員となるための職能を自ら高めていくことを目標とする。
	授業の概要
	授業計画
	学期
前期	
単位数	1
担当者	山脇雅夫
テキスト	各教科書
参考書・参考資料等	教育実習を考える会編『教育実習の常識』蒼丘書林 教育実習日誌・教科指導案
学生に対する評価	実習校からの教育実習評価表、教育実習レポート・教育実習日誌・指導案、授業態度・授業参加を加味する
その他	今年度の教育実習Ⅰに行く学生は、必ず木曜日1講時(前期)の「教育実習の研究」を受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
	到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
	学期
単位数	
担当者	
テキスト	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自己の能力を発見し主体的に行動することを学ぶ。 就職活動に必要なスキルを学ぶ。 テーマ：社会人として働くことの意義を考える。
	授業の概要 社会人として必要なマナーや良好なコミュニケーションの表現をグループワークや演習をとおして学んでいきます。 自分は社会に対してどのように貢献していきたいのかを考え、就職活動の進め方を学んでいきます。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 社会人として求められる能力（社会人基礎能力） 3. 自己分析①（わたしのライフライン） 4. 自己分析②（交流分析とストローク） 5. コミュニケーションスキル① （コミュニケーションの5原則、マナーの必要性） 6. コミュニケーションスキル②（立居振舞、表情、視線、身だしなみ） 7. コミュニケーションスキル③（話し方、聴き方） 8. コミュニケーションスキル④（言葉遣い、敬語） 9. 就職活動① （就職活動の流れと構造、自己の能力と業種の特性の合致） 10. 就職活動②（履歴書、エントリーシートの作成） 11. 就職活動③（自己PR、志望動機の作成） 12. 就職活動④（面接の流れと方法） 13. 就職活動⑤（模擬面接、グループ面接） 14. 就職活動⑥（模擬面接、グループディスカッション） 15. 就職活動⑦（総括と自己点検）
	テキスト 教員作成の資料を配布する。
	参考書・参考資料等 適宜授業内で紹介する。
学期	前期
単位数	2
担当者	田村美幸
学生に対する評価	平常点20%、授業内課題40%、授業内演習40%で評価する。
その他	実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。 受ける授業でなく、自らが作る授業にしていきましょう。 各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：大学教育と社会とのシームレスな接合を図る テーマ：労働と社会 ※この講座は、(株)新日本科学 代表取締役社長 永田良一氏の寄附に基づき、密教・仏教の精神を持った現場人教育の一環として開講されます。
	授業の概要 労働の意味を見直し、職業社会を生きるための基本的「文法」の習得を目指します。社会人としての基礎的知識を習得するとともに、機能するコミュニケーションができるよう、参加者によるレポート発表を中心にテキストを徹底的に理解します。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 働くことの意味1ーべてるの家から 3. 働くことの意味2ー利他主義と自己実現 4. 会社とはなにか 5. 会社の組織 6. あたらしい会社法 7. 日本的経営 8. 就職とはどういうことか 9. さまざまな給与のかたち 10. 会社で働くとは 11. 学校と職場の違い 12. 日本的雇用の崩壊 13. いろいろな働き方 14. 企業経営の現場から（永田良一客員教授） 15. まとめ *講義の日程は、あらためて掲示します。
	テキスト 池上彰『会社のことをよくわからないまま社会人になった人へ』（海竜社）
	参考書・参考資料等 適宜授業内で紹介する。
学期	後期
単位数	2
担当者	山脇雅夫
学生に対する評価	平常点50点（レポート発表）、学期末レポート50点
その他	この授業は、社会人としての基礎知識の学習を通して、自立していくために必要な自己学習力の習得を目指します。積極的な参加を期待します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。 テーマ：言語としての日本語
	授業の概要 テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な内容を講義する。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小レポート等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。
	授業計画 1. 言語と人間 二重分節性、言語の機能（1） 2. 同（2） 3. 日本語の音声・音韻 音声と音韻、単音の分類、母音（1） 4. 同（2） 5. 日本語の音声・音韻 音声器官、子音の基本事項（1） 6. 同（2） 7. 日本語の音声・音韻 清濁、拗音（1） 8. 同（2） 9. 日本語の音声・音韻 拍と音節、特殊拍、アクセントとその役割（1） 10. 同（2） 11. 日本語の文字表記 日本語の表記の特色、漢字の将来（1） 12. 同（2） 13. 日本語の文字表記 漢字の構造と用法（六書）、音と訓、国字・国訓（1） 14. 同（2） 15. 日本語の文字表記 平仮名・片仮名、ローマ字
	テキスト 藤田保幸、『緑の日本語』、和泉書店、2010年
	参考書・参考資料等 適宜、指示、または、配布する。
学期	前期
単位数	2
担当者	上田恭寿
学生に対する評価	平常点（30%）、授業への参加態度（10%）、および、期末のレポート（60%）による。
その他	授業の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。 テーマ：言語としての日本語
	授業の概要 テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な内容を講義する。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小レポート等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。
	授業計画 1. 日本語の語彙 語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（1） 2. 同（2） 3. 日本語の語彙 語種（和語・漢語・外来語）（1） 4. 同（2） 5. 日本語の語彙 語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（1） 6. 同（2） 7. 本語の文法 学校文法とその限界、文法と言語生活（1） 8. 同（2） 9. 日本語の文法 現代の文法の考え方、隣接分野としての語用論（1） 10. 同（2） 11. 日本語の方言 方言とは、東西差、方言区画、方言周圏論（1） 12. 同（2） 13. 日本語の位置 世界の中の日本語の位置、日本語の特質（1） 14. 同（2） 15. まとめ
	テキスト 藤田保幸、『緑の日本語教本』、和泉書店、2010年
	参考書・参考資料等 適宜、指示、または、配布。
学期	後期
単位数	2
担当者	上田恭寿
学生に対する評価	平常点（30%）、授業への参加態度（10%）、および期末のレポート（60%）による。
その他	授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：特別活動の必要性や内容、方法、歴史などに関して理解を深め、教員になる上での資質と実践力を培う。 テーマ：特別活動の本質と実践の探究
特別教育活動	授業の概要 特別活動の変遷、特別活動の特質、特別活動の内容及び方法等に関して考察する。
学期	授業計画 1. 特別活動とは（授業のガイダンス） 2. 学習指導要領における特別活動の変遷（1）（昭和22年版から昭和44年版） 3. 学習指導要領における特別活動の変遷（2）（昭和52年版から平成20年版） 4. 特別活動の今日的意義と必要性 5. 特別活動の改善の特徵 6. 特別活動と他領域との関係及び取扱い 7. 特別活動の年間計画の作成（資料収集とグループ協議） 8. 特別活動の年間計画の作成（年間計画の作業と完成） 9. 学級活動の特質と内容 10. 学級活動の指導案作成 11. 生徒会活動及び学校行事の特質と内容 12. 個と集団に関わる一般原理 13. 学級集団作りの過程と構造 14. リーダーシップと集団形成 15. 授業のまとめ－総括テスト－
前期	テキスト 特になし。
単位数	参考書・参考資料等 適宜紹介する。
2	学生に対する評価 筆記試験、授業態度などにより総合評価する。受験資格は2/3以上出席とする。
担当者	その他 授業の進め方としては、発表やディスカッションなど学生による活動の場を多く取り入れたいと考えているので、積極的に参加してほしい。
山本芳孝	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿息観の修得 テーマ：阿息観の理論と実習
専相研究〔聖教の伝授と実習〕(別)	授業の概要 阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。 テキストにしたがって講義を進める。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観と悟り 3. 真言密教と釈迦 4. 瞑想の目的と種類 5. 修行の基本 6. 弘法大師空海の宗教体験 7. 阿息観について 8. 阿息観について 9. 阿息観の実習 10. 阿息観の実習 11. 討論 12. 阿息観の実習 13. 阿息観の現代的意義 14. 阿息観の現代的意義 15. まとめ
通年	テキスト 山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）※生協取り扱い
単位数	参考書・参考資料等 『密教福祉Ⅰ』『密教福祉Ⅱ』（密教福祉研究会編）
2	学生に対する評価 期末レポート60%、授業20%、討論小テスト20%
担当者	その他
佐藤隆彦	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿息観の修得 テーマ：阿息観の理論と実習
専相研究〔聖教の伝授と実習〕(別)	授業の概要 阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。 テキストにしたがって講義を進める。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観と悟り 3. 真言密教と釈迦 4. 瞑想の目的と種類 5. 修行の基本 6. 弘法大師空海の宗教体験 7. 阿息観について 8. 阿息観について 9. 阿息観の実習 10. 阿息観の実習 11. 討論 12. 阿息観の実習 13. 阿息観の現代的意義 14. 阿息観の現代的意義 15. まとめ
通年	テキスト 山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）※生協取り扱い
単位数	参考書・参考資料等 『密教福祉Ⅰ』『密教福祉Ⅱ』（密教福祉研究会編）
2	学生に対する評価 期末レポート60%、授業20%、討論小テスト20%
担当者	その他
佐藤隆彦	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：
	授業の概要
	授業計画
学期	テキスト
	参考書・参考資料等
単位数	学生に対する評価
	その他